

2024年度 学生便覧(履修ガイド)

国際学部

在学中保存

※2024年4月時点の内容を掲載しています。
内容に変更がある場合は、公式ホームページ
または、CHUKYO ALBO等にて案内します。

INDEX

はじめに

中京大学での生活で守ってほしいことや、施設等の使い方を掲載。

1	大学からのお知らせ	2
2	授業担当教員からのお知らせ	3
3	授業の取扱い・教務センター	4
4	履修登録(春学期・秋学期共通)	6
5	時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法	8
6	試験	9

7	追試験	10
8	レポート	11
9	不正行為・義務違反・研究倫理	12
10	成績・単位認定	13
11	卒業・留年	15

教育課程と資格課程

学部のカリキュラムや卒業要件、取得できる資格などを掲載。
必ず確認してから、履修登録をしてください。

1	教育理念・教育目標	18
2	カリキュラム概念	22
3	授業科目区分と単位制度	23
4	学科・専攻・専修一覧	24
5	進級要件と卒業要件	25
6	全学共通科目一覧表 (GLS専攻以外全専攻共通)	26
7	全学共通科目について	27
8	学部固有科目一覧表	28
9	学部固有科目の履修について	49
10	Honors Program / Plurilingual Program	54
11	4年間のスケジュール	56
12	学修相談・指導について	57
13	全学開放科目について	58
14	単位互換に関する包括協定の案内	59
15	大学院進学奨励学生制度について	60
16	資格課程	61
17	教職課程	62
18	日本語教師養成課程について	68
19	司書教諭課程	69
20	司書課程	70
21	学芸員課程	71
22	教育課程表一覧	73
23	履修計画表	79

建学の精神

梅村学園の建学の精神の要約は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」である。すなわち学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する。スポーツの場では健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する。スポーツマンシップ、イズジェントルマンシップ、スポーツマンシップとはルールを守る、ベストを尽くす、三チームワークをつくる、四相手に敬意を持つ、この四大綱を内容とする。

このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である。

このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する。梅村学園はこの建学の精神を教育の基盤として永遠に堅持高揚を期する。

一九八八年二月十八日

学校法人 梅村学園

総長 梅村 清明



建学の精神

「校訓・建学の精神」

校訓と建学の精神は、学校開設にあたって、次代を担う人材の育成を願い、創立者がその理念と気概を示したものです。わが国の教育で大きな役割を果たしている私立学校は、それぞれの校訓・建学の精神に基づいて教育活動を展開、個性豊かな教育の場として発展してきました。

梅村学園の校訓は、1923年(大正12年)、学校法人梅村学園の母体である中京商業学校の開校にあたり、創立者の梅村清明がその理念と気概をうたい上げたものです。また、中京大学が四年制大学となった1956年(昭和31年)に初代学長の梅村清明が建学の精神として具体化し、この精神は時代を超え、中京大学・中京大学附属中京高校に脈々と受け継がれています。

「建学の精神の四大綱」について

中京大学の創立者であり、初代学長の梅村清明(初代梅村学園理事長)は、建学の精神にうたわれた「学術の場」と「スポーツの場」のあり方について、次のように示しました。

「学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する」。

学問に真摯、真剣に取り組むよう求めたうえに、男性も女性も人間としての人格陶冶が教育の理念であることを掲げました。大学が学術の殿堂、すなわち、知の集積拠点として教育・研究両面でその役割を高めていくことが目標であることはいうまでもありません。

「スポーツの場では健康の増強、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する」。

スポーツ各競技の技の向上をめざし、精神力を鍛錬するだけにとどまらず、スポーツマンシップとして、1)ルールを守る、2)ベストを尽くす、3)チームワークをつくる、4)相手に敬意を持つ、の四大綱の体得を求めました。そして、「このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である」として、「このような教育は如何なる国の如何なる時代においても肯定され、歓迎される本質を有する」と、建学の精神を時空を超えた教育理念として堅持する気概を示しました。

1 大学からのお知らせ

問合せ先 教務センター／情報センター

大学からの連絡事項は、主に中京大学公式ホームページ、大学Webシステム「CHUKYO ALBO」を通じて行われます。

また大学Webシステム「CHUKYO MaNaBo」を通じて、履修している授業ごとの連絡が授業担当教員から直接行われることもあります。在学中はこれらに毎日目を通し、大学や教員からのお知らせを随時確認してください。

■お知らせの種類と手段

	中京大学公式ホームページ	CHUKYO ALBO	CHUKYO MaNaBo
台風等緊急時における授業等のお知らせ	○	×	×
大学全体に関するニュース	○	×	×
授業の休講・補講・教室変更	×	○	○
授業担当教員からの連絡	×	×	○
学生生活に関するお知らせ	○	○	×

中京大学公式ホームページ

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/>

個人ではなく不特定多数の方を対象にした情報を伝達します。

■スマートフォンからのアクセス

スマートフォンからは、次のURLもしくはQRコードからアクセスしてください。

URL <https://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/>



■中京大学公式ホームページトップページ



ポータルシステム「CHUKYO ALBO」

「CHUKYO ALBO」とは、授業履修方法や休講・補講・教室変更に関する情報、奨学金・キャリアイベント・留学等も含めた学生生活全般に関する情報の他、個別の学生呼び出し等、大学からの様々なお知らせを伝達する大学Webシステムです。

またCHUKYO ALBOは、各種学生サービス(CHUKYO MaNaBo、m.mail等)を利用するための入口ともなります。さらに学生情報登録(変更)・履修登録・時間割・成績確認等もCHUKYO ALBOを通して行います。

対応期限が定められた重要なお知らせも、このCHUKYO ALBOを通じて随時届きます。在学中は毎日ログインし、見落としがないよう、必ず内容を確認するようにしてください。

■利用可能時間

CHUKYO ALBOの利用可能時間は6:00～27:00です。

■CHUKYO ALBOのログイン方法

ログイン方法 ログインには中京大学全学ID(CU_ID)が必要です。

STEP 1 「中京大学公式ホームページ」⇒「在学生の方」⇒「在学生メニュー」⇒「CHUKYO ALBO」をクリック

STEP 2 「ログイン(PC版)」よりログイン

スマートフォンで「CHUKYO ALBO」を利用する際は、「ログイン(スマートフォン版)」ボタンか「QRコード」からログインしてください。
※スマートフォン版からは履修登録できません。

CHUKYO ALBOトップ画面について



- CHUKYO MaNaBo・シラバス** こちらから各種学生サービスを閲覧できます。
- m.mail** 学生用メールシステム「m.mail」が確認できます。
- お知らせ** 各項目のタブを選択すると、画面が切り替わります。
- アンケート** 各部署からのアンケートを確認できます。30分間操作をしない場合セッションタイムアウト(時間切れ)となります。
- 時間割** 当日の時間割を確認できます。「休講」「補講」も確認できます。教室変更の場合、「授業変更」のアイコンが表示されます。
- 画面説明・操作方法** こちらからヘルプを参照ください。
- 履修申請・成績時間割表確認** 履修登録はここから行います。成績や時間割の確認もここをクリックします。
- 休講一覧・補講一覧** 今後の休講・補講の一覧を確認できます。
- 進路登録(希望)(1～3年)**
進路登録(決定)(4年)
住所・連絡先変更(学生・保証人) こちらから行います。

2 授業担当教員からのお知らせ

問合せ先 授業担当教員 / 情報センター

教育支援システム「CHUKYO MaNaBo」

CHUKYO MaNaBoは、中京大学の教育支援システムです。オンラインによる授業受講で使用されるほか、授業担当教員からCHUKYO MaNaBoのお知らせを通じて受講方法や課題等に関する指示がなされる場合がありますので、授業期間中は毎日確認するようにしてください。

CHUKYO MaNaBoでできること

- オンラインでの授業受講
Webを利用して教材参照、レポート提出、小テスト受講、授業担当教員とのメール連絡等を行うことができます。
- 授業担当教員からのお知らせの確認
授業担当教員からの受講者への連絡(課題提示、試験に関する案内、休講等)を確認することができます。
- 授業以外での利用
学部・学科内の連絡ツール、授業改善のためのアンケート、卒業論文の提出、追試験申請、成績問合せ申請等を行うことができます。

CHUKYO MaNaBo利用時間

CHUKYO MaNaBoの利用時間は、6:00~27:00です。

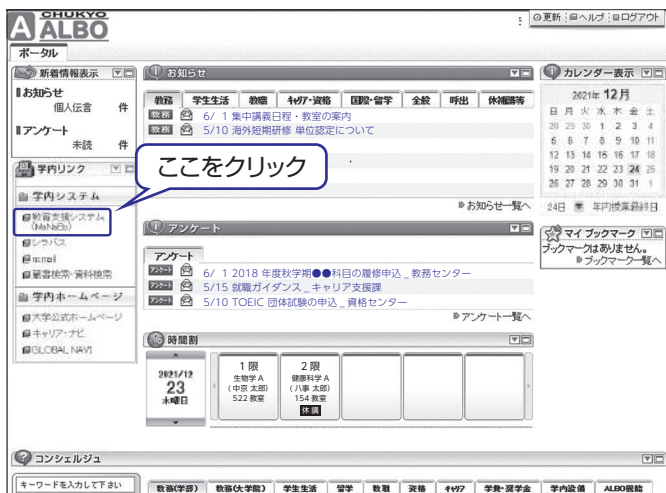
動作推奨環境

	OS	ブラウザ
パソコン	Windows 10以上 macOS 12以上	Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox
スマートフォン/ タブレット	iOS 15以上 Android 12以上	Safari 15以上 Google Chrome 105以上

複数タブでの利用には対応しておりません。また、パソコンとスマートフォンなど2つ以上の端末からの同時利用にも対応しておりません。このような利用を行うと、授業の受講時にトラブルが発生する可能性があります。注意してください。

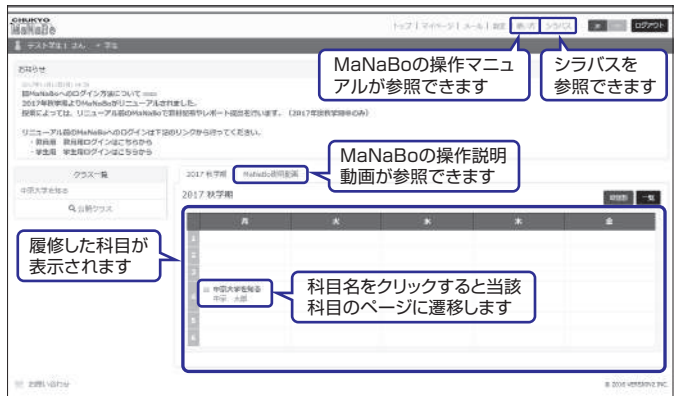
MaNaBoのログイン方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→教育支援システム(MaNaBo) にアクセスします。



CHUKYO MaNaBo画面説明

学生トップ画面



※課題や資料など新着情報のある科目には「NEW」のアイコンが表示されます。

メール通知を設定しましょう!

よく使うメールアドレスを登録しておくことで各種お知らせなど重要な情報が自動配信されます。利用者自身でメールアドレスを登録する必要があります。CHUKYO ALBO Mailに登録することでMaNaBoにも同じメールアドレスが登録されます。

- 授業2週目までは休講・補講・教室変更の情報が送信されない場合がありますので、CHUKYO ALBO画面で確認してください。
- 中京大学の学生ひとりに1つ与えられる「m.mail」のメールアドレスの登録を強くお奨めします。

CHUKYO ALBOの利用ができる端末と情報の一覧

利用端末 情報の種類	パソコン	スマートフォン等
お知らせ	○	▲
申込 (アンケート)	○	○
休講・補講 教室変更	○	○

○ …… 参照することができます。

▲ …… スマートフォン等の機種によって、添付ファイルやURLリンクを参照できない場合があります。

※登録したメールアドレスに届くCHUKYO ALBO Mailでは、発信部署、タイトル、内容が配信されますが、一部内容が参照できない場合があります。詳細は必ずCHUKYO ALBOで確認してください。

パソコン動作保証環境

OS : Windows 10, 11

ブラウザ : Google Chrome Microsoft Edge

複数タブでの利用には対応しておりません。

Apple社製OSでの動作保証はしてありません。

3 授業の取扱い・教務センター

問合せ先 教務センター

授業実施方法

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目によって異なります。

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

【面接授業】	対面での授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上が対面での授業)
【遠隔授業】	オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上 (15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業)

授業時間(1時限90分)

授業時間はキャンパス毎に時間帯が異なります。

時限	キャンパス	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
1		9:00~10:30	9:30~11:00
2		10:45~12:15	11:10~12:40
3		13:10~14:40	13:30~15:00
4		14:55~16:25	15:10~16:40
5		16:40~18:10	16:50~18:20

時限	キャンパス	名古屋キャンパス
A		9:00~10:00
B		10:10~11:10
C		11:20~12:20

教室番号の見方

教室は番号又はアルファベットで表示しています。

建物の場所については中京大学公式ホームページのキャンパスマップを確認してください。

《基本的な表示方法》

4	3	1	0	7	A	0	8	1	0
号館	階	通番	号館	階	通番	号館	階	通番	

《一部例外》

2	1	1	2	1	6	4	1	A
号館	階	通番		号館	階	通番		

緊急時における授業等の取扱い

気象警報			
気象庁より愛知県下(東三河北部及び東三河南部を除く)に暴風警報※1、特別警報※2、のいずれかが	発令されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講については、16時以降(16時を含む)に解除の場合、休講	
発令された場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
南海トラフ地震			
地震情報の発表時	発令又は招集されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
	午前11時以後(11時を含む)に解除	休講 ただし、夜間開講については、16時以降(16時を含む)に解除の場合、休講	
招集された場合		直ちに授業を中止し、学生はすみやかに下校してください。	
法定伝染病、テロ等その他の災害			
暴風、大雨、大雪、又は地震による災害以外の災害(法定伝染病、爆破宣言、テロ、二次災害等)が発生し、本学諸活動に支障があると判断した場合は、その都度、掲示・全学一斉放送・中京大学公式ホームページ等で指示する。			
交通ストライキ			
JR東海、名鉄及び名古屋市内地下鉄のうちいずれか一つがストライキを行っている場合	発令又は招集されている場合	午前7時以前(7時を含む)に解除	1時限(A時限)より平常通り授業
		午前7時から(7時を含まない)午前11時前(11時を含まない)に解除	3時限より平常通り授業
		午前11時以後(11時を含む)に解除	全時限休講

※1 暴風警報には暴風雪警報も含まれます。

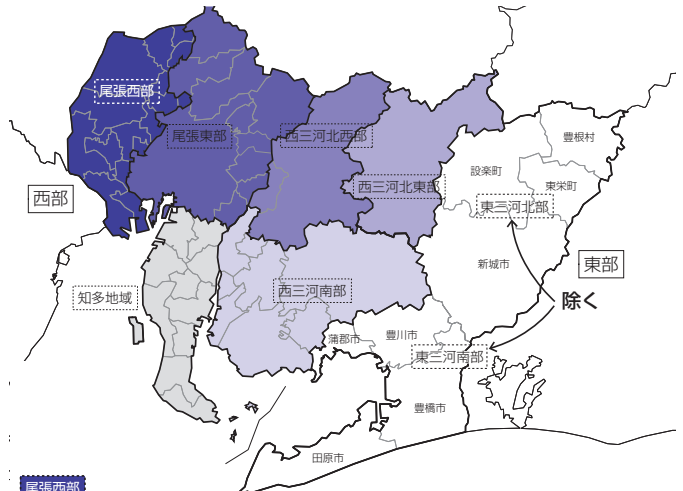
※2 特別警報のうち、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警報のいずれかを対象とします。

※3 公共交通機関の運休などの影響が出ることが想定される場合、気象庁から暴風警報等の発令がなされる前に、休講等の措置をとることがあります。

注意 1. 上記の取扱い事項は、定期試験期間中及び集中講義期間中も適用されません。

2. 上記の取扱い事項は、オンデマンド型の遠隔授業等については、原則として適用されません。ただし、一部科目や授業の継続が困難な場合は休講となる場合があります。

3. 緊急時における休講は中京大学公式ホームページでお知らせします。



尾張西部

一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋、弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村

尾張東部

名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町

西三河西部

豊田市西部、みよし市

西三河北部

豊田市東部

西三河南部

岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町

知多地域

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、岡久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

授業の欠席

本学には忌引・公欠の制度はありません。欠席する場合は、直接、授業担当教員に申し出て指示に従ってください。授業欠席の取扱いについては、授業担当教員に一任されています。なお、以下の点に注意してください。

■30日以上欠席した場合

病気・ケガ(診断書が必要)等、その他正当な理由により授業を30日以上欠席した場合は、教務センターで所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務センターへ提出してください(代理提出可)。

■教育実習・介護等体験の場合

教育実習等の履修にかかわる事情で授業を欠席する場合は、教務センター(教職支援係)で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、当該科目の担当教員に提出してください。

■就職活動の場合

就職活動や企業訪問等のために授業を欠席する場合は、その旨を事前に当該科目の担当教員に申し出てください。キャリア支援課や教務センターでは公欠願の証明等は一切していません。

休講

授業は、担当教員の都合により休講となる場合があります。休講については、原則としてCHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

補講

休講となった授業科目は原則振替授業として補講を行います。補講の実施日時・場所については、CHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。
 ※補講が設定された日時において、別の授業の補講が重なる場合があります。担当教員に相談してください。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

教室変更

対面による授業実施科目に教室変更が生じた場合は、CHUKYO ALBOで案内します。^注
 ※メール登録をしておくともメールでもお知らせが届きます。▶▶▶P3参照
 ※科目により、教員からCHUKYO MaNaBoを通じて直接指示がなされる場合があります。

^注 休講・補講・教室変更などのお知らせがある場合は、CHUKYO ALBOにて連絡しますので随時確認してください。授業2週目までは、休講・補講・教室変更の情報はメール送信されない場合があります。CHUKYO ALBO「休講一覧」「補講一覧」又はCHUKYO ALBOトップ「時間割」画面にて確認してください。

教科書について

問合せ先:中京大学生協同組合

■新入生

教科書の販売方法は、「学内特設会場での新入生向け一斉販売」を予定しております。販売日、販売時間等につきましては、生協ホームページで詳細をご案内します。

※感染症等の状況により販売方法がWeb注文→宅配になる可能性があります。

詳細は、中京大学生協ホームページでご案内します。

URL <https://www.univcoop-tokai.jp/chukyouniv-coop/>



■在学生

教科書の購入期間があります。中京大学生協のホームページの教科書購入案内を確認の上、購入してください。

教務センターについて

■教務センターの主な業務

1. 履修登録に関すること
2. 授業及び休講・補講・教室変更に関すること
3. 試験に関すること
4. 成績・卒業見込証明書をはじめとした各種証明書の発行に関すること
5. 進級・卒業に関すること
6. 教職課程に関すること
7. 司書・司書教諭をはじめとした各種資格課程に関すること
8. 研究生・科目等履修生の願書受付に関すること

■開室時間と場所

場 所	名古屋キャンパス	豊田キャンパス
	5号館1階	1号館1階
開室時間	平日	9:00~17:00
	土曜日 (補講実施日のみ)	9:00~12:30

※閉室日については、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)を確認してください。

教務センターへの問合せ

教務センターの業務に関することについて問合せをする場合は、以下の点に注意してください。

教員への連絡には応じられません。

教員への連絡はCHUKYO MaNaBoのメール機能を通じて行ってください。専任教員の研究室については、中京大学公式ホームページの研究室一覧を確認してください。

教員の電話番号やメールアドレスなど、個人の情報については一切教えられません。

電話による学生呼び出し・照会には、一切応じられません。

大学では、学生一人ひとりの所在について把握していません。したがって電話口への取り次ぎや学内放送は一切行いません。家族や友人に周知しておいてください。

友人の住所等は教えられません。

プライバシー保護の観点から、友人の住所等については一切教えられません。

4 履修登録(春学期・秋学期共通)

問合せ先 教務センター

履修登録

履修登録とは、各自で時間割を作成し、履修しようとする授業科目をパソコンを用いて登録することです。以下資料(①～④)を使用して、時間割を作成します。

履修登録時に使用する資料

- ① 学生便覧(履修ガイド)※本冊子
- ② 時間割表(中京大学公式ホームページで参照)

春学期・秋学期と各学期の時間割を作成する際に使用します。授業科目の「曜日時限」や「担当教員」などが記載されています。在学生へは3月中旬頃に中京大学公式ホームページにPDFで掲載します。所属学部の時間割に記載されている科目が、ご自身の履修可能科目になります。

- ③ シラバス(中京大学公式ホームページで参照)
インターネットから閲覧することができ、履修登録をする際に、授業内容等を確認するための重要な資料です。授業概要、目的、学修到達目標、授業方法、成績評価方法・基準、教科書・教材・参考文献や授業計画などが記載されています。
- ④ 履修計画表(中京大学公式ホームページからダウンロード)
CHUKYO ALBOで履修登録をする際に、時間割を組み立てるためのフォーマットです。
※最終ページに掲載しています。

シラバス及び時間割表の参照方法

中京大学公式ホームページ→在学生の方→シラバス又は時間割表にアクセスする



※シラバスはALBOからも参照することができます。
中京大学公式ホームページ→在学生の方→CHUKYO ALBO→シラバスにアクセスする



参照可能時間

シラバスの参照可能時間は、6:00～27:00です。

シラバスのトップ画面

科目名	履修単位数	開講形式	開講回数	開講曜日	開講時間	開講年次	履修年次	履修期間	履修単位
中京大学を志す	1	1-4限の講義(1・3・5・7生ムスタ)	2	月	10:00-11:00	1	1	2022	2
建築の精神と建築から学ぶもの	1	1-4限の講義(1・3・5・7生ムスタ)	2	月	10:00-11:00	1	1	2022	2

履修登録の注意事項

- 卒業要件や授業内容を考慮し、慎重に履修科目の検討をしてください。
- 必ず履修登録期間・時間内に登録作業を行ってください。期間内であれば変更可能です。
登録の日程については、中京大学公式ホームページの学年暦を確認してください。なお、日程については、変更の可能性があります。
詳細な日時については、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内しますので、必ず確認してください。
- 履修登録修正期間中に、正しく履修登録できているかを確認してください。
- 履修登録はパソコンにてCHUKYO ALBOを利用してください。
スマートフォンからも可能な場合がありますが、動作保証の対象外です。
- 履修登録修正期間を過ぎて科目の追加・取消を行うことはできません。

<中京大学教務規程>(履修登録関連抜粋)

第4章 履修登録

(履修登録の手続)

- 第12条 学生は、学期ごとに履修する授業科目について、履修登録を行わなければならない。
- 2 履修登録をしていない授業科目は、単位を修得することはできない。

(履修登録の無効)

- 第13条 同一曜日時限に行われる複数の授業科目は、重複して履修登録してはならない。また、同一科目の同時履修や既に単位を修得した授業科目を再度履修することはできない。

(履修登録単位数の上限)

- 第14条 学期ごとに履修登録できる単位数は、各学部・学科の定めるところによる。

(履修登録の条件)

- 第15条 履修登録できる授業科目は、原則として入学年度ごとに定められた教育課程に設置されたもののみとする。
- 2 履修登録は、授業科目ごとに指定された履修可能な学年または班で行わなければならない。

(履修者数制限)

- 第16条 授業内容や施設等の状況によって、履修者数を制限することがある。

(履修登録期間)

- 第17条 履修登録は、学年暦に定める期間に行わなければならない。

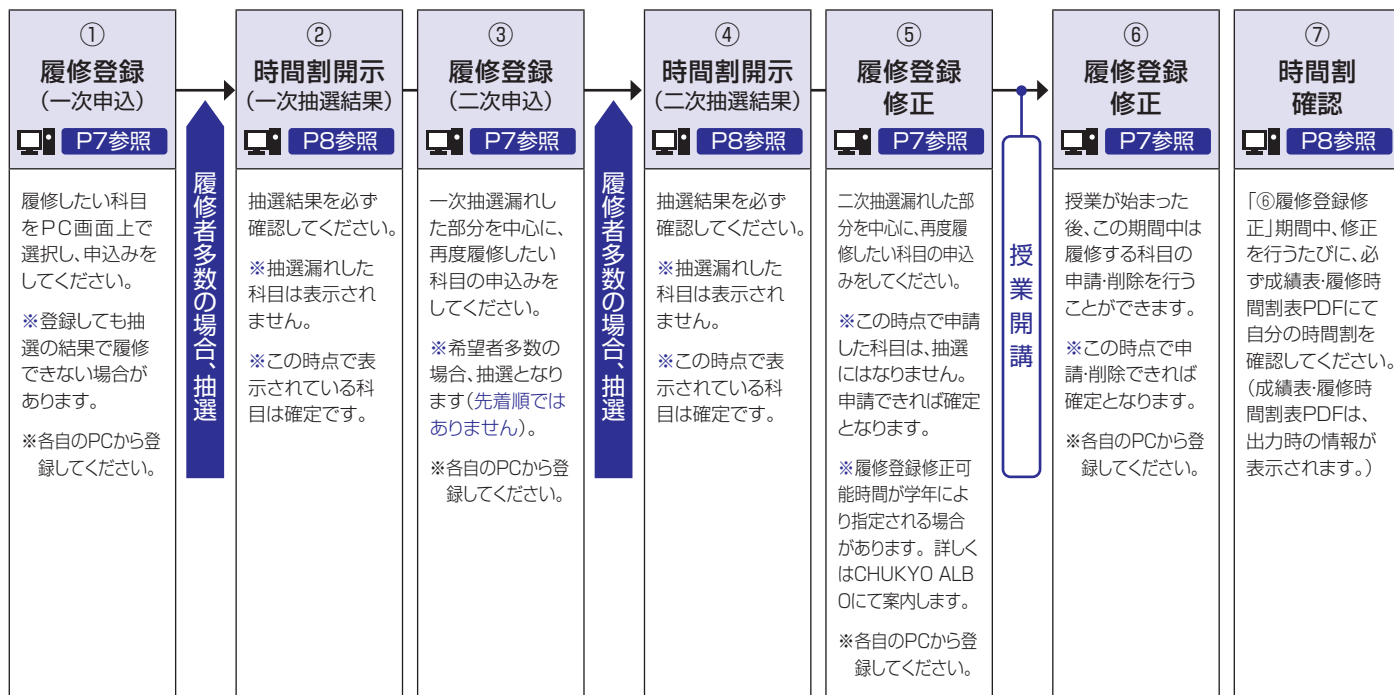
(履修登録修正)

- 第18条 履修登録後は、学年暦に定める履修登録修正期間に限り、履修登録の修正を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登録の修正は認めない。

(履修登録取消)

- 第19条 負傷、疾病により長期にわたり履修が継続できない場合は、所定の期間に限り、履修登録の取り消しを認めることがある。

履修登録の流れ



履修登録方法

(1) CHUKYO ALBOから履修申請画面へ
「履修申請・成績時間割表確認」をクリック

(2) 曜日・時限を選択
希望の曜日・時限の「+」をクリック
集中講義科目は、ページ下欄の「集中・その他」の「+」をクリック
※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備/個人情報の登録」をご確認ください。

(3) 科目を選択
① 履修する科目にチェック
② チェック後「選択」をクリック
※ (2)~(3)の作業を繰り返します

(4) 科目の登録
① 全ての履修希望科目の選択が終了してから、「履修申請」をクリック
※クリック後、応答まで時間がかかります
② 完了画面が表示されます
「申請状況画面へ戻る」をクリック

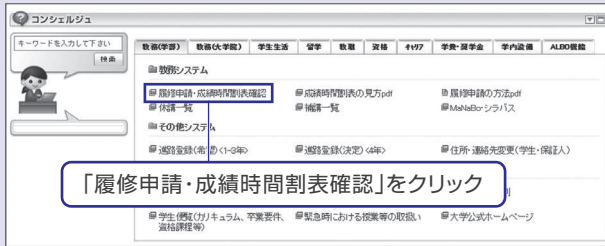
(5) 登録科目の確認
登録した科目の背景色が「黄色」⇒「オレンジ色」になります。科目により抽選があるため、申請時期によっては確定ではない場合があります。
登録した科目・授業担当教員に誤りがないか確認し、終了したらログアウトしてください

追加した科目を変更する場合、「-」をクリックし科目を削除してください。

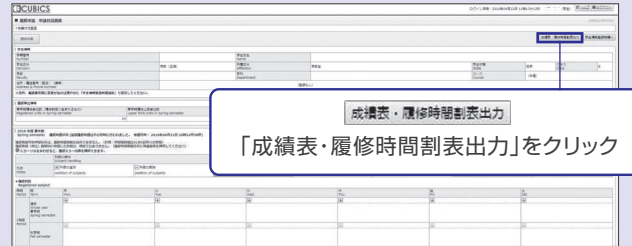
資格・教職課程の科目を選択する場合、タブを切り替える必要があります。

時間割・単位修得状況・成績・GPAの確認方法

(1) 成績時間割表確認画面へ



(2) 成績表・履修時間割表出力へ



※ (2)の画面が表示されない場合、下記の「事前準備／進路情報の登録」をご確認ください。

(3) 成績表・履修時間割表(PDF)の表示

**閲覧できなくなる期間があります。**

表示したらスクリーンショットを撮るか、プリントアウトするなどして保存してください。

① 単位修得状況欄

現在の履修・修得状況と、卒業に必要な各区分の単位数が表示されます。

② 履修単位数

履修中の単位数が表示されます。
通年科目は、2で割った数値が学期ごとの履修登録制限単位としてカウントされます。
例) 通年4 春期20 → 春は22単位としてカウント

③ 履修・修得科目一覧

現在履修している科目、これまでに履修した科目とその成績が一覧で表示されます。

④ 履修時間割表

登録している時間割が表示されます。
※出力時の情報が表示されます。
※時間割はMaNaBoでも確認可能です。
※集中講義科目は、右下「集中講義・その他」欄に表示されます。

⑤ GPA欄

トータルGPA及びセメスターごとのGPAが表示されます。

集中講義

教育効果を上げるため短期で行う授業のことです。開講科目・開講日時・場所については、時間割表又はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します。履修登録を忘れずに行ってください。

遠隔授業の修得単位について

法令では、通学制大学の学部授業において、遠隔授業 ▶▶▶ P4参照 に位置づけられる授業で修得した単位は卒業所要単位のうち 60 単位までしか認められないこととされており、本学の学則第 51 条第 4 項にもその旨が定められています。履修しようとする授業が遠隔授業か否かはシラバスで確認できます。卒業所要単位のうち遠隔授業による修得単位数がどれくらいかは自身で管理する必要があります。

試験の種類

■定期試験

学年暦に定める定期試験期間に行う試験です。

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

受験の条件

- 履修登録した授業であること。
- 当該授業の総授業回数の3分の2以上出席していること。
- 学費が納入されていること。

〈受験上の注意(対面による試験)〉

- 監督者の指示に従ってください。
- 一人おきに着席してください。
- 学生証を机上に置いてください。学生証を持っていない場合は受験することができません。試験開始前までに学生支援課で仮学生証の発給を受けてください。
- 筆記用具及び持込を許可された資料等以外は全てカバンの中に入れてください。
- スマートフォンや携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。時計型のウェアラブル端末など時間を計る以外の機能を持った時計の使用も禁止です。また、ノートパソコン・タブレット等を使用することはできません。これらの機器の電源及びアラームを切ってカバンの中に入れてください。
- 机上に文字・図形・符号等を書かないでください。また既に記載されていた場合は消してください。
- 遅刻者の入室は試験開始後20分まで認めます。それ以降の入室は認めません。
- 試験開始後30分を経過しなければ退室は認められません。なお、試験終了時まで再入室はできません。
- 退室する場合は他の学生の迷惑にならないよう静かに退室してください。
- 試験中の物品貸借や私語は禁止します。
- 答案の提出は必ず各自で行ってください。
- 答案は無解答でも提出してください。なお、試験場から外へ持ち出すことはできません。
- 病気・ケガ等で指定された試験場において受験できないと思われる場合は、あらかじめ教務センターへ申し出て指示を受けてください。
- 受験者以外は試験場内へ立ち入ることはできません。

試験時間帯〈1時限 60分〉

試験は、1時限60分です(定期試験・追試験共通)。

時限	時間(名古屋・豊田キャンパス共通)
1	9:30～10:30
2	11:00～12:00
3	13:00～14:00
4	14:30～15:30
5	16:00～17:00

A時限、B時限及びC時限の定期試験及び追試験を行う時間帯は、1時限又は2時限とします。

定期試験

■定期試験実施期間

定期試験は春学期と秋学期の年2回実施します。

■定期試験時間割

試験内容や実施方法は、授業担当教員から授業内又はCHUKYO MaNaBoより確認してください。

対面による定期試験を実施する授業科目の一覧を試験の約1週間前に発表します(中京大学公式ホームページ等にて公開)。

オンラインによる定期試験等を実施する授業もありますので、授業担当教員からの連絡を必ず確認してください。

※定期試験は、通常授業と異なる教室で行う場合があります。

※試験における持込参照物や試験範囲に関する発表は教務センターやCHUKYO ALBOでは行いません。授業中又はCHUKYO MaNaBoより授業担当教員からの連絡を確認してください。

※定期試験におけるレポート提出については「レポート」▶▶▶P11参照を確認してください。

追試験

■追試験

疾病その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった学生に対して行う試験です。

定期試験を正当な理由により欠席した場合は、追試験の申請を行ってください。

定期試験期間外の試験欠席については、各自で授業担当教員から直接指示を受けてください。

追試験を欠席した学生や不合格となった学生に対して、再度追試験は行いません。

《対象授業》

- ・定期試験期間中に対面による試験を実施した授業
- ・定期試験期間中にオンラインによる試験を実施した授業の中で追試験対象と指定された一部の授業(CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

※上記以外の授業で試験を受けられなかった場合は、授業担当教員に直接連絡してください。

※対象授業は変更となる可能性があります。

《手続方法》

欠席した当該授業の試験日の翌日から数えて7日以内に、CHUKYO MaNaBoから申請してください。(申請方法の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内予定)

《CHUKYO MaNaBoで提出する書類》

欠席理由・欠席日を証明できる書類(下記参照)の画像データ

※書類に学籍番号と氏名を明記してください。

《受験資格》

欠席理由が以下の①～⑥のいずれかに該当するものを認めます。

欠席理由	必要書類
①公共交通機関の事故・故障等による不通又は遅延	公共交通機関の発行する事故・遅延証明書
②病気又は負傷	医療機関の発行する診断書 ※欠席した期間が記載されているもの
③親族(3親等以内)の死亡又は葬儀	死亡診断書の写し又は葬儀日程のわかる文書
④本学の代表として出場する競技大会又は全国レベル以上の大会への出場	当該大会のプログラム又は参加を証明する文書
⑤就職活動における筆記試験又は面接試験等	試験日等を明示した文書等 ※選考に影響しない、企業説明会、インターンシップは追試験申請の対象となりません。
⑥その他、正当な理由として教授会が認めた事項	受験できなかった理由を証明する文書又は証明可能な書類

※自家用車を利用して遅延した場合は、証明することができないため、欠席や遅刻理由として認められませんので注意してください。

※パソコンの故障や通信障害などの事由による申請は認めません。

パソコンの動作確認を試験前に必ず行ってください。

《実施日》

実施期間は、中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

実施有無・日時・試験方法は、CHUKYO ALBO「お知らせ」等で案内します。実施する場合、日時は原則、「授業と同じ曜日・時限」を適用します。

※授業により必ずしも実施するとは限りません。

《評価》

通常評価(S・A・B・C・D・F)となります。

レポートの種類

1. 授業中に課題として提出するレポート
2. 試験に代わるレポート
3. 単位申請の課題として提出するレポート

作成にあたっての禁止事項

1. 他人の著作物やWeb上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述してはいけません。
2. 他人が作成したレポートを自分のものとして提出してはいけません。
3. 他人に依頼し作成されたレポートを自分のものとして提出してはいけません。
4. 他人に依頼されてレポートを作成してはいけません。
5. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けてはいけません。また、自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提供してはいけません。
6. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をしてはいけません。

提出時の注意

レポートは、テーマ、枚数、提出期限など異なりますが、以下について特に注意してください。

1. テーマ、科目名、授業担当教員、学部、学科、学年、学籍番号、氏名を記載してください。
2. 一度提出したレポートは締切日前であっても加筆・修正はできません。
3. その他提出方法・期間等、詳細は授業担当教員の指示に従ってください。

①《定期試験期間内にレポートを教室で提出する場合》

定期試験時間割で指定された日時・教室にて提出してください。試験開始後20分までに指定教室に入室しなければ提出できません。

②《教務センターレポート回収ボックスに投函する場合(豊田キャンパス)》

提出場所として回収ボックスが指定された場合のみ投函できます。投函口は科目指定ですので間違いのないよう投函してください。なお、一度投函されたレポートは返却できません。

不正行為・義務違反

■不正行為について

定期試験において不正行為(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該定期試験期間中に受験した全科目(レポート科目を除く)の成績評価は「F」(不受験)となり、さらに有期停学の処分が課されます。また、追試験を受験することもできません。

その他の試験やレポート等において不正行為(「中京大学学生懲戒規程」参照)をした場合、別表に基づき、懲戒処分を受けることになります。

■義務違反について

定期試験において義務違反(「中京大学試験規程」参照)をした場合、当該試験科目の成績評価は「F」となります。また、当該科目の追試験を受験することもできません。

《中京大学試験規程》(一部抜粋)

(定期試験の不正行為)

第9条 定期試験における不正行為とは、その本分に違反して受験した者及びさせた者の行為が次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 受験科目の内容を記入した物品等の所持
- (2) 通信機能又は文字、画像等の記録、閲覧等の機能を有した機器の所持
- (3) 答案用紙等の交換及び貸借
- (4) 机上等に受験科目の内容を記入していた場合
- (5) 本人以外の者が受験した場合
- (6) 他の者の答案を写した場合
- (7) 試験場外から答案用紙を持ち込んだ場合
- (8) 参照を許可されていないノート・教科書等を見た場合
- (9) 口頭等による答案の授受
- (10) 参照を許可されているものを貸借した場合
- (11) 前各号の検証のための指示に従わなかった場合
- (12) 試験監督者の監督業務を著しく妨害した場合
- (13) その他前各号に準ずる行為

(不正行為の懲戒)

第10条 定期試験において不正行為を発見したときは、教務委員会で審議し、不正行為を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、有期停学とし、かつレポート科目及び定期試験期間外に実施される試験を除き、当該学期の定期試験期間中に定期試験が実施された全授業科目の成績評価をFとする。なお、春学期定期試験期間中に定期試験が実施された通年科目の成績評価もFとする。

(定期試験の義務違反)

第11条 定期試験における義務違反とは、次の各号に該当する場合をいう。

- (1) 試験に使用する用紙が所定の用紙でない場合
- (2) 第9条第11号及び第12号の場合を除き、試験監督者の指示に従わない場合
- (3) 受験時、自己の学生証を机上に提出しない場合
- (4) その他前3号に準ずる場合

(義務違反の懲戒)

第12条 定期試験において義務違反を発見したときは、教務委員会で審議し、義務違反を行った者が所属する学部教授会において懲戒を決定する。この場合の懲戒は、当該試験科目の成績評価をFとする。なお、通年科目については、第10条に準ずる。

《中京大学学生懲戒規程》(一部抜粋)

(懲戒の対象となる行為)

第5条 懲戒の対象となる行為は、次に掲げるものとする。

- (1) 刑事法上、処罰の対象となる行為(犯罪行為)
- (2) 重大な交通法規違反行為
- (3) ハラスメント行為
- (4) 情報倫理に反する行為
- (5) 研究倫理に反する行為
- (6) 他の学生の学修、研究、教職員の教育研究活動等を妨害する行為
- (7) 試験等における不正行為
- (8) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- (9) その他学生としての本分に反する行為

2 懲戒の対象となる前項各号に規定する行為の例は別表に定める。

3 第1項各号について、別に規程が定められている場合は、その規程に従う。

別表(第5条関係)

区分	第5条第1各号に規定する行為の例	懲戒の標準例
試験・論文等 不正行為	本学が実施する試験(定期試験を除く)等におけるカンニング等の不正行為	停学又は戒告
	本学が実施する試験(定期試験を除く)等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	停学又は戒告
	論文・レポートの作成等における剽窃、無断引用等の悪質な行為	停学又は戒告

なお、オンラインでの定期試験における禁止事項等については、定期試験期間前にCHUKYO ALBOにて配信しますので確認してください。

研究倫理

学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとして扱われますので不正行為にならないよう、十分に注意を払う必要があります。例えば、卒業論文のための研究や、論文執筆において下記のような不正があった場合は、意図的でなくても処罰の対象となる場合があります。

■研究における不正行為

ねつ造
存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
改ざん
研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を変造又は偽造すること。
盗用
他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

《中京大学研究倫理規程》(一部抜粋)

(対象)

第2条 研究者とは、本学の専任の大学教員のみならず、本学において研究活動に従事する者をいう。なお、学生であっても、研究活動に従事するときは、研究者に準ずるものとする。

(告発等への対応)

第20条 本学は研究倫理に関して、相談、告発等がある場合、適切な措置を講ずる。

(懲戒)

第22条 研究者は、第20条に規定する措置の結果によっては、「学校法人梅村学園懲戒規程」に従い処分されることがある。

2 前項において、研究者が学生である場合には、「中京大学学生懲戒規程」に従い処分されることがある。

成績評価基準

成績評価は、担当教員の評価方法・基準によって、試験(筆記・口頭・実技等)、レポート、授業参加状況等に基づいて行われます。成績評価基準は次のとおりです。

区分	評語	得点	グレード ポイント(GP)	評価内容 (英文内容)
合格	S	100~90点	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
	A	89~80点	3.0	学習目標を相応に達成している (Very Good)
	B	79~70点	2.0	学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある (Good)
	C	69~60点	1.0	学習目標の最低限は満たしている (Pass)
	N	認定	—	本学以外で修得、又は資格を取得したもので本学が単位認定したものの (Credit given under Credit provision)
不合格	D	60点未満	0.0	学習目標の最低限を満たしていない (Fail)
	F	不受験	0.0	成績評価要件を満たしていない(試験不受験、課題未提出、出席不足等) (Withdrawal)

GPA

GPAとは、Grade Point Averageの略称であり、成績評価を数値化したものです。4.0~0.0という数字で表され、この数値が高いほど優秀な成績を修めているということになります。

《GPA導入の目的》

- ①大学教育における成績評価基準の標準化
- ②厳格な成績評価による教育効果の向上

《GPA算出式》

成績評価をグレードポイントで置き換え、単位数をかけたものの総和を履修登録単位数で割って求めます。

$$4.0 \times \text{Sの修得単位数} + 3.0 \times \text{Aの修得単位数} + 2.0 \times \text{Bの修得単位数} + 1.0 \times \text{Cの修得単位数}$$

$$\text{GPA} = \frac{\text{総履修登録単位数 (DやFの単位数も含む)}}{\text{総履修登録単位数 (DやFの単位数も含む)}}$$

※全学共通科目・学部固有科目がGPA算出の対象となります。

N(認定された単位)及び自由科目の単位は計算式に含まれません。

※GPAの値は、小数点第4位を切り捨て、小数点第3位までの数値で表示します。

※要卒単位を超えて単位認定された科目は、単位集計表上、自由科目に区分されますが、GPA算出の対象となります。

《GPAの運用》

GPAの値を指標として、教育奨励賞の対象者や卒業式での成績優秀表彰者の選考等を行っています。

学習意欲を高めるために、各学期の成績が確定後、GPAの分布と平均値を公表しています。また、GPAの値に基づき、選抜等を行う科目もあります。

成績開示

《春学期科目》

8月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

《秋学期科目・通年科目》

2月にCHUKYO ALBOで開示します。

開示日は中京大学公式ホームページの学年暦(行事予定)で確認してください。

《成績問合せ》

成績評価に関する問合せは、各学期の成績開示後に受け付けます。問合せ期間及び方法等の詳細についてはCHUKYO ALBOの「お知らせ」で発表します。

ただし、成績評価が妥当でない理由を具体的に事実に基づいて立証することができないものや、成績の再考や救済を求める内容のものは一切受け付けません。また、個々の判断でMaNaBoメールなどを通じて授業担当教員に直接問い合わせることはできません。成績に関する問合せはすべてこの制度を利用してください。

《その他》

教育後援会より5月と10月に「成績表・履修時間割表」を保証人宛に送付します。

また、成績不振などの場合に教務センターより保証人宛に成績表・履修時間割表等を送付する場合があります。

単位集計表の見方

例)

		⑦	⑧	⑨	⑩
	区分	履修 単位	既修 単位	要卒 単位	卒業 要件
①	卒業要件内	24	96	120	124
②	---- 全学共通科目 ----	2	46	44	44
	教養発展科目	0	2	2	2
	英語基礎A・B	0	4	4	4
	第二外国語基礎A・B	0	4	4	4
	スポーツ・健康(実技)	0	2	2	2
	スポーツ・健康(講義)	0	2	2	2
	自然の探究	0	4	4	4
	人間の探究	0	4	4	4
	社会の探究	2	10	4	4
	複合領域	0	6	4	4
	選択単位	0	8	14	14
③	---- フロート単位 ----	0	0	6	6
④	---- 学部固有科目 ----	22	50	70	74
	必修科目	4	12	16	20
	選択科目	18	38	54	54
⑤	---- 卒業要件外 ----	2	2	4	
	教職課程科目	2	2	4	
	司書課程科目	0	0	0	
	司書教諭課程科目	0	0	0	
	学芸員課程科目	0	0	0	
⑥	自由科目	0	0	0	
	その他	0	0	0	

※集計方法は中京大学ホームページを確認してください。

① 卒業要件内

卒業要件に算入される単位数の集計欄です。

② 全学共通科目

全学共通科目における各科目区分ごとの集計欄です。

③ フロート単位

全学共通科目と学部固有科目の区分で修得した単位のうち、各区分の卒業要件を超過した単位数がフロート単位になります。なおフロートの卒業要件を超過すると自由科目の単位となります。

※フロート単位を設定している学部は、国際学部(18単位)及び心理学部(8単位)のみです。その他の学部には、フロート単位概念はありません。

④ 学部固有科目

学部固有科目における各科目区分ごとの集計欄です。

⑤ 卒業要件外

教職課程科目及び他の資格科目の集計欄です。

⑥ 自由科目

この表における自由科目とは教職・資格科目単位以外で、卒業要件に算入されない単位数です。

⑦ 履修単位

履修登録している単位数(通年科目を含む単位数)

⑧ 既修単位

すでに修得した単位数

⑨ 要卒単位

卒業に必要な単位数をどれだけ満たしているかを示した単位数
※履修中の単位数(⑦ 履修単位)を含みます。要卒単位は、履修単位がすべて合格すると仮定して算出した数字のため、履修科目が不合格となった場合には、要卒単位の数字がその分だけ減ります。

⑩ 卒業要件

卒業に必要な各区分の単位数

Point!

- 「⑨ 要卒単位」の数値は、「⑩ 卒業要件」の数値を超えることはありません。
- 「⑨ 要卒単位」と「⑩ 卒業要件」の数値が等しい場合は、履修登録中の科目の合格を前提として、その区分については卒業のために必要な要件を満たしていることを意味します。

卒業

卒業は、秋学期終了時において、卒業要件を満たした場合に、各学部教授会によりその可否について判定されます。その結果は3月上旬にCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内は3月中旬に保証人宛に送付します。

春学期卒業

春学期終了時において、以下の卒業要件を満たした場合は、各学部教授会による卒業判定後、春学期卒業(9月卒業)となります。その結果は9月中旬までにCHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。卒業式の案内を9月中旬に保証人宛に送付します。

《卒業要件》

- ・通算4年(8セメスター)以上の在学(在学期間に休学は含みません)
- ・4年次に2セメスター以上の在学
- ・各学部・学科で定められている卒業要件(卒業所要単位、その他要件等)の充足

■卒業延期

春学期卒業(9月卒業)の延期(翌年3月卒業)を希望する場合は、期限までに教務センター窓口で「卒業延期願」に必要事項を記入の上提出し、秋学期分学費を納入してください。

卒業延期願の提出期限	8月末日頃 (詳細はCHUKYO ALBOの「お知らせ」で案内します)
卒業延期願の提出先	教務センター

《注意事項》

秋学期の履修登録が必要です。ただし、必ずしも単位を修得する必要はありません。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

留年

進級や卒業に必要な要件を満たさなかった場合は、その学年に留年となります。卒業せずに留年となった場合は、文書をもって、その旨を保証人宛に通知します。

※秋学期に進級することはありません。

※各学部の要件については学生便覧(履修ガイド)【教育課程と資格課程】の「進級要件と卒業要件」を参照してください。

《納入する学費》

該当学年に適用される納付金額と同額。

国際学部

教育課程と資格課程

教育研究上の目的

【国際学部】

グローバル化の進展に伴い、現在の国際社会では人もモノも情報も自由に往来することが可能となっている。従来の「国境」という概念が変化し、かつては複数の独立した主権国家で構成されていた地域が、今では一つの連邦国家ともいえるほどの状態にまで至っている。こうして、異なる歴史や文化的伝統を持つ人々が、ともに一つの社会で生活していくという、多様性を前提とした社会が生まれている。他方、世界各地で排他的なナショナリズムが高揚し、文明の衝突と言われる現象も現れている。世界全体が激動している現在、対応すべき課題・問題は複雑かつ多様化していることが多く、一つの学問領域に基づいて追究することは難しい。また世界の多様性への理解が求められている現在、母語の言語能力しか持たない人材が様々な課題に取り組んでいくことは困難である。そこで本学部は、グローバル社会における複雑な課題・問題に取り組んでいくために、「人」の行動や「社会」の動きを様々な学問領域から研究・学修し、複言語能力の涵養に努め、国際社会が直面する諸課題を多面的に追究し、解決に取り組むことができる知識・能力を身につけた人材を養成する。

【国際学科】

現在の国際社会は、冷戦終了後に噴出した民族紛争、テロの多発など、様々な課題を抱えている。そうした課題は政治的、経済的あるいは歴史的なものなど多岐にわたっており、対応する主体も国連のような国際機関から国家、あるいは各種のNGOなど多様である。またグローバル化の進展だけでなく、高度の情報化や産業構造の変化など、国際社会との密接な関係の中で生きていく日本にとって、国際経済の動向やそこで行われるビジネスの内容などに関する高度な理解が求められている。そこで本学科に国際人間学専攻、国際政治学専攻、国際経済学専攻、Global Liberal Studies専攻を置き、英語を中心とした複言語能力を涵養するとともに、各専攻の視座から人文学、社会科学等の多面的な学問領域を教授することによって、国際社会が直面する様々な課題・問題に取り組める知識・能力を身に付けさせ、世界で活躍できるグローバル人材を育成する。グローバル化の進展だけでなく、高度の情報化や産業構造の変化など、国際社会との密接な関係の中で生きていく日本にとって、国際社会における政治・経済の動向やそこで行われるビジネスの内容などに関する高度な理解が求められている。したがって本学科は、国際社会的確な現状理解をベースに、多様な人々と円滑なコミュニケーションができる能力を有し、複雑な諸課題に対応できる高度な専門的知見と技能を有する人材を養成する。

【言語文化学科】

言語・文化の多様性と普遍性の理解を深めることをその学びの中心とし、複言語・複文化専攻と英米学専攻の二つの研究コースにおいて、中京大学の建学の精神に謳われる「学術を通じた人格陶冶」を実現すること、真のグローバル精神を涵養することを目的とする。特に、言語・文化のスペシャリストになるために必要な高度な専門的知識と教養を身につけること、及びジェネラリストになるために必要な広範で深遠な知識と教養を身につけることを目的とする。多様な文化的価値観が混在する社会のなかで、複数の言語やその背景となる文化的社会的知識を用いて、人々との「共生」を導くことができ、言語や文化という人間活動の根本を探求しながら、現代社会の諸問題を解決する努力を怠らず、社会の様々な要請にも言語文化の知見を活かして挑み続けることができる自律的学習者、並びに言語研究・文学研究・文化研究等の専門家を養成する。

学位授与の方針

国際学部国際学科及び言語文化学科は、教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成・提出し、審査を受けて合格に達した者に対して、学士(国際学)の学位を授与します。

以下に達成の基準である学修成果を示します。それらは、国際学部に通ずる基準、各学科の基準、そして、各専攻の基準により構成されます。

＜学修成果(教育目標)＞

●国際学部共通の基準

1. 学究的な思考方法に基づいて、理論的な考察と学際的な研究を深め、その知識を国際社会で活用できる能力を有している。
2. 国際社会の諸課題に取り組む様々な組織の中で、チームワークを重視するとともにリーダーシップを発揮できるマネジメント能力を有している。

●国際学科共通の基準

1. 英語に関する高い運用能力を持ち、国際社会の多様性を認識して相互のコミュニケーションを円滑に行うことができる。
2. 複言語能力の涵養に努め、多種多様な言語・文化を持つ人々と交流できる。
3. グローバリゼーションの進展によって多様化・複雑化する国際社会の諸課題について、対応するために必要な人文学・社会科学を多面的に学修し、専門的知見や技能を活用できる。

●国際学科各専攻の基準

＜国際人間学専攻＞

1. 哲学や思想、人間学、歴史学に関する重要文献や資料を正確に読解するために必要な論理的思考力と日本語力、語学力を身に付けている。
2. グローバル化、科学技術の進展によって深刻化する現代の国際社会の重要課題を主体的に考察しつつ、人間や社会のあり方を哲学的・歴史学的な観点から批判的に問い直すことができる。
3. 東西諸文化の差異や特殊性とその中での日本の位置を、思想や歴史の視点から理解するとともに、人類に共通するグローバルな普遍性を探求する、開かれた対話的な態度を身に付けている。

＜国際政治学専攻＞

1. 国際社会の諸問題を理解できるように、国際政治学・国際開発学の基本的な知識を有している。
2. 世界の課題や問題の原因を見出し、それらを解決するための方策をグローバルな視野で考え、チームの中で主体的に行動することができる。
3. グローバリゼーションのなかで問題解決に必要な適切な情報を収集し、論理的に議論することができる。

《国際経済学専攻》

1. グローバル化が進む国際社会の中で活動する企業、消費者、政府といった様々な主体の行動や相互依存関係やそれらが社会に及ぼす効果を定性的かつ定量的に分析し、グローバル社会における経済主体間で生じる課題・問題を解決できる能力を身に付けている。
2. グローバル社会の中で活動する企業の経営管理や経営戦略について、理論や数量的スキルを用いて定性的かつ定量的に分析し、企業が抱える課題・問題を解決できる能力を身に付けている。
3. 多様な文化的背景を持った人々との開かれた対話を通じ、組織運営を行う能力を有している。

《Global Liberal Studies専攻》

1. Students will have attained a global perspective on contemporary issues.
現代の諸問題についてグローバルな視点を獲得している。
2. Students will be able to engage, both orally and in writing, in the critical analysis of global issues.
グローバルな問題の批判的分析に会話でも論文でも取り組むことができる。
3. Students will have achieved a high level of proficiency in Japanese.
日本語の高度なプロフィシエンシー(熟達度、運用能力)に達している。

●言語文化学科共通の基準

1. 「言語文化の専門家」という立場から、社会における様々な事例に対し、自らの意見を世界に向けて発信することができる。
2. 言語文化に関する広範で深遠な知識と教養を活かし、その時々での社会的文化的文脈に応じて、しなやかに対応することができる。
3. 英語やその他の外国語を用いて国際社会の様々な場面に適切に対応できる外国語運用能力を有している。

●言語文化学科各専攻の基準

《複言語・複文化専攻》

1. 複言語・複文化能力の向上に努め、多種多様な言語・文化を持つ人々と交流できる。
2. 世界の様々な言語・文化の多様性と普遍性を深く認識し、母語・母文化・アイデンティティを相対的に捉えることができる。
3. 多種多様な言語・文化を持つ世界の人々との協働を通じて、多様なイノベーションの創出・問題解決・情報共有・相互理解を促進するファシリテーション能力を有している。

《英米学専攻》

1. リンガ・フランカとしての英語のあり方を前提として、实际的に英語を使用し、広く多様な国際コミュニケーションを円滑に行うことができる。
2. 英語という言語に対する体系的理解を深め、英語教育者・実務翻訳家・通訳者等になるために必要な専門的能力を身に付けている。
3. 単に英語圏の文化や文学・歴史のみならず、多くの英語圏の国々と日本の文化や文学・歴史との比較も含めて学修し、英語圏文学・文化の多様性と、ナラティブという切り口から国際社会のあり方や成り立ちを複眼的かつ体系的に理解できる。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

教育課程編成・実施の方針

国際学部は、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づいて教育課程を編成し、効果的な教育方法を実践します。

本学部では、グローバル社会における複雑な課題・問題に取り組んでいくために必要となる複言語能力の涵養に努め、「人」の行動や「社会」の動きを様々な学問領域から学修します。

それを実現するために、以下のとおりの教育課程を編成します。

<専門教育課程の構成(国際学部共通事項)>

1. 学部の共通言語を日本語と英語とし、日本語を母語とする学生には1年次第2セメスターにおいて英語圏留学を必修とする。また、1年次から2年次にかけて、英語の運用能力だけでなく、英語を通して、論文作成・ディスカッション技能・批判的思考力・対話力などのアカデミック・スキルズを習得する(CEFR基準でC1程度)。
2. 両学科・全専攻の専修科目に英語のみで授業を行う科目を設置し、英語力を強化する。
3. 2年次において、フランス語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・中国語・イタリア語・韓国語の7つの言語から1言語を選択し、第二外国語として集中的に習得する(CEFR基準でA2-B1程度)。
4. 学生自身が専門とする科目の履修だけに留まらず、学部内にあるすべての専攻・専修の開講科目も履修できるリベラルアーツ教育を実践する。これを通じて、特定分野の専門性の追求だけでなく、幅広く多岐にわたる学際的な学修を可能にする。
5. 自身が選択した第1メジャーに加えて、他の専攻(専修)の体系的な履修をすすめることにより、Double Major(2つの専攻(専修)のゼミまで履修)あるいは、1Major+1Minor(専攻(専修)の講義科目を20単位以上履修)として、2つの専攻(専修)における学修の高い次元での両立ができるものとする。
6. 社会的・職業的自立に関する指導の柱とすべく、学部共通基礎の必修科目として第3セメスターに「キャリア・デザイン」を置く。自らの適性を探るとともに、現代社会における職業・職場の多様な実態と可能性に触れ、グローバル化が進展する現代社会において、働くことと生きることに関する視野を広げる。
7. 学部固有科目の年次配当と教育のねらいを下表のとおりとする。各段階を経て着実に学びのスパイラルアップを図ることができるものとする。

1年次	1セメスター	「入門ゼミ」、「英語」、「専攻基礎科目」を履修し、大学で学ぶ上での、また各専攻で学ぶ上での確実な基礎を身に付ける。
	2セメスター	約3か月にわたり、英語圏に留学する。事前事後学習も含め、その成果を「Overseas University Studies」として単位認定する。
2年次	3セメスター	「英語」、「第二外国語」、「キャリア・デザイン」、専修基礎科目、専修科目を履修し、言語運用能力の向上を図るとともに、専修で学ぶ上でのベースとなる知識を身に付ける。
	4セメスター	
3年次	5セメスター	「ゼミ(演習)」、「専修選択科目」を履修し、専門分野に関する発展的な知識と課題発見・解決能力を身に付ける。希望者は第二外国語の発展的な学修を行う。
	6セメスター	
4年次	7セメスター	「ゼミ(卒業研究)」において、学士課程教育の集大成となる卒業論文を完成させる。
	8セメスター	

<国際学科の専門教育課程の構成>

1. 国際学科に以下の専攻・専修を置き、それぞれにおいて専攻基礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習)を配置し、段階的で体系的な学修を実現する。
 - ・国際人間学専攻(哲学・人間学専修、グローバル・ヒストリー専修)
 - ・国際政治学専攻(国際政治学専修、国際開発学専修)
 - ・国際経済学専攻(国際経済学専修、国際ビジネス学専修)
 - ・Global Liberal Studies 専攻(Global Liberal Studies 専修)
2. 日本語を母語としない学生(Global Liberal Studies 専攻の学生)は、1年次から3年次にかけて日本語科目の段階的な履修をすすめ、高度な日本語能力を習得する(JF 日本語教育スタンダード B2/日本語能力試験N2程度)。また、Global Liberal Studies 専攻の専門教育の授業は、すべて英語で行う。
3. ゼミ(卒業研究)を必修科目として置く。第1メジャーとする専門分野の学びの集大成である卒業論文(卒業研究)を完成させる。

【国際人間学専攻】

1. 哲学・人間学専修、グローバル・ヒストリー専修をおき、2年次にそれぞれの専修に配属され、3年次に各分野のゼミ(演習)に配属される。
2. 3年次のゼミ(演習)での専門的な学修に基づき、4年次にその専門性を活かした卒業研究を完成させる。

【哲学・人間学専修】

1. 1・2年次に「現代哲学概論」「現代人間学概論」「Introduction to Philosophy and Humanities」「哲学・人間学入門I・II」「比較思想概論」(専修必修科目)を履修することを通じて哲学・人間学に関する基礎的な素養を身に付け、3・4年次には「心とAIの哲学」「Comparative Thought」など専修選択科目を履修することを通じて、哲学・人間学に関する幅広い知識と教養を身に付ける。
2. 3年次にゼミ(演習)に分かれ、卒業研究に向けて各教員の研究分野に基づいた専門的な学修を行う。4年次には卒業研究を完成させる。

【グローバル・ヒストリー専修】

1. 1・2年次に「グローバル・ヒストリー概論I・II」を軸に、その他の関連基礎科目を通じて、長い歴史・広い空間を意識したグローバル・ヒストリーの考え方を身に付ける。
2. 3年次以降は、「History of Modern Japan」や「複数性のアジア史」などの科目で、テーマや時代を特化した学修により専門的な知識を深め、4年次での卒業研究に結実させる。

【国際政治学専攻】

1年次向けには自専攻基礎科目として、国際政治学あるいは国際開発学を学ぶに当たって必要な基礎知識を習得するために、「国際関係論」と「国際開発学入門」を設置する。

【国際政治学専修】

1. 2年次においては2単位の自専修基礎科目として「国際関係学」「Introduction to International Politics」を設置し、さらなる基礎知識の習得を促す。さらに4単位の自専修科目として「国際政治学」「国際政治史」「日本政治外交史」を設け、より高度な学修を進めることで、3年次のゼミ(演習)と4年次のゼミ(卒業研究)への橋渡しとする。また、「International Politics」では英語で授業を行い、専門性の高い英語力の涵養を図る。
2. 3年次では「国際政治」「国際政治史」「日本外交史」のいずれかの分野に関するゼミ(演習)で専門性を高めるとともに、4年次では各ゼミ(卒業研究)の教員が卒業研究指導を行って卒業論文を完成させる。

【国際開発学専修】

1. 2年次においては2単位の自専修基礎科目として「国際協力論」「International Development Studies I」を設置し、さらなる基礎知識の習得を促す。さらに4単位の自専修科目として「社会開発論」「グローバル・ガバナンス論」「持続可能な開発論」

を設け、より高度な学修を進めることで、3年次のゼミ(演習)と4年次の卒業研究への橋渡しとする。また、「International Development Studies II」では英語で授業を行い、専門性の高い英語力の涵養を図る。

2. 3年次では「社会開発論」「グローバル・ガバナンス論」「持続可能な開発論」のいずれかの分野に関するゼミ(演習)で専門性を高めるとともに、4年次では各ゼミ(卒業研究)の教員が卒業研究指導を行って卒業論文を完成させる。

【国際経済学専攻】

1. 経済学・経営学の主たる領域において、諸問題を解決するために必要な知識や思考能力を身に付けることを目的とした専攻基礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習、卒業研究)を配置する。
2. 専攻基礎科目として、経済学及び経営学の基礎的な知識や思考能力を身に付けることを目的とした科目を配置する。

【国際経済学専修】

1. 専修基礎科目、専修科目として、経済学の主たる領域であるマクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学の3分野について、経済における諸問題を解決するために必要な知識や思考能力を身に付けることを目的とした科目を配置する。
2. 選択科目として、グローバル経済で起こっていることを深く理解し、問題解決能力を身に付けるための科目を配置する。
3. ゼミ(演習、卒業研究)では、経済学に関わる分野の学びを深め、その集大成である卒業研究を完成させる。

【国際ビジネス学専修】

1. 専修基礎科目、専修科目として、経営学の主たる領域である組織・人材マネジメント、会計・ファイナンス、戦略・マーケティングの3分野について、ビジネスにおける諸問題を解決するために必要な知識や思考能力を身に付けることを目的とした科目を配置する。
2. 選択科目として、グローバルビジネスで起こっていることを深く理解し、問題解決能力を身に付けるための科目を配置する。
3. ゼミ(演習、卒業研究)では、経営学に関わる分野の学びを深め、その集大成である卒業研究を完成させる。

<言語文化学科の専門教育課程の構成>

1. 言語文化学科に以下の専攻・専修を置き、それぞれにおいて専攻基礎科目、専修基礎科目、専修科目、選択科目、ゼミ(演習)を配置し、段階的で体系的な学修を実現する。
 - ・複言語・複文化学専攻(言語学専修、異文化コミュニケーション専修)
 - ・英米学専攻(英語学・英語教育専修、英語圏文学・文化専修)
2. ゼミ(卒業研究)を必修科目として置く。第1メジャーとする専門分野の学びの集大成である卒業論文(卒業研究)を完成させる。

【複言語・複文化学専攻】

1. 1年次に専攻基礎科目として「ことばの仕組み」「異文化理解概論」を履修する。
2. 複言語・複文化能力の向上のため、世界の言語プログラム(第二外国語)では、2年次に基礎科目を、3年次に応用科目を履修し、第二外国語を発展的に学ぶPlurilingual Programの修了を目指すこととする。

【言語学専修】

人間言語に見られる諸特性についての幅広い知識と言語学の基本的な考え方を習得した上で、言語の構造、音声、獲得などの側面について深く理解する。この目標を達成するため、2年次に基礎科目として「理論言語学入門」「Introduction to Linguistics」、専修科目として「統語と音韻の境界領域」「理論言語学」「比較統語論」「Workshop in Linguistic Research」を履修する。3年次にゼミ(演習)として、統語と音韻の境界領域、理論言語学、比較統語論のいずれかの分野を履修する。4年次には各ゼミ(卒業研究)教員の指導のもとで集大成として卒業研究を完成させる。

【異文化コミュニケーション専修】

世界の言語・文化について、歴史的、社会的背景についての幅広い教養を習得した上で、二言語以上の外国語運用能力を活用しながら、異文化間のコミュニケーションの多様性について深く理解する。この目標を達成するため、2年次に基礎科目として「Introduction to Theory of Culture」「コミュニケーション論概論」を履修する。さらに選択科目として、複言語複文化、文学、多文化共生と宗教、映画とメディア、社会言語学、芸術と宗教、ポピュラー文化に関する分野から選んで履修する。3年次にはゼミ(演習)として、外国語学習、比較文学、社会言語学、西洋精神文化、多文化共生、比較文化、表象文化のいずれかの分野を履修する。4年次には各ゼミ(卒業研究)教員の指導のもとで集大成として卒業研究を完成させる。

【英米学専攻】

1. リンガ・フランカとして、実際に英語を使用して広く多様な国際コミュニケーション能力を習得する。
2. 英語圏の言語や社会・文化について広範な知識を獲得するとともに、それらについて学際的見地から批判的に研究し理解する。

【英語圏文学・文化専修】

多様な英語圏の文化や文学・歴史について、日本の文化や文学・歴史との比較も含めて学修し、国際社会という背景において、物語研究という観点から、英語圏文学・文化の多様性について複眼的かつ体系的に理解する。

【英語学・英語教育専修】

英語という言葉に対する体系的理解を深め、英語教育者、実務翻訳家、通訳者等になるために必要な専門的能力を身に付ける。

<授業方法(国際学部共通事項)>

国際学部における教育効果を最大のものとするために、以下のとおりで授業を行う。

1. インターアクティブな語学の授業やゼミ、専門分野の教員による専門性の高い講義と学生主体のアクティブ・ラーニングを織り交ぜた授業を行うこととする。
2. 「世界の言語(英語・第二外国語・日本語)」と1 Semester 4単位設定の講義科目(専修科目・専修選択科目)は、同一科目を1週のうちに間隔をあけて複数回授業を行う仕組みとし、学生の記憶が鮮明なうちに次なる内容を教授して授業の密度そのものを上げる工夫をする。
3. 英語と第二外国語の授業は、ひとつの科目を原則として3名の教員が1コマずつ順繰りに受け持つリレー形式で行うこととし、その中には必ずネイティブスピーカーを含み、コミュニケーション能力の向上を重視した授業展開を実践する。
4. 3年次に開講するゼミは2限連続で行うこととし、時間をかけた発表や討議ができるようにする。
5. 各科目においては、学びの進捗確認の観点と、常に緊張感をもって授業に臨むことを求める観点から、適宜中間的な確認テストを行うこととする。

カリキュラム(教育課程)

カリキュラム(教育課程)とは、教育目標を達成するために、学生の学習段階や能力に応じて編成した教育内容の計画のことです。本学のカリキュラム(教育課程)は、全学共通科目と学部固有科目からなります。卒業にはそれぞれの科目群から学科ごとに必要とされる単位を修得する必要があります。

また、全学共通科目と学部固有科目から学生個人の関心や意欲に応じて自由に科目を選択して履修できるフロート単位や、学際的な知識を身につけるための全学開放科目(他学部開講科目履修制度)などがあります。

【全学共通科目】▶▶▶P26参照

教養教育科目ともいいます。所属学部や研究領域を問わず全学生が履修する科目です。

4年間にわたって学部・学科ごとの学部固有科目と並行して学び、幅広い知識と教養を身につけます。

【学部固有科目】▶▶▶P28参照

学部・学科ごとに開講されている専門教育科目です。

学部・学科によって履修の仕組みは異なりますが、一般的には1、2年生で基礎的な科目を学び、3、4年生ではより専門性の高い科目を学びます。大学ならではの授業スタイルである「演習(ゼミナール)」も開講されています。

【資格課程【教職・司書課程等】】▶▶▶P61参照

専門教育を通じて資格取得を希望する学生のための課程です。

学部・学科ごとに設けられているもので、「教職課程」をはじめ「司書課程」など多彩な資格課程があります。

※学部・学科によって取得できる資格の種類は異なります。

※資格課程において取得する単位には卒業所要単位には含まれないものもあります。

【全学開放科目【他学部開講科目履修制度】】▶▶▶P58参照

10学部を擁する本学では、学部横断的に学部固有科目を学べる独自の教育システムを設定しています。

他学部の学部固有科目を学ぶことで幅広く深い知識を得られるうえ、自身の専門分野からのアプローチ以外の学際的な視点・考え方を身につけることができます。

セメスター制と通年制

セメスター制とは、1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに単位認定を行う制度です。通年制とは、1年間(春・秋の2学期間)で単位認定を行う制度です。本学はセメスター制を基本としていますが、通年制の科目もあります。

学 年	1		2		3		4	
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8

各種サポートプログラム

本学では「学部の学び」に加えて、資格取得サポートや留学サポートプログラム、さらに就職に向けたキャリアサポートプログラムを用意し、入学から卒業まで幅広い支援体制を整えています。

【資格取得サポートプログラム(資格センター)】

資格センター主催の資格取得プログラムでは、外部専門講師による実践的な試験対策講座を開講し、高い合格率を誇っています。

資格試験対策だけでなく、就職に直結する公務員試験対策など、将来の目的に合わせた資格講座を開講しています。

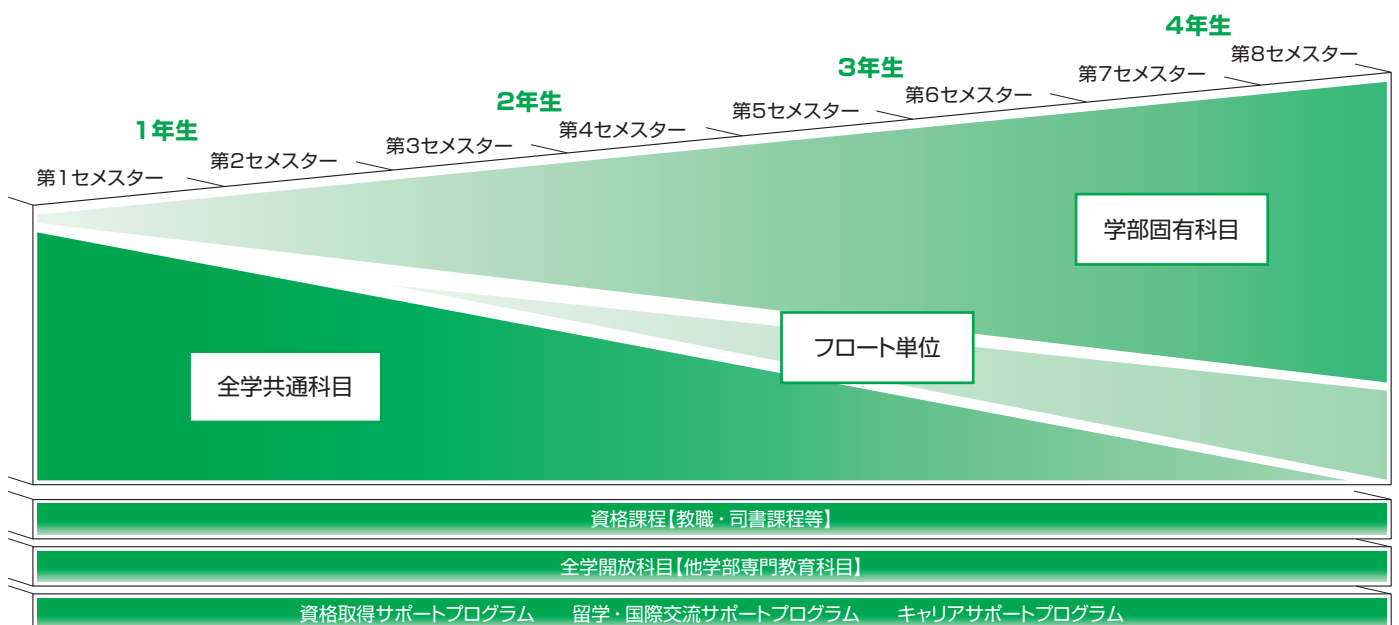
【留学・国際交流サポートプログラム(グローバル教育センター)】

グローバル教育センターでは、交換・認定留学をはじめ、ディズニー・インターンシップや海外短期研修など、様々な留学制度を取り揃えています。国際交流全般に関わる窓口として、留学希望者へのサポートのほか、英語対策講座の提供、学内国際交流イベントを実施しています。

【キャリアサポートプログラム(キャリア支援課)】

就職への意識を高めると同時に自己発見と将来の進路選択のため、1年生から4年生まで、それぞれの学年ごとに「キャリアサポートプログラム」を実施し、早くから就職を意識することで高い成果を上げています。

また、職場体験を通じて職業意識を高める「インターンシッププログラム」も実施しています。



※フロート単位とは、全学共通科目と学部固有科目から、自分の興味や関心、意欲に応じて授業を自由に選択して履修できる単位のことです。

3 授業科目区分と単位制度

問合せ先 教務センター

授業科目区分

全学共通科目と学部固有科目は次のように区分されます。

1. 必修科目 …… 卒業するために必ず修得しなければならない科目
2. 選択必修科目 …… 選択科目のうち指定された複数の科目から選択して必ず修得しなければならない科目
3. 選択科目 …… 卒業するために各学部の定める科目のうちから適宜選択して修得しなければならない科目
4. 自由科目 …… 単位の認定はされるが、卒業所要単位には算入されない科目

単位制

本学では「大学設置基準」にもとづいた単位制を採用しています。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することによって、授業科目ごとに定められている単位を修得する制度のことです。大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する旨の内容が記載されています。したがって、単位を修得するには、大学での授業に加え、予習・復習等の自主学習が必要となります。

単位数

中京大学学則では、以下のように定められています。

科目区分	授業時間数	単位数
講義科目、演習科目	15～30時間	1単位
外国語基礎科目、実験・実習・実技科目	30～45時間	1単位

授業の方法

授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとします。

《講義》

学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説き聞かせる授業形態。

《演習》

教員の講義と共に、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態。

《実験》

事柄の当否などを確かめるために、また、ある理論や仮説で考えられていることが、正しいかどうかなどを実際に試してみる授業方法。

《実習》

講義などで学んだ知識を基に、実地(実物)について学習する授業方法。

《実技》

講義などで学んだ知識を基に、実際に演技を行う授業方法。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

4 学科・専攻・専修一覧

問合せ先 教務センター

専攻及び専修の略語について

国際学部は2学科6専攻11専修に分かれています。
1年次は「専攻」別の所属となり、2年次以降は「専修」別の所属になります。
自分の所属する専攻・専修の略語は必ず覚えてください。

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際	国際人間学	P1	哲学・人間学	PHAN	P1-1
			グローバル・ヒストリー	GHIS	P1-2
	国際政治学	P2	国際政治学	INTP	P2-1
			国際開発学	INTD	P2-2
	国際経済学	P3	国際経済学	INTE	P3-1
国際ビジネス学			INTB	P3-2	
Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1	
言語文化	複言語・複文化学	P5	言語学	LING	P5-1
			異文化コミュニケーション	INTC	P5-2
	英米学	P6	英語学・英語教育	ELNG	P6-1
			英語圏文学・文化	ELIT	P6-2

- ①学籍番号の先頭2文字は「専攻コード(P1～P6)」です。
- ②学部固有科目のうち、多くの科目は各専修に区分され、設置されています。カリキュラム表中の各科目の欄には、「専修略(アルファベット4文字)」の記載があります。
- ③Global Liberal Studies専攻は、日本語を母語とせず、かつ高い英語力をもつ学生のための専攻であるため、他の専攻と卒業要件やカリキュラム内容が異なります。そのため、Global Liberal Studies専修科目については、教育課程表上に記載があっても他専攻学生の履修ができない科目や配当学年が異なる科目があります。詳細はP28以降の専修別カリキュラム表で確認してください。

5 進級要件と卒業要件

問合せ先 教務センター

進級要件及び卒業要件は、それぞれに示す条件を満たす必要があります。

進級要件

国際学部では、2年次進級時に進級判定を行います。進級判定は、1年次の秋学期終了時に行います。要件の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

- ①進級判定結果は、3月上旬にCHUKYO ALBOで発表します。
- ②留年になった場合は、3月中に文書を以てその旨を保証人宛に通知します。
- ③本学には仮進級はありません。
次の条件をどちらも満たしている場合、次年度春学期に進級します。秋学期に進級することはありません。

進級要件

Overseas University Studiesの単位を修得すること。

卒業要件

次の条件をどちらも満たしている場合、卒業します。

在学期間に関する条件

通算4年間(8セメスター)以上在学し、かつ4年次に2セメスター以上の在学が必要です。なお、在学期間に休学は含みません。

卒業に関する条件

卒業に必要な単位は下表の通りです。履修登録や修得単位の確認については、すべて各自の責任において行ってください。

国際学科(GLS専攻除く)・言語文化学科共通

科目区分		卒業要件(所要単位)	
全学共通	スポーツ・4領域	選択必修	18単位
	小計		18単位
	フロート単位		18単位
学部固有	A 世界の言語(英語)	必修	22単位
	B 世界の言語(第二外国語)	必修	8単位
	C 学部基礎	必修	4単位
	D 自専攻基礎	必修	4単位
	E 他専攻基礎	選択必修	4単位
	F 自専修基礎	必修	4単位
	G 他専修基礎	選択必修	2単位
	H 自専修科目	※必修	16単位
	I 自専修科目(ゼミ)	選択必修	8単位
	J 選択科目	選択	26単位
	K 卒業研究	必修	6単位
	小計		104単位
	総計		140単位

※【H】の自専修科目について、以下の専修のみ科目区分が「選択必修」となります。

複言語・複文化専攻	異文化コミュニケーション専修(P5-2)
英米学専攻	英語学・英語教育専修(P6-1)
	英語圏文学・文化専修(P6-2)

フロート単位

全学共通科目と学部固有科目から自由に選択し、履修・修得する単位のことです。卒業要件を満たすためには決められた単位数を修得しなければなりません。

フロート単位として算入される単位

区分	フロート単位として算入される単位	参照
全学共通	<スポーツ・4領域> 各区分の卒業要件(所要単位)を超過した単位 <その他区分> 直接フロート単位となります	26ページ
学部固有	【J】 選択科目の卒業要件(所要単位)(26単位)を超過した単位	28~47ページ

履修登録制限単位

下表の通り学期ごとに定められた履修登録制限単位(1学期に履修できる単位数の限度)を超えて科目を履修登録することはできません。

学年	1		2		3		4	
学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
制限単位数(全学科共通)	24	24	24	24	24	24	24	24

自由科目は履修登録制限単位に含まれません。また、卒業要件(所要単位)にも含まれません。

学 年		1 年	2 年	3 年	4 年	卒業要件 (18単位)	
系	科目群	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)	科目名(単位)		
1 2 3 4 5 6 7 8	コミュニケーション系(演習系) スポーツ・健康	個人スポーツ・卓球 I(1)		個人スポーツ・卓球 II(1)		2単位	
		個人スポーツ・硬式テニス I(1)		個人スポーツ・硬式テニス II(1)			
		個人スポーツ・バドミントン I(1)		個人スポーツ・バドミントン II(1)			
		個人スポーツ・ゴルフ I(1)		個人スポーツ・ゴルフ II(1)			
		個人スポーツ・フライングディスク I(1)		個人スポーツ・フライングディスク II(1)			
		個人スポーツ・バレーボール I(1)		個人スポーツ・バレーボール II(1)			
チームスポーツ・バスケットボール I(1)		チームスポーツ・バスケットボール II(1)		左の卒業要件を超えて 修得した単位は、フ ロート単位に算 入されます。			
チームスポーツ・ソフトボール I(1)		チームスポーツ・ソフトボール II(1)					
チームスポーツ・サッカー I(1)		チームスポーツ・サッカー II(1)					
チームスポーツ・カローリング I(1)		チームスポーツ・カローリング II(1)					
フィットネス・トレーニング I(1)		フィットネス・トレーニング II(1)					
フィットネス・フィットネス I(1)		フィットネス・フィットネス II(1)					
フィットネス・エアロビクス I(1)		フィットネス・エアロビクス II(1)		4単位			
シーズンスポーツ A・ゴルフ(1)		シーズンスポーツ B・スケート(1)					
障害者スポーツ A(1)		障害者スポーツ B(1)					
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23	ソフィア系(講義系) 自然の探究	数 学 A(2)	数 学 B(2)		統 計 学A(2)	統 計 学B(2)	4単位
		化 学 A(2)	化 学 B(2)		地 学 A(2)	地 学 B(2)	
		哲 学 A(2)	哲 学 B(2)	倫 理 学A(2)	倫 理 学B(2)		
		心 理 学(2)	日 本 史A(2)	日 本 史B(2)	東 洋 史A(2)	東 洋 史B(2)	
		西 洋 史A(2)	西 洋 史B(2)	文 学 A(2)	文 学 B(2)	言 語 学A(2)	
ソフィア系(講義系) 人間の探究	社会の探究	日 本 国 憲 法 (2)	法 学 (2)	政 治 学A(2)	政 治 学B(2)	4単位	
		経 済 学A(2)	経 済 学B(2)	地 理 学A(2)	地 理 学B(2)		
		社 会 学A(2)	社 会 学B(2)	教 育 学A(2)	教 育 学B(2)		
		ゼンダー論A(2)	ゼンダー論B(2)	健康科学A(2)	健康科学B(2)		
ソフィア系(講義系) 新領域	新領域	情 報 科 学A(2)	情 報 科 学B(2)	平 和 論A(2)	平 和 論B(2)	4単位	
		環境科学A(2) 環境科学B(2) 職業と社会(2) グローバル・メディア論(2)					
コミュニケーション系(演習系) ゼミ	ゼミ	教養テーマゼミ(通年4)					
						教養探究ゼミ(2)	
		コンピュータ					
		コンピュータ処理論A(2)			コンピュータ処理論B(2)		
コミュニケーション系(演習系) 外国語演習	外国語演習	英語コミュニケーションIA(2)		英語コミュニケーションIIA(2)		左の科目は、フ ロート単位に算 入されま す。	
		英語コミュニケーションIB(2)		英語コミュニケーションIIB(2)			
ソフィア系(講義系) テーマ	テーマ	メディア英語 A(2)		メディア英語 B(2)		4単位	
		英語資格対策 I A(2)		英語資格対策 II A(2)			
ソフィア系(講義系) テーマ	テーマ	英語資格対策 I B(2)		英語資格対策 II B(2)		4単位	
		英語セミナー A(2)		英語セミナー B(2)			
ソフィア系(講義系) テーマ	テーマ	教養テーマ講義A(2)		教養テーマ講義B(2)		4単位	
		教養テーマ講義C(2)		教養テーマ講義D(2)			
ソフィア系(講義系) テーマ	テーマ	中京大学を知る(2)					
		海外教養科目(4)					

7 全学共通科目について

問合せ先 教務センター

全学共通科目について

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、Webシラバスで各科目の内容を確認して科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いてください。

※履修登録は各自がCHUKYO ALBOで行います。

※復学者・編転入学者の履修については、教務センター窓口まで申し出てください。

不開講科目／履修者数制限

履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、各学期始めに授業担当教員と履修者との合意の上で、その学期の授業を不開講とすることがあります。初回の授業には必ず出席し、授業担当教員の説明をよく聞いてください。

また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合には、履修者数の制限を行うこともあります。

スポーツ・健康

スポーツ・健康科目(各1単位)の中から卒業所要単位として2単位を修得しなければなりません。

《履修上の注意》

- ①各セメスターともに1科目(1単位)しか履修登録できません(シーズンスポーツを除く)。
- ②各スポーツ・健康科目は履修者数制限を行います。
- ③「I」は春学期、「II」は秋学期の開講科目となります。
- ④「シーズンスポーツA・ゴルフ」は春学期の集中講義期間に行います。履修を希望する場合は、CHUKYO ALBOで履修登録を行った上で、4月上旬の「シーズンスポーツA・ゴルフ」ガイダンスに必ず出席してください。詳細は、3月下旬～4月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。
「シーズンスポーツB・スケート」は豊田キャンパスにて行います(授業時間帯は豊田キャンパスの時間帯)。詳細は、3月下旬～4月上旬にCHUKYO ALBOにてお知らせします。
- ※シーズンスポーツのみの履修登録も可能です。
- ※シーズンスポーツは個人スポーツ、チームスポーツ、フィットネスとの同時履修登録が可能です。
- ⑤障害者スポーツA・Bは、長期にわたり他のスポーツ種目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。履修には医療機関が発行する診断書が必要です。履修希望者は、履修登録前までに学生サポートセンターに申し出てください。その後、学生サポートセンターと授業担当教員との間で協議した上で、履修の可否を決定します。

自然の探究／人間の探究／社会の探究／新領域

「〇〇A」と「〇〇B」は独立した科目です。Webシラバスで各科目の内容を確認してください。

教養テーマゼミ／教養探究ゼミ

履修希望者は、初回の授業に必ず出席してください。

《履修上の注意》

- ①「教養テーマゼミ」は1～4年生が履修登録できる科目です。
- ②「教養探究ゼミ」は4年生の秋学期のみ履修登録できる科目です。

外国語演習(英語)

各科目のレベルと到達目標については下表を参照してください。

科目名	受講対象者のレベルと到達目標
英語コミュニケーションI	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語コミュニケーションII	「話す」力の育成に重点を置き、オーラルコミュニケーション能力を身に付けます。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
メディア英語	新聞、雑誌、テレビなどのメディアで使われる英語の理解力向上をはかります。
英語資格対策I	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC400点～700点、英検2級、準2級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語資格対策II	留学や就職など様々な場で必要となる英語試験の対策を通じて総合的な英語力の向上をめざします。TOEIC700点程度、英検準1級程度の英語力を持つ学生を対象とします。
英語セミナー	専門的な英語の運用能力向上を望む学生のニーズに応えるための上級者用集中クラスです。

《履修上の注意》

「英語コミュニケーションIA、IIA、IB、IIB」と「英語資格対策IA、IIA、IB、IIB」については、それぞれ以下の履修登録上の制限があります。

- ①春学期にIAとIIAを同時に履修登録することはできません。
- ②秋学期にIBとIIBを同時に履修登録することはできません。
- ③IIAを修得後、IAを履修登録することはできません。
- ④IIBを修得後、IBを履修登録することはできません。

海外教養科目

- ①グローバル教育センターの交換留学及び認定留学に参加した学生が留学先大学で修得した科目については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します(成績表上には「N」として表記されます)。
- ②上記読み替えがきかない科目の中で、教養教育研究院が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。
- ③「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1又は3単位などの分割認定も認めます。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 国際学科 国際人間学専攻(P1) 哲学・人間学専修(PHAN (P1-1))

学年		卒業要件		1年春		1年秋		2年春		2年秋	
区分	単位数	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修			
A	世界の言語(英語)	必修	22	English for Practical Communication【2】 English for Discussion and Presentation【2】 English for Academic Purposes【2】	全専修	Overseas University Studies【1,2】	Integrated Academic Skills I【2】	全専修	Integrated Academic Skills II【2】	全専修	
B	世界の言語(第二外国語)	必修	8 ※1				フランス語IA【2】 フランス語IIA【2】 ドイツ語IA【2】 ドイツ語IIA【2】 スペイン語IA【2】 スペイン語IIA【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】	ロシア語IA【2】 ロシア語IIA【2】 イタリア語IA【2】 イタリア語IIA【2】 韓国語IA【2】 韓国語IIA【2】	フランス語IB【2】 フランス語IIB【2】 ドイツ語IB【2】 ドイツ語IIB【2】 スペイン語IB【2】 スペイン語IIB【2】 中国語IB【2】 中国語IIB【2】	ロシア語IB【2】 ロシア語IIB【2】 イタリア語IB【2】 イタリア語IIB【2】 韓国語IB【2】 韓国語IIB【2】	全専修
C	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】	全専修		キャリア・デザイン【2】	全専修			
D	自専攻基礎	必修	4	哲学・人間学入門(論理と哲学)【2】 グローバル・ヒストリー概論I(歴史学)【2】	PHAN GHIS						
E	他専攻基礎	選択必修	4 ※1	国際関係論【2】 国際開発学入門【2】 国際経済学入門(ミクロ経済学)【2】 国際経営学入門(組織・戦略)【2】 ことばの仕組み【2】 異文化理解概論【2】 英語学概論【2】 英語圏文学概論【2】	INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT						
F	自専修基礎	必修	4				哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to Global History【2】 Introduction to International Politics【2】 International Development StudiesI【2】 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture【2】 English Language【2】 Understanding Film and Popular Culture【2】 現代哲学概論【4】 Basics of Modern Philosophy and Comparative Thought【4】	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT PHAN PHAN	Introduction to Philosophy and Humanities【2】 グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 国際関係史【2】 国際協力論【2】 Introduction to International Economics【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】 現代人間学概論【4】 比較思想概論【4】	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT PHAN PHAN	
G	他専修基礎	選択必修	2 ※1								
H	自専修科目	必修	16								
I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8								
K	卒業研究	必修	6								
J	選択科目	選択	26 ※2				日本語教授法【2】	GLOB	日本語学【2】 日本語教育実習【2】	GLOB GLOB	
海外留学科目【最大12】 〈2~4年全専修〉 国内インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉 海外インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉 海外セミナー【2】 〈1~4年全専修〉											

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN GHIS	P1-1 P1-2	国際学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE INTB	P3-1 P3-2	言語文化学科	複言語・複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING INTC	P5-1 P5-2
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP INTD	P2-1 P2-2		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG ELIT	P6-1 P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA [2]	中国語ⅢA [2]	フランス語ⅢB [2]	中国語ⅢB [2]			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA [2]	中国語ⅣA [2]	フランス語ⅣB [2]	中国語ⅣB [2]							
フランス語ⅤA [2]	中国語ⅤA [2]	フランス語ⅤB [2]	中国語ⅤB [2]							
ドイツ語ⅢA [2]	ロシア語ⅢA [2]	ドイツ語ⅢB [2]	ロシア語ⅢB [2]							
ドイツ語ⅣA [2]	ロシア語ⅣA [2]	ドイツ語ⅣB [2]	ロシア語ⅣB [2]							
ドイツ語ⅤA [2]	ロシア語ⅤA [2]	ドイツ語ⅤB [2]	ロシア語ⅤB [2]							
スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢB [2]	スペイン語ⅢB [2]							
スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣB [2]	スペイン語ⅣB [2]							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専修基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	必修	16	
哲学・人間学演習Ⅰ(現代哲学) [4]	PHAN	哲学・人間学演習Ⅱ(現代哲学) [4]	PHAN			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
哲学・人間学演習Ⅰ(比較思想) [4]	PHAN	哲学・人間学演習Ⅱ(比較思想) [4]	PHAN			K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想 [4]	PHAN	言語獲得 [4]	LING	アジア思想 [4]	PHAN	卒業研究【通年6】(全専修)				
心とAIの哲学 [4]	PHAN	音声学と音韻論 [4]	LING	正義論 [4]	PHAN					
応用倫理学 [4]	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN					
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4]	GHIS	ヨーロッパ文化研究 [4]	INTC	宗教からたどる世界史 [4]	GHIS					
資料とデータで読む世界史 [4]	GHIS	日中比較文化論 [4]	INTC	越境する世界史 [4]	GHIS					
複数性のアジア史 [4]	GHIS	翻訳・通訳と現代社会 [4]	INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS					
日本政治論 [4]	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治 [4]	INTP					
比較政治学 [4]	INTP	英語科教育法Ⅰ [4]	ELNG	国際機構論 [4]	INTP					
Lecture on Foreign Policy [4]	INTP	教育文法論 [4]	ELNG	安全保障論 [4]	INTP					
国際平和開発論 [4]	INTD	実用英語運用法 [4]	ELNG	地域特性と開発 [4]	INTD					
国際環境政策論 [4]	INTD	英語の通訳Ⅰ [2]	ELNG	市民社会と開発 [4]	INTD					
International Development Policy [4]	INTD	英語の翻訳Ⅰ [2]	ELNG	フィールドと開発 [4]	INTD					
海外投資論 [4]	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学 [4]	INTE					
公共経済学 [4]	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論 [4]	INTE					
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学 [4]	INTE					
ビジネスデータ分析 [4]	INTB	市民権の文化史 [4]	ELIT	アドバンス 戦略・マーケティング [4]	INTB					
多国籍企業論 [4]	INTB	都市文化デザイン論 [4]	ELIT	アドバンス 会計・ファイナンス [4]	INTB					
アドバンス 組織・人材マネジメント [4]	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Lecture on Cross-cultural Management [4]	INTB					
		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB							
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義 [2]	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義 [2]	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING			
国際政治学特殊講義 [2]	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC			
国際開発学特殊講義 [2]	INTD	言語学特殊講義 [2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG			
国際経済学特殊講義 [2]	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義 [2]	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major、1 Major+1 Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major、1 Major+1 Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「J」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」単位として集計されます。
- ※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 国際学科 国際人間学専攻(P1) グローバル・ヒストリー専修(GHIS (P1-2))

学年		卒業要件		1年春		1年秋		2年春		2年秋							
区分		単位数	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修								
A	世界の言語(英語)	必修	22	English for Practical Communication【2】 English for Discussion and Presentation【2】 English for Academic Purposes【2】	全専修	Overseas University Studies【12】		Integrated Academic Skills I【2】	全専修	Integrated Academic Skills II【2】	全専修						
B	世界の言語(第二外国語)	必修	8 ※1					フランス語IA【2】 フランス語IIA【2】 ドイツ語IA【2】 ドイツ語IIA【2】 スペイン語IA【2】 スペイン語IIA【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】	全専修	フランス語IB【2】 フランス語IIB【2】 ドイツ語IB【2】 ドイツ語IIB【2】 スペイン語IB【2】 スペイン語IIB【2】 中国語IB【2】 中国語IIB【2】	全専修						
C	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】	全専修			キャリア・デザイン【2】	全専修								
D	自専攻基礎	必修	4	哲学・人間学入門(論理と哲学)【2】 グローバル・ヒストリー概論(歴史学)【2】	PHAN GHIS												
E	他専攻基礎	選択必修	4 ※1	国際関係論【2】 国際開発学入門【2】 国際経済学入門(ミクロ経済学)【2】 国際経営学入門(組織・戦略)【2】 ことばの仕組み【2】 異文化理解概論【2】 英語学概論【2】 英語圏文学概論【2】	INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT												
F	自専修基礎	必修	4					Introduction to Global History【2】 哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to International Politics【2】 International Development StudiesI【2】 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture【2】 English Language【2】 Understanding Film and Popular Culture【2】	GHIS PHAN INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT	グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 Introduction to Philosophy and Humanities【2】 国際関係史【2】 国際協力論【2】 Introduction to International Economics【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】	GHIS PHAN INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT						
G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					西洋世界の形成と展開【4】 グローバル・ヒストリーの中の日本【4】	GHIS GHIS	多元的アジア世界の形成【4】 Basics of Global History【4】	GHIS GHIS						
H	自専修科目	必修	16														
I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8														
K	卒業研究	必修	6														
J	選択科目	選択	26 ※2					日本語教授法【2】	GLOB	日本語学【2】 日本語教育実習【2】	GLOB GLOB						
海外留学科目【最大12】 〈2~4年全専修〉																	
国内インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉																	
海外インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉																	
海外セミナー【2】 〈1~4年全専修〉																	
学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN	P1-1	国際学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE	P3-1	言語文化学科	複言語・ 複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING	P5-1
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP	P2-1		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG	P6-1
					P2-2												P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件	
科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	区分		単位数	
						A	世界の言語(英語)	必修 22	
フランス語ⅢA【2】	中国語ⅢA【2】	フランス語ⅢB【2】	中国語ⅢB【2】			B	世界の言語(第二外国語)	必修 8※1	
フランス語ⅣA【2】	中国語ⅣA【2】	フランス語ⅣB【2】	中国語ⅣB【2】						
フランス語ⅤA【2】	中国語ⅤA【2】	フランス語ⅤB【2】	中国語ⅤB【2】						
ドイツ語ⅢA【2】	ロシア語ⅢA【2】	ドイツ語ⅢB【2】	ロシア語ⅢB【2】						
ドイツ語ⅣA【2】	ロシア語ⅣA【2】	ドイツ語ⅣB【2】	ロシア語ⅣB【2】						
ドイツ語ⅤA【2】	ロシア語ⅤA【2】	ドイツ語ⅤB【2】	ロシア語ⅤB【2】						
スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢB【2】	スペイン語ⅢB【2】						
スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣB【2】	スペイン語ⅣB【2】						
						C	学部基礎	必修 4	
						D	自専攻基礎	必修 4	
						E	他専攻基礎	選択必修 4※1	
						F	自専修基礎	必修 4	
						G	他専修基礎	選択必修 2※1	
						H	自専修科目	必修 16	
グローバル・ヒストリー演習Ⅰ(西洋)【4】	GHIS	グローバル・ヒストリー演習Ⅱ(西洋)【4】	GHIS			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修 8	
グローバル・ヒストリー演習Ⅰ(アジア)【4】	GHIS	グローバル・ヒストリー演習Ⅱ(アジア)【4】	GHIS						
グローバル・ヒストリー演習Ⅰ(日本と世界)【4】	GHIS	グローバル・ヒストリー演習Ⅱ(日本と世界)【4】	GHIS						
						K	卒業研究	必修 6	
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING		
心とAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】	LING	正義論【4】	PHAN	意味論【4】	LING		
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics【4】	LING	Comparative Thought (East and West)【4】	PHAN	言語学特別研究【4】	LING		
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC		
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC		
複数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】	INTC	History of Modern Japan【4】	GHIS	ロシア・東欧地域研究【4】	INTC		
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research【4】	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC		
比較政治学【4】	INTP	英語科教育法Ⅰ【4】	ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG		
Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English【4】	ELNG		
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】	ELNG	地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG		
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳Ⅰ【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG		
International Development Policy【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG		
海外投資論【4】	INTE	Professional English【4】	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy【4】	ELIT		
公共経済学【4】	INTE	Current Topics【4】	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT		
Lecture on Economic Policy【4】	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults【4】	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop【4】	ELIT		
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マーケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT		
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture【4】	GLOB	Global Media and Cultural Management【4】	INTB	International Academic Relations【4】	GLOB		
		Twenty-First Century Cities【4】	GLOB			Global Peace and Security【4】	GLOB		
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)									
哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology【2】	PHAN	Special Topics in International Business Studies【2】	INTB		
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History【2】	GHIS	Special Topics in Linguistics【2】	LING		
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義【2】	INTB	Special Topics in International Politics【2】	INTP	Special Topics in Intercultural Communication【2】	INTC		
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	Special Topics in International Development Studies【2】	INTD	Special Topics in English Linguistics【2】	ELNG		
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics【2】	INTE	Special Topics in English Literature and Culture【2】	ELIT		
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」選択単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA【2】	中国語ⅢA【2】	フランス語ⅢB【2】	中国語ⅢB【2】			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA【2】	中国語ⅣA【2】	フランス語ⅣB【2】	中国語ⅣB【2】							
フランス語ⅤA【2】	中国語ⅤA【2】	フランス語ⅤB【2】	中国語ⅤB【2】							
ドイツ語ⅢA【2】	ロシア語ⅢA【2】	ドイツ語ⅢB【2】	ロシア語ⅢB【2】							
ドイツ語ⅣA【2】	ロシア語ⅣA【2】	ドイツ語ⅣB【2】	ロシア語ⅣB【2】							
ドイツ語ⅤA【2】	ロシア語ⅤA【2】	ドイツ語ⅤB【2】	ロシア語ⅤB【2】							
スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢB【2】	スペイン語ⅢB【2】							
スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣB【2】	スペイン語ⅣB【2】							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専修基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	必修	16	
国際政治学演習Ⅰ(日本政治外交史)【4】	INTP	国際政治学演習Ⅱ(日本政治外交史)【4】	INTP			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
国際政治学演習Ⅰ(国際政治史)【4】	INTP	国際政治学演習Ⅱ(国際政治史)【4】	INTP							
国際政治学演習Ⅰ(国際政治学)【4】	INTP	国際政治学演習Ⅱ(国際政治学)【4】	INTP							
						K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING			
心とAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】	LING	正義論【4】	PHAN	意味論【4】	LING			
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics【4】	LING	Comparative Thought (East and West)【4】	PHAN	言語学特別研究【4】	LING			
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC			
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC			
複数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】	INTC	History of Modern Japan【4】	GHIS	ロシア・東欧地域研究【4】	INTC			
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research【4】	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC			
比較政治学【4】	INTP	英語科教育法Ⅰ【4】	ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG			
Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English【4】	ELNG			
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】	ELNG	地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG			
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳Ⅰ【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG			
International Development Policy【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG			
海外投資論【4】	INTE	Professional English【4】	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy【4】	ELIT			
公共経済学【4】	INTE	Current Topics【4】	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT			
Lecture on Economic Policy【4】	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults【4】	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop【4】	ELIT			
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドボカシー・戦略・マーケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT			
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドボカシー 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			
アドボカシー 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture【4】	GLOB	Global Media and Culture【4】	INTB	International Academic Relations【4】	GLOB			
		Twenty-First Century Cities【4】	GLOB			Global Peace and Security【4】	GLOB			
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology【2】	PHAN	Special Topics in International Business Studies【2】	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History【2】	GHIS	Special Topics in Linguistics【2】	LING			
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義【2】	INTB	Special Topics in International Politics【2】	INTP	Special Topics in Intercultural Communication【2】	INTC			
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	Special Topics in International Development Studies【2】	INTD	Special Topics in English Linguistics【2】	ELNG			
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics【2】	INTE	Special Topics in English Literature and Culture【2】	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 国際学科 国際政治学専攻(P2) 国際開発学専修(INTD (P2-2))

学年		卒業要件		1年春		1年秋		2年春		2年秋							
区分		単位数	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修								
A	世界の言語(英語)	必修	22	English for Practical Communication【2】 English for Discussion and Presentation【2】 English for Academic Purposes【2】	全専修	Overseas University Studies【12】		Integrated Academic Skills I【2】	全専修	Integrated Academic Skills II【2】	全専修						
B	世界の言語(第二外国語)	必修	8 ※1					フランス語IA【2】 フランス語IIA【2】 ドイツ語IA【2】 ドイツ語IIA【2】 スペイン語IA【2】 スペイン語IIA【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】	全専修	フランス語IB【2】 フランス語IIB【2】 ドイツ語IB【2】 ドイツ語IIB【2】 スペイン語IB【2】 スペイン語IIB【2】 中国語IB【2】 中国語IIB【2】	全専修						
C	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】	全専修			キャリア・デザイン【2】	全専修								
D	自専攻基礎	必修	4	国際関係論【2】 国際開発学入門【2】	INTP INTD												
E	他専攻基礎	選択必修	4 ※1	哲学・人間学入門(論理と哲学)【2】 グローバル・ヒストリー概論(歴史学)【2】 国際経済学入門(ミクロ経済学)【2】 国際経営学入門(組織・戦略)【2】 ことばの仕組み【2】 異文化理解概論【2】 英語学概論【2】 英語圏文学概論【2】	PHAN GHIS INTE INTB LING INTC ELNG ELIT												
F	自専修基礎	必修	4					International Development StudiesI【2】 哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to Global History【2】 Introduction to International Politics【2】 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture【2】 English Language【2】 Understanding Film and Popular Culture【2】	INTD PHAN GHIS INTP INTE INTB LING INTC ELNG ELIT	国際協力論【2】 Introduction to Philosophy and Humanities【2】 グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 国際関係史【2】 Introduction to International Economics【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】	INTD PHAN GHIS INTP INTE INTB LING INTC ELNG ELIT						
G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					社会開発論【4】 グローバル・ガバナンス論【4】	INTD INTD	持続可能な開発論【4】 International Development StudiesII【4】	INTD INTD						
H	自専修科目	必修	16														
I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8														
K	卒業研究	必修	6														
J	選択科目	選択	26 ※2					日本語教授法【2】	GLOB	日本語学【2】 日本語教育実習【2】	GLOB GLOB						
海外留学科目【最大12】 <2~4年全専修>																	
国内インターンシップ【2】 <2~4年全専修>																	
海外インターンシップ【2】 <2~4年全専修>																	
海外セミナー【2】 <1~4年全専修>																	
学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN	P1-1 P1-2	国際学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE INTB	P3-1 P3-2	言語文化学科	複言語・複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING INTC	P5-1 P5-2
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP INTD	P2-1 P2-2		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG ELIT	P6-1 P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA【2】	中国語ⅢA【2】	フランス語ⅢB【2】	中国語ⅢB【2】			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA【2】	中国語ⅣA【2】	フランス語ⅣB【2】	中国語ⅣB【2】							
フランス語ⅤA【2】	中国語ⅤA【2】	フランス語ⅤB【2】	中国語ⅤB【2】							
ドイツ語ⅢA【2】	ロシア語ⅢA【2】	ドイツ語ⅢB【2】	ロシア語ⅢB【2】							
ドイツ語ⅣA【2】	ロシア語ⅣA【2】	ドイツ語ⅣB【2】	ロシア語ⅣB【2】							
ドイツ語ⅤA【2】	ロシア語ⅤA【2】	ドイツ語ⅤB【2】	ロシア語ⅤB【2】							
スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢB【2】	スペイン語ⅢB【2】							
スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣB【2】	スペイン語ⅣB【2】							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専修基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	必修	16	
国際開発学演習Ⅰ(持続可能な開発論)【4】	INTD	国際開発学演習Ⅱ(持続可能な開発論)【4】	INTD			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
国際開発学演習Ⅰ(社会開発論)【4】	INTD	国際開発学演習Ⅱ(社会開発論)【4】	INTD							
国際開発学演習Ⅰ(グローバル・ガバナンス論)【4】	INTD	国際開発学演習Ⅱ(グローバル・ガバナンス論)【4】	INTD							
						K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING			
心とAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】	LING	正義論【4】	PHAN	意味論【4】	LING			
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics【4】	LING	Comparative Thought (East and West)【4】	PHAN	言語学特別研究【4】	LING			
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC			
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC			
複数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】	INTC	History of Modern Japan【4】	GHIS	ロシア・東欧地域研究【4】	INTC			
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research【4】	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC			
比較政治学【4】	INTP	英語科教育法Ⅰ【4】	ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG			
Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English【4】	ELNG			
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】	ELNG	地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG			
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳Ⅰ【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG			
International Development Policy【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG			
海外投資論【4】	INTE	Professional English【4】	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy【4】	ELIT			
公共経済学【4】	INTE	Current Topics【4】	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT			
Lecture on Economic Policy【4】	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults【4】	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop【4】	ELIT			
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドバンスト 戦略・マーケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT			
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT			
アドバンスト 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture【4】	GLOB	Global Media and Culture【4】	INTB	International Academic Relations【4】	GLOB			
		Twenty-First Century Cities【4】	GLOB			Global Peace and Security【4】	GLOB			
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology【2】	PHAN	Special Topics in International Business Studies【2】	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History【2】	GHIS	Special Topics in Linguistics【2】	LING			
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義【2】	INTB	Special Topics in International Politics【2】	INTP	Special Topics in Intercultural Communication【2】	INTC			
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	Special Topics in International Development Studies【2】	INTD	Special Topics in English Linguistics【2】	ELNG			
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics【2】	INTE	Special Topics in English Literature and Culture【2】	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 国際学科 国際経済学専攻(P3) 国際経済学専修(INTE(P3-1))

学年		卒業要件		1年春		1年秋		2年春		2年秋							
区分		単位数		科目名【単位数】		科目名【単位数】		科目名【単位数】		科目名【単位数】							
A	世界の言語(英語)	必修	22	English for Practical Communication 【2】 English for Discussion and Presentation 【2】 English for Academic Purposes 【2】	全専修	Overseas University Studies 【12】		Integrated Academic Skills I【2】	全専修	Integrated Academic Skills II【2】	全専修						
B	世界の言語(第二外国語)	必修	8 ※1					フランス語IA 【2】 フランス語IIA 【2】 ドイツ語IA 【2】 ドイツ語IIA 【2】 スペイン語IA 【2】 スペイン語IIA 【2】 中国語IA 【2】 中国語IIA 【2】	全専修	フランス語IB 【2】 フランス語IIB 【2】 ドイツ語IB 【2】 ドイツ語IIB 【2】 スペイン語IB 【2】 スペイン語IIB 【2】 中国語IB 【2】 中国語IIB 【2】	全専修						
C	学部基礎	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】	全専修												
D	自専攻基礎	必修	4	国際経済学入門(ミクロ経済学)【2】 国際経営学入門(組織・戦略)【2】	INTE INTB												
E	他専攻基礎	選択必修	4 ※1	哲学・人間学入門(論理と哲学)【2】 グローバル・ヒストリー概論(歴史学)【2】 国際関係論【2】 国際開発学入門【2】 ことばの仕組み【2】 異文化理解概論【2】 英語学概論【2】 英語圏文学概論【2】	PHAN GHIS INTP INTD LING INTC ELNG ELIT												
F	自専修基礎	必修	4					国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to Global History 【2】 Introduction to International Politics 【2】 International Development StudiesI【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture 【2】 English Language 【2】 Understanding Film and Popular Culture【2】	INTE PHAN GHIS INTP INTD INTB LING INTC ELNG ELIT	Introduction to International Economics【2】 Introduction to Philosophy and Humanities【2】 グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 国際関係史【2】 国際協力論【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics 【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】	INTE PHAN GHIS INTP INTD INTB LING INTC ELNG ELIT						
G	他専修基礎	選択必修	2 ※1					キャリア・デザイン【2】	全専修								
H	自専修科目	必修	16					国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to Global History 【2】 Introduction to International Politics 【2】 International Development StudiesI【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture 【2】 English Language 【2】 Understanding Film and Popular Culture【2】	INTE PHAN GHIS INTP INTD INTB LING INTC ELNG ELIT	Introduction to International Economics【2】 Introduction to Philosophy and Humanities【2】 グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 国際関係史【2】 国際協力論【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics 【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】	INTE PHAN GHIS INTP INTD INTB LING INTC ELNG ELIT						
I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8					計量経済学【4】 Japan & World Economy 【4】	INTE INTE	金融論【4】 貿易論【4】	INTE INTE						
K	卒業研究	必修	6														
J	選択科目	選択	26 ※2					日本語教授法【2】	GLOB	日本語学【2】 日本語教育実習【2】	GLOB GLOB						
海外留学科目【最大12】 〈2～4年全専修〉 国内インターンシップ【2】 〈2～4年全専修〉 海外インターンシップ【2】 〈2～4年全専修〉 海外セミナー 【2】 〈1～4年全専修〉																	
学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN GHIS	P1-1 P1-2	国際学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE INTB	P3-1 P3-2	言語文化学科	複言語・ 複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING INTC	P5-1 P5-2
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP INTD	P2-1 P2-2		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG ELIT	P6-1 P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA [2]	中国語ⅢA [2]	フランス語ⅢB [2]	中国語ⅢB [2]			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA [2]	中国語ⅣA [2]	フランス語ⅣB [2]	中国語ⅣB [2]							
フランス語ⅤA [2]	中国語ⅤA [2]	フランス語ⅤB [2]	中国語ⅤB [2]							
ドイツ語ⅢA [2]	ロシア語ⅢA [2]	ドイツ語ⅢB [2]	ロシア語ⅢB [2]							
ドイツ語ⅣA [2]	ロシア語ⅣA [2]	ドイツ語ⅣB [2]	ロシア語ⅣB [2]							
ドイツ語ⅤA [2]	ロシア語ⅤA [2]	ドイツ語ⅤB [2]	ロシア語ⅤB [2]							
スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢB [2]	スペイン語ⅢB [2]							
スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣB [2]	スペイン語ⅣB [2]							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専修基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	必修	16	
国際経済学演習Ⅰ(マクロ経済学) [4]	INTE	国際経済学演習Ⅱ(マクロ経済学) [4]	INTE			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
国際経済学演習Ⅰ(ミクロ経済学) [4]	INTE	国際経済学演習Ⅱ(ミクロ経済学) [4]	INTE							
国際経済学演習Ⅰ(計量経済学) [4]	INTE	国際経済学演習Ⅱ(計量経済学) [4]	INTE							
						K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想 [4]	PHAN	言語獲得 [4]	LING	アジア思想 [4]	PHAN	言語の起源と進化 [4]	LING			
心とAIの哲学 [4]	PHAN	音声学と音韻論 [4]	LING	正義論 [4]	PHAN	意味論 [4]	LING			
応用倫理学 [4]	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究 [4]	LING			
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4]	GHIS	ヨーロッパ文化研究 [4]	INTC	宗教からたどる世界史 [4]	GHIS	現代社会と宗教 [4]	INTC			
資料とデータで読む世界史 [4]	GHIS	日中比較文化論 [4]	INTC	越境する世界史 [4]	GHIS	文化論的メディア研究 [4]	INTC			
複数性のアジア史 [4]	GHIS	翻訳・通訳と現代社会 [4]	INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS	ロシア・東欧地域研究 [4]	INTC			
日本政治論 [4]	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治 [4]	INTP	文化科学研究 [4]	INTC			
比較政治学 [4]	INTP	英語科教育法Ⅰ [4]	ELNG	国際機構論 [4]	INTP	英語科単元構成論 [4]	ELNG			
Lecture on Foreign Policy [4]	INTP	教育文法論 [4]	ELNG	安全保障論 [4]	INTP	Changes in English [4]	ELNG			
国際平和開発論 [4]	INTD	実用英語運用法 [4]	ELNG	地域特性と開発 [4]	INTD	認知言語学と英語教育 [4]	ELNG			
国際環境政策論 [4]	INTD	英語の通訳Ⅰ [2]	ELNG	市民社会と開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG			
International Development Policy [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	フィールドと開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG			
海外投資論 [4]	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学 [4]	INTE	Media Literacy [4]	ELIT			
公共経済学 [4]	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論 [4]	INTE	職業としての文学教育 [4]	ELIT			
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学 [4]	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT			
ビジネスデータ分析 [4]	INTB	市民権の文化史 [4]	ELIT	アドバンスト 戦略・マーケティング [4]	INTB	映画論 [4]	ELIT			
多国籍企業論 [4]	INTB	都市文化デザイン論 [4]	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス [4]	INTB	クリティカル・リーディング [4]	ELIT			
アドバンスト 組織・人材マネジメント [4]	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Global Media and Culture [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB			
		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB			Global Peace and Security [4]	GLOB			
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義 [2]	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義 [2]	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING			
国際政治学特殊講義 [2]	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC			
国際開発学特殊講義 [2]	INTD	言語学特殊講義 [2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG			
国際経済学特殊講義 [2]	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義 [2]	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件	
科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	区分		単位数	
						A	世界の言語(英語)	必修 22	
フランス語ⅢA【2】	中国語ⅢA【2】	フランス語ⅢB【2】	中国語ⅢB【2】			B	世界の言語(第二外国語)	必修 8※1	
フランス語ⅣA【2】	中国語ⅣA【2】	フランス語ⅣB【2】	中国語ⅣB【2】						
フランス語ⅤA【2】	中国語ⅤA【2】	フランス語ⅤB【2】	中国語ⅤB【2】						
ドイツ語ⅢA【2】	ロシア語ⅢA【2】	ドイツ語ⅢB【2】	ロシア語ⅢB【2】						
ドイツ語ⅣA【2】	ロシア語ⅣA【2】	ドイツ語ⅣB【2】	ロシア語ⅣB【2】						
ドイツ語ⅤA【2】	ロシア語ⅤA【2】	ドイツ語ⅤB【2】	ロシア語ⅤB【2】						
スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢB【2】	スペイン語ⅢB【2】						
スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣB【2】	スペイン語ⅣB【2】						
									C
						D	自専攻基礎	必修 4	
						E	他専攻基礎	選択必修 4※1	
						F	自専修基礎	必修 4	
						G	他専修基礎	選択必修 2※1	
						H	自専修科目	必修 16	
国際ビジネス学演習Ⅰ(組織・人材マネジメント)【4】	INTB	国際ビジネス学演習Ⅱ(組織・人材マネジメント)【4】	INTB			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修 8	
国際ビジネス学演習Ⅰ(会計・ファイナンス)【4】	INTB	国際ビジネス学演習Ⅱ(会計・ファイナンス)【4】	INTB						
国際ビジネス学演習Ⅰ(戦略・マーケティング)【4】	INTB	国際ビジネス学演習Ⅱ(戦略・マーケティング)【4】	INTB						
						K	卒業研究	必修 6	
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING		
心とAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】	LING	正義論【4】	PHAN	意味論【4】	LING		
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics【4】	LING	Comparative Thought (East and West)【4】	PHAN	言語学特別研究【4】	LING		
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC		
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC		
複数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】	INTC	History of Modern Japan【4】	GHIS	ロシア・東欧地域研究【4】	INTC		
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research【4】	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC		
比較政治学【4】	INTP	英語科教育法Ⅰ【4】	ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG		
Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English【4】	ELNG		
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】	ELNG	地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG		
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳Ⅰ【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG		
International Development Policy【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG		
海外投資論【4】	INTE	Professional English【4】	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy【4】	ELIT		
公共経済学【4】	INTE	Current Topics【4】	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT		
Lecture on Economic Policy【4】	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults【4】	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop【4】	ELIT		
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドボカシー 戦略・マーケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドボカシー 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT		
アドボカシー 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture【4】	GLOB	Global Media and Culture【4】	INTB	International Academic Relations【4】	GLOB		
		Twenty-First Century Cities【4】	GLOB			Global Peace and Security【4】	GLOB		
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)									
哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology【2】	PHAN	Special Topics in International Business Studies【2】	INTB		
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History【2】	GHIS	Special Topics in Linguistics【2】	LING		
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義【2】	INTB	Special Topics in International Politics【2】	INTP	Special Topics in Intercultural Communication【2】	INTC		
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	Special Topics in International Development Studies【2】	INTD	Special Topics in English Linguistics【2】	ELNG		
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics【2】	INTE	Special Topics in English Literature and Culture【2】	ELIT		
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」ポート単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA [2]	中国語ⅢA [2]	フランス語ⅢB [2]	中国語ⅢB [2]			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA [2]	中国語ⅣA [2]	フランス語ⅣB [2]	中国語ⅣB [2]							
フランス語ⅤA [2]	中国語ⅤA [2]	フランス語ⅤB [2]	中国語ⅤB [2]							
ドイツ語ⅢA [2]	ロシア語ⅢA [2]	ドイツ語ⅢB [2]	ロシア語ⅢB [2]							
ドイツ語ⅣA [2]	ロシア語ⅣA [2]	ドイツ語ⅣB [2]	ロシア語ⅣB [2]							
ドイツ語ⅤA [2]	ロシア語ⅤA [2]	ドイツ語ⅤB [2]	ロシア語ⅤB [2]							
スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢB [2]	スペイン語ⅢB [2]							
スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣB [2]	スペイン語ⅣB [2]							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専修基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	必修	16	
言語学演習Ⅰ(理論言語学) [4]	LING	言語学演習Ⅱ(理論言語学) [4]	LING			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
言語学演習Ⅰ(比較統語論) [4]	LING	言語学演習Ⅱ(比較統語論) [4]	LING							
言語学演習Ⅰ(統語と音韻の境界領域) [4]	LING	言語学演習Ⅱ(統語と音韻の境界領域) [4]	LING							
						K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想 [4]	PHAN	言語獲得 [4]	LING	アジア思想 [4]	PHAN	言語の起源と進化 [4]	LING			
心とAIの哲学 [4]	PHAN	音声学と音韻論 [4]	LING	正義論 [4]	PHAN	意味論 [4]	LING			
応用倫理学 [4]	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究 [4]	LING			
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4]	GHIS	ヨーロッパ文化研究 [4]	INTC	宗教からたどる世界史 [4]	GHIS	現代社会と宗教 [4]	INTC			
資料とデータで読む世界史 [4]	GHIS	日中比較文化論 [4]	INTC	越境する世界史 [4]	GHIS	文化論的メディア研究 [4]	INTC			
複数性のアジア史 [4]	GHIS	翻訳・通訳と現代社会 [4]	INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS	ロシア・東欧地域研究 [4]	INTC			
日本政治論 [4]	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治 [4]	INTP	文化科学研究 [4]	INTC			
比較政治学 [4]	INTP	英語科教育法Ⅰ [4]	ELNG	国際機構論 [4]	INTP	英語科単元構成論 [4]	ELNG			
Lecture on Foreign Policy [4]	INTP	教育文法論 [4]	ELNG	安全保障論 [4]	INTP	Changes in English [4]	ELNG			
国際平和開発論 [4]	INTD	実用英語運用法 [4]	ELNG	地域特性と開発 [4]	INTD	認知言語学と英語教育 [4]	ELNG			
国際環境政策論 [4]	INTD	英語の通訳Ⅰ [2]	ELNG	市民社会と開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG			
International Development Policy [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	フィールドと開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG			
海外投資論 [4]	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学 [4]	INTE	Media Literacy [4]	ELIT			
公共経済学 [4]	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論 [4]	INTE	職業としての文学教育 [4]	ELIT			
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学 [4]	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT			
ビジネスデータ分析 [4]	INTB	市民権の文化史 [4]	ELIT	アドバンスト 戦略・マーケティング [4]	INTB	映画論 [4]	ELIT			
多国籍企業論 [4]	INTB	都市文化デザイン論 [4]	ELIT	アドバンスト 会計・ファイナンス [4]	INTB	クリティカル・リーディング [4]	ELIT			
アドバンスト 組織・人材マネジメント [4]	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Global Media and Culture [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB			
		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB			Global Peace and Security [4]	GLOB			
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義 [2]	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義 [2]	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING			
国際政治学特殊講義 [2]	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC			
国際開発学特殊講義 [2]	INTD	言語学特殊講義 [2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG			
国際経済学特殊講義 [2]	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義 [2]	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1Major+1Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「I」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「I」選択単位として集計されます。
- ※3 Double Major, 1Major+1Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 言語文化学科 複言語・複文化専攻(P5) 異文化コミュニケーション専修(INTC (P5-2))

学年 区分	卒業要件 単位数	1年春		1年秋		2年春		2年秋		
		科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]		科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	
A	世界の言語(英語) 必修 22	English for Practical Communication[2] English for Discussion and Presentation[2] English for Academic Purposes[2]	全専修	Overseas University Studies[12]		Integrated Academic Skills I[2]	全専修	Integrated Academic Skills II[2]	全専修	
B	世界の言語(第二外国語) 必修 8 ※1					フランス語IA [2] フランス語IIA [2] ドイツ語IA [2] ドイツ語IIA [2] スペイン語IA [2] スペイン語IIA [2] 中国語IA [2] 中国語IIA [2]	ロシア語IA [2] ロシア語IIA [2] イタリア語IA [2] イタリア語IIA [2] 韓国語IA [2] 韓国語IIA [2]	全専修	フランス語IB [2] フランス語IIB [2] ドイツ語IB [2] ドイツ語IIB [2] イタリア語IB [2] イタリア語IIB [2] スペイン語IB [2] スペイン語IIB [2] 中国語IB [2] 中国語IIB [2]	全専修
C	学部基礎 必修 4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)[2]	全専修			キャリア・デザイン[2]	全専修			
D	自専攻基礎 必修 4	ことばの仕組み[2] 異文化理解概論[2]	LING INTC							
E	他専攻基礎 選択必修 4 ※1	哲学・人間学入門(論理と哲学)[2] グローバル・ヒストリー概論(歴史学)[2] 国際関係論[2] 国際開発学入門[2] 国際経済学入門(ミクロ経済学)[2] 国際経営学入門(組織・戦略)[2] 英語学概論[2] 英語圏文学概論[2]	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB ELNG ELIT							
F	自専修基礎 必修 4					Introduction to Theory of Culture [2] 哲学・人間学入門II(人間学)[2] Introduction to Global History [2] Introduction to International Politics [2] International Development StudiesI[2] 国際経済学入門II(マクロ経済学)[2] 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)[2] 理論言語学入門[2] English Language [2] Understanding Film and Popular Culture[2] 外国語学習から学ぶ複言語複文化[4] 文学から学ぶ言語文化[4] 多文化共生から学ぶ宗教文化[4] 映画から学ぶメディア文化[4]	INTC PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING ELNG ELIT INTC INTC INTC INTC	コミュニケーション論概論[2] Introduction to Philosophy and Humanities[2] グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)[2] 国際関係史[2] 国際協力論[2] Introduction to International Economics[2] Introduction to International Business[2] Introduction to Linguistics [2] 英語と文化[2] Understanding Fiction, Drama and Poetry[2] Glocal Studies in Japan [4] 社会言語学から学ぶ言語文化[4] 芸術から学ぶ宗教文化[4] ポピュラー文化から学ぶメディア文化[4]	INTC PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING ELNG ELIT INTC INTC INTC	
G	他専修基礎 選択必修 2 ※1									
H	自専修科目 選択必修 16 ※1									
I	自専修科目(ゼミ) 選択必修 8									
K	卒業研究 必修 6									
J	選択科目 選択 26 ※2					日本語教授法[2]	GLOB	日本語学[2] 日本語教育実習[2]	GLOB GLOB	
海外留学科目【最大12】 〈2~4年全専修〉										
国内インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉										
海外インターンシップ【2】 〈2~4年全専修〉										
海外セミナー 【2】 〈1~4年全専修〉										

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際 学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN GHIS	P1-1 P1-2	国際 学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE INTB	P3-1 P3-2	言語 文化 学科	複言語・ 複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING INTC	P5-1 P5-2
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP INTD	P2-1 P2-2		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG ELIT	P6-1 P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年	卒業要件	
科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	区分	単位数	
						A	世界の言語(英語) 必修 22	
フランス語ⅢA [2]	中国語ⅢA [2]	フランス語ⅢB [2]	中国語ⅢB [2]			B	世界の言語(第二外国語) 必修 8 ※1	
フランス語ⅣA [2]	中国語ⅣA [2]	フランス語ⅣB [2]	中国語ⅣB [2]					
フランス語ⅤA [2]	中国語ⅤA [2]	フランス語ⅤB [2]	中国語ⅤB [2]					
ドイツ語ⅢA [2]	ロシア語ⅢA [2]	ドイツ語ⅢB [2]	ロシア語ⅢB [2]					
ドイツ語ⅣA [2]	ロシア語ⅣA [2]	ドイツ語ⅣB [2]	ロシア語ⅣB [2]					
ドイツ語ⅤA [2]	ロシア語ⅤA [2]	ドイツ語ⅤB [2]	ロシア語ⅤB [2]					
スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢB [2]	スペイン語ⅢB [2]					
スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣB [2]	スペイン語ⅣB [2]					
						C	学部基礎 必修 4	
						D	自専攻基礎 必修 4	
						E	他専攻基礎 選択必修 4 ※1	
						F	自専修基礎 必修 4	
						G	他専修基礎 選択必修 2 ※1	
						H	自専修科目 選択必修 16 ※1	
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(外国語学習論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(外国語学習論) [4]	INTC			I	自専修科目(ゼミ) 選択必修 8	
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(比較文学論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(比較文学論) [4]	INTC					
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(社会言語学) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(社会言語学) [4]	INTC					
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(西洋精神文化論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(西洋精神文化論) [4]	INTC					
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(多文化共生論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(多文化共生論) [4]	INTC					
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(比較文化論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(比較文化論) [4]	INTC					
異文化コミュニケーション演習Ⅰ(表象文化論) [4]	INTC	異文化コミュニケーション演習Ⅱ(表象文化論) [4]	INTC			K	卒業研究 必修 6	
グローバル現代思想 [4]	PHAN	言語獲得 [4]	LING	アジア思想 [4]	PHAN	言語の起源と進化 [4]	LING	
心とAIの哲学 [4]	PHAN	音声学と音韻論 [4]	LING	正義論 [4]	PHAN	意味論 [4]	LING	
応用倫理学 [4]	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究 [4]	LING	
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4]	GHIS	ヨーロッパ文化研究 [4]	INTC	宗教からたどる世界史 [4]	GHIS	現代社会と宗教 [4]	INTC	
資料とデータで読む世界史 [4]	GHIS	日中比較文化論 [4]	INTC	越境する世界史 [4]	GHIS	文化論的メディア研究 [4]	INTC	
複数性のアジア史 [4]	GHIS	翻訳・通訳と現代社会 [4]	INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS	ロシア・東欧地域研究 [4]	INTC	
日本政治論 [4]	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治 [4]	INTP	文化科学研究 [4]	INTC	
比較政治学 [4]	INTP	英語科教育法Ⅰ [4]	ELNG	国際機構論 [4]	INTP	英語科単元構成論 [4]	ELNG	
Lecture on Foreign Policy [4]	INTP	教育文法論 [4]	ELNG	安全保障論 [4]	INTP	Changes in English [4]	ELNG	
国際平和開発論 [4]	INTD	実用英語運用法 [4]	ELNG	地域特性と開発 [4]	INTD	認知言語学と英語教育 [4]	ELNG	
国際環境政策論 [4]	INTD	英語の通訳Ⅰ [2]	ELNG	市民社会と開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	
International Development Policy [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	フィールドと開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	
海外投資論 [4]	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学 [4]	INTE	Media Literacy [4]	ELIT	
公共経済学 [4]	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論 [4]	INTE	職業としての文学教育 [4]	ELIT	
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学 [4]	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT	
ビジネスデータ分析 [4]	INTB	市民権の文化史 [4]	ELIT	アドボカシー 戦略・マーケティング [4]	INTB	映画論 [4]	ELIT	
多国籍企業論 [4]	INTB	都市文化デザイン論 [4]	ELIT	アドボカシー 会計・ファイナンス [4]	INTB	クリティカル・リーディング [4]	ELIT	
アドボカシー 組織・人材マネジメント [4]	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Lecture on Cross-cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB	
		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB			Global Peace and Security [4]	GLOB	
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)								
哲学・人間学特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義 [2]	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB	
グローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義 [2]	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING	
国際政治学特殊講義 [2]	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC	
国際開発学特殊講義 [2]	INTD	言語学特殊講義 [2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG	
国際経済学特殊講義 [2]	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義 [2]	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT	
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1 Major+1 Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1 Major+1 Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major
								〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又は「ホームページにて、開講期、開講日、担当名」を確認してください。

【注意事項】

- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「[J]選択単位」として集計されます。
- ※2 「[J]選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロート単位」として集計されます。
- ※3 Double Major, 1 Major+1 Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「[J]選択単位」に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「[J]選択単位」に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年		卒業要件		
科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	主専修	科目名[単位数]	科目名[単位数]	区分		単位数		
						A	世界の言語(英語)	必修	22	
フランス語ⅢA [2]	中国語ⅢA [2]	フランス語ⅢB [2]	中国語ⅢB [2]			B	世界の言語(第二外国語)	必修	8※1	
フランス語ⅣA [2]	中国語ⅣA [2]	フランス語ⅣB [2]	中国語ⅣB [2]							
フランス語ⅤA [2]	中国語ⅤA [2]	フランス語ⅤB [2]	中国語ⅤB [2]							
ドイツ語ⅢA [2]	ロシア語ⅢA [2]	ドイツ語ⅢB [2]	ロシア語ⅢB [2]							
ドイツ語ⅣA [2]	ロシア語ⅣA [2]	ドイツ語ⅣB [2]	ロシア語ⅣB [2]							
ドイツ語ⅤA [2]	ロシア語ⅤA [2]	ドイツ語ⅤB [2]	ロシア語ⅤB [2]							
スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢA [2]	スペイン語ⅢB [2]	スペイン語ⅢB [2]							
スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣA [2]	スペイン語ⅣB [2]	スペイン語ⅣB [2]							
						C	学部基礎	必修	4	
						D	自専攻基礎	必修	4	
						E	他専攻基礎	選択必修	4※1	
						F	自専修基礎	必修	4	
						G	他専攻基礎	選択必修	2※1	
						H	自専修科目	選択必修	16※1	
英語学・英語教育演習Ⅰ(英語科教育学) [4]	ELNG	英語学・英語教育演習Ⅱ(英語科教育学) [4]	ELNG			I	自専修科目(ゼミ)	選択必修	8	
英語学・英語教育演習Ⅰ(英語の文構造) [4]	ELNG	英語学・英語教育演習Ⅱ(英語の文構造) [4]	ELNG							
英語学・英語教育演習Ⅰ(英語の歴史) [4]	ELNG	英語学・英語教育演習Ⅱ(英語の歴史) [4]	ELNG							
英語学・英語教育演習Ⅰ(英語の意味と語用) [4]	ELNG	英語学・英語教育演習Ⅱ(英語の意味と語用) [4]	ELNG							
						K	卒業研究	必修	6	
グローバル現代思想 [4]	PHAN	言語獲得 [4]	LING	アジア思想 [4]	PHAN	言語の起源と進化 [4]	LING			
心とAIの哲学 [4]	PHAN	音声学と音韻論 [4]	LING	正義論 [4]	PHAN	意味論 [4]	LING			
応用倫理学 [4]	PHAN	Current Topics in Linguistics [4]	LING	Comparative Thought (East and West) [4]	PHAN	言語学特別研究 [4]	LING			
歴史のなかの国民国家とナショナリズム [4]	GHIS	ヨーロッパ文化研究 [4]	INTC	宗教からたどる世界史 [4]	GHIS	現代社会と宗教 [4]	INTC			
資料とデータで読む世界史 [4]	GHIS	日中比較文化論 [4]	INTC	越境する世界史 [4]	GHIS	文化論的メディア研究 [4]	INTC			
複数性のアジア史 [4]	GHIS	翻訳・通訳と現代社会 [4]	INTC	History of Modern Japan [4]	GHIS	ロシア・東欧地域研究 [4]	INTC			
日本政治論 [4]	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research [4]	INTC	難民と国際政治 [4]	INTP	文化科学研究 [4]	INTC			
比較政治学 [4]	INTP	英語科教育法Ⅰ [4]	ELNG	国際機構論 [4]	INTP	英語科単元構成論 [4]	ELNG			
Lecture on Foreign Policy [4]	INTP	教育文法論 [4]	ELNG	安全保障論 [4]	INTP	Changes in English [4]	ELNG			
国際平和開発論 [4]	INTD	実用英語運用法 [4]	ELNG	地域特性と開発 [4]	INTD	認知言語学と英語教育 [4]	ELNG			
国際環境政策論 [4]	INTD	英語の通訳Ⅰ [2]	ELNG	市民社会と開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG			
International Development Policy [4]	INTD	英語の通訳Ⅱ [2]	ELNG	フィールドと開発 [4]	INTD	英語の通訳Ⅲ [2]	ELNG			
海外投資論 [4]	INTE	Professional English [4]	ELIT	開発経済学 [4]	INTE	Media Literacy [4]	ELIT			
公共経済学 [4]	INTE	Current Topics [4]	ELIT	産業組織論 [4]	INTE	職業としての文学教育 [4]	ELIT			
Lecture on Economic Policy [4]	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults [4]	ELIT	環境経済学 [4]	INTE	English Project Workshop [4]	ELIT			
ビジネスデータ分析 [4]	INTB	市民権の文化史 [4]	ELIT	アドボカシー 戦略・マーケティング [4]	INTB	映画論 [4]	ELIT			
多国籍企業論 [4]	INTB	都市文化デザイン論 [4]	ELIT	アドボカシー 会計・ファイナンス [4]	INTB	クリティカル・リーディング [4]	ELIT			
アドボカシー 組織・人材マネジメント [4]	INTB	Global Media and Culture [4]	GLOB	Global Media and Cultural Management [4]	INTB	International Academic Relations [4]	GLOB			
		Twenty-First Century Cities [4]	GLOB			Global Peace and Security [4]	GLOB			
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)										
哲学・人間学特殊講義 [2]	PHAN	英語学特殊講義 [2]	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology [2]	PHAN	Special Topics in International Business Studies [2]	INTB			
グローバル・ヒストリー特殊講義 [2]	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義 [2]	ELIT	Special Topics in Global History [2]	GHIS	Special Topics in Linguistics [2]	LING			
国際政治学特殊講義 [2]	INTP	国際ビジネス学特殊講義 [2]	INTB	Special Topics in International Politics [2]	INTP	Special Topics in Intercultural Communication [2]	INTC			
国際開発学特殊講義 [2]	INTD	言語学特殊講義 [2]	LING	Special Topics in International Development Studies [2]	INTD	Special Topics in English Linguistics [2]	ELNG			
国際経済学特殊講義 [2]	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義 [2]	INTC	Special Topics in International Economics [2]	INTE	Special Topics in English Literature and Culture [2]	ELIT			
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major、1 Major+1 Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major、1 Major+1 Minor				〈別表③(48ページ)〉※4対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4対象: Double Major	

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「[J]選択単位」として集計されます。
- ※2 「[J]選択単位」が卒業要件を超えた場合は、「フロード単位」として集計されます。
- ※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「[J]選択単位」に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「[J]選択単位」に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

8 学部固有科目一覧表 国際学部 言語文化学科 英米学専攻(P6) 英語圏文学・文化専修(ELIT (P6-2))

学年 区分	卒業要件 単位数	1年春		1年秋		2年春		2年秋	
		科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】		科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修
A	世界の言語(英語) 必修 22	English for Practical Communication【2】 English for Discussion and Presentation【2】 English for Academic Purposes【2】	全専修	Overseas University Studies【12】		Integrated Academic Skills I【2】	全専修	Integrated Academic Skills II【2】	全専修
B	世界の言語(第二外国語) 必修 8 ※1					フランス語IA【2】 フランス語IIA【2】 ドイツ語IA【2】 ドイツ語IIA【2】 スペイン語IA【2】 スペイン語IIA【2】 中国語IA【2】 中国語IIA【2】	全専修	フランス語IB【2】 フランス語IIB【2】 ドイツ語IB【2】 ドイツ語IIB【2】 スペイン語IB【2】 スペイン語IIB【2】 中国語IB【2】 中国語IIB【2】	全専修
C	学部基礎 必修 4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)【2】	全専修			キャリア・デザイン【2】	全専修		
D	自専攻基礎 必修 4	英語学概論【2】 英語圏文学概論【2】	ELNG ELIT						
E	他専攻基礎 選択必修 4 ※1	哲学・人間学入門(論理と哲学)【2】 グローバル・ヒストリー概論(歴史学)【2】 国際関係論【2】 国際開発学入門【2】 国際経済学入門(ミクロ経済学)【2】 国際経営学入門(組織・戦略)【2】 ことばの仕組み【2】 異文化理解概論【2】	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING INTC						
F	自専修基礎 必修 4					Understanding Film and Popular Culture【2】	ELIT	Understanding Fiction, Drama and Poetry【2】	ELIT
G	他専修基礎 選択必修 2 ※1					哲学・人間学入門II(人間学)【2】 Introduction to Global History【2】 Introduction to International Politics【2】 International Development StudiesI【2】 国際経済学入門II(マクロ経済学)【2】 国際経営学入門II(会計・ファイナンス)【2】 理論言語学入門【2】 Introduction to Theory of Culture【2】 English Language【2】 イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)【4】 英語圏の世界文学・文化研究【4】 American Literary and Cultural Studies【4】	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT ELIT ELIT	Introduction to Philosophy and Humanities【2】 グローバル・ヒストリー概論II(グローバル・ヒストリー)【2】 国際関係史【2】 国際協力論【2】 Introduction to International Economics【2】 Introduction to International Business【2】 Introduction to Linguistics【2】 コミュニケーション論概論【2】 英語と文化化【2】 アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】 イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】 Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture【4】	PHAN GHIS INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT ELIT ELIT
H	自専修科目 選択必修 16 ※1								
I	自専修科目(ゼミ) 選択必修 8								
K	卒業研究 必修 6								
J	選択科目 選択 26 ※2					日本語教授法【2】	GLOB	日本語学【2】 日本語教育実習【2】	GLOB GLOB
海外留学科目【最大12】 〈2～4年全専修〉									
国内インターンシップ【2】 〈2～4年全専修〉									
海外インターンシップ【2】 〈2～4年全専修〉									
海外ゼミナー【2】 〈1～4年全専修〉									

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード
国際 学科	国際人間学	P1	哲学・人間学 グローバル・ヒストリー	PHAN GHIS	P1-1 P1-2	国際 学科	国際経済学	P3	国際経済学 国際ビジネス学	INTE INTB	P3-1 P3-2	言語 文化 学科	複言語・ 複文化学	P5	言語学 異文化コミュニケーション	LING INTC	P5-1 P5-2
	国際政治学	P2	国際政治学 国際開発学	INTP INTD	P2-1 P2-2		Global Liberal Studies	P4	Global Liberal Studies	GLOB	P4-1		英米学	P6	英語学・英語教育 英語圏文学・文化	ELNG ELIT	P6-1 P6-2

3年春		3年秋		4年春	4年秋	学年	卒業要件		
科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	主専修	科目名【単位数】	科目名【単位数】	区分	単位数		
						A	世界の言語(英語) 必修 22		
フランス語ⅢA【2】	中国語ⅢA【2】	フランス語ⅢB【2】	中国語ⅢB【2】			B	世界の言語(第二外国語) 必修 8 ※1		
フランス語ⅣA【2】	中国語ⅣA【2】	フランス語ⅣB【2】	中国語ⅣB【2】						
フランス語ⅤA【2】	中国語ⅤA【2】	フランス語ⅤB【2】	中国語ⅤB【2】						
ドイツ語ⅢA【2】	ロシア語ⅢA【2】	ドイツ語ⅢB【2】	ロシア語ⅢB【2】						
ドイツ語ⅣA【2】	ロシア語ⅣA【2】	ドイツ語ⅣB【2】	ロシア語ⅣB【2】						
ドイツ語ⅤA【2】	ロシア語ⅤA【2】	ドイツ語ⅤB【2】	ロシア語ⅤB【2】						
スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢA【2】	スペイン語ⅢB【2】	スペイン語ⅢB【2】						
スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣA【2】	スペイン語ⅣB【2】	スペイン語ⅣB【2】						
						C	学部基礎 必修 4		
						D	自専攻基礎 必修 4		
						E	他専攻基礎 選択必修 4 ※1		
						F	自専修基礎 必修 4		
						G	他専修基礎 選択必修 2 ※1		
						H	自専修科目 選択必修 16 ※1		
英語圏文学・文化演習Ⅰ(文学・文化理論)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(文学・文化理論)【4】	ELIT			I	自専修科目(ゼミ) 選択必修 8		
英語圏文学・文化演習Ⅰ(物語論)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(物語論)【4】	ELIT						
英語圏文学・文化演習Ⅰ(歴史コンテキストと文学)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(歴史コンテキストと文学)【4】	ELIT						
英語圏文学・文化演習Ⅰ(英米文学研究論)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(英米文学研究論)【4】	ELIT						
英語圏文学・文化演習Ⅰ(植民地主義と文学)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(植民地主義と文学)【4】	ELIT						
英語圏文学・文化演習Ⅰ(North American Literature in Context)【4】	ELIT	英語圏文学・文化演習Ⅱ(North American Literature in Context)【4】	ELIT						
				卒業研究【通年6】全専修		K	卒業研究 必修 6		
グローバル現代思想【4】	PHAN	言語獲得【4】	LING	アジア思想【4】	PHAN	言語の起源と進化【4】	LING		
心とAIの哲学【4】	PHAN	音声学と音韻論【4】	LING	正義論【4】	PHAN	意味論【4】	LING		
応用倫理学【4】	PHAN	Current Topics in Linguistics【4】	LING	Comparative Thought (East and West)【4】	PHAN	言語学特別研究【4】	LING		
歴史のなかの国民国家とナショナリズム【4】	GHIS	ヨーロッパ文化研究【4】	INTC	宗教からたどる世界史【4】	GHIS	現代社会と宗教【4】	INTC		
資料とデータで読む世界史【4】	GHIS	日中比較文化論【4】	INTC	越境する世界史【4】	GHIS	文化論的メディア研究【4】	INTC		
複数性のアジア史【4】	GHIS	翻訳・通訳と現代社会【4】	INTC	History of Modern Japan【4】	GHIS	ロシア・東欧地域研究【4】	INTC		
日本政治論【4】	INTP	Workshop in Intercultural Communication Research【4】	INTC	難民と国際政治【4】	INTP	文化科学研究【4】	INTC		
比較政治学【4】	INTP	英語科教育法Ⅰ【4】	ELNG	国際機構論【4】	INTP	英語科単元構成論【4】	ELNG		
Lecture on Foreign Policy【4】	INTP	教育文法論【4】	ELNG	安全保障論【4】	INTP	Changes in English【4】	ELNG		
国際平和開発論【4】	INTD	実用英語運用法【4】	ELNG	地域特性と開発【4】	INTD	認知言語学と英語教育【4】	ELNG		
国際環境政策論【4】	INTD	英語の通訳Ⅰ【2】	ELNG	市民社会と開発【4】	INTD	英語の通訳Ⅱ【2】	ELNG		
International Development Policy【4】	INTD	英語の翻訳Ⅰ【2】	ELNG	フィールドと開発【4】	INTD	英語の翻訳Ⅱ【2】	ELNG		
海外投資論【4】	INTE	Professional English【4】	ELIT	開発経済学【4】	INTE	Media Literacy【4】	ELIT		
公共経済学【4】	INTE	Current Topics【4】	ELIT	産業組織論【4】	INTE	職業としての文学教育【4】	ELIT		
Lecture on Economic Policy【4】	INTE	Literature and Media for Children and Young Adults【4】	ELIT	環境経済学【4】	INTE	English Project Workshop【4】	ELIT		
ビジネスデータ分析【4】	INTB	市民権の文化史【4】	ELIT	アドボカシー 戦略・マーケティング【4】	INTB	映画論【4】	ELIT		
多国籍企業論【4】	INTB	都市文化デザイン論【4】	ELIT	アドボカシー 会計・ファイナンス【4】	INTB	クリティカル・リーディング【4】	ELIT		
アドボカシー 組織・人材マネジメント【4】	INTB	Global Media and Culture【4】	GLOB	Lecture on Cross-cultural Management【4】	INTB	International Academic Relations【4】	GLOB		
		Twenty-First Century Cities【4】	GLOB			Global Peace and Security【4】	GLOB		
集中講義科目(開講期はCHUKYO ALBO又はホームページにて確認してください)									
哲学・人間学特殊講義【2】	PHAN	英語学特殊講義【2】	ELNG	Special Topics in Philosophical Anthropology【2】	PHAN	Special Topics in International Business Studies【2】	INTB		
グローバル・ヒストリー特殊講義【2】	GHIS	英語圏文学・文化特殊講義【2】	ELIT	Special Topics in Global History【2】	GHIS	Special Topics in Linguistics【2】	LING		
国際政治学特殊講義【2】	INTP	国際ビジネス学特殊講義【2】	INTB	Special Topics in International Politics【2】	INTP	Special Topics in Intercultural Communication【2】	INTC		
国際開発学特殊講義【2】	INTD	言語学特殊講義【2】	LING	Special Topics in International Development Studies【2】	INTD	Special Topics in English Linguistics【2】	ELNG		
国際経済学特殊講義【2】	INTE	異文化コミュニケーション特殊講義【2】	INTC	Special Topics in International Economics【2】	INTE	Special Topics in English Literature and Culture【2】	ELIT		
〈別表①(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1 Major+1 Minor				〈別表②(48ページ)〉※3 対象: Double Major, 1 Major+1 Minor				〈別表③(48ページ)〉※4 対象: Double Major	〈別表④(48ページ)〉※4 対象: Double Major

太枠内科目(第二外国語応用)を修得した場合、修得単位数は「J選択単位」の単位として集計されます。

集中講義科目は、実務家教員が担当する授業が多く、開講期(春・秋)が年度によって変動します。開講年度の始まる前の3月中旬にCHUKYO ALBO又はホームページにて、「開講期・開講日・担当者名」を確認してください。

【注意事項】

- 学部固有科目は、配当年次に加え、上級年次でも履修可能です(原則)。
- ※1 各区分の卒業要件を超えて修得した単位は、「J」選択単位として集計されます。
- ※2 「J」選択単位が卒業要件を超えた場合は、「F」単位として集計されます。
- ※3 Double Major、1 Major+1 Minorを修得するためには、該当科目から、8単位以上修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※4 Double Majorを修得するためには、該当科目から4単位修得する必要があります。(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)
- ※5 科目名が英語表記の授業は、英語のみで授業を行います。

別表①(対象: Double Major、1 Major+1 Minor)

Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、以下科目から、8単位以上修得する必要があります。
(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)

科目名【単位数】	主専修
現代哲学概論【4】	PHAN (P1-1)
Basics of Modern Philosophy and Comparative Thought【4】	
西洋世界の形成と展開【4】	GHIS (P1-2)
グローバル・ヒストリーの中の日本【4】	
日本政治外交史【4】	INTP (P2-1)
国際政治学【4】	
社会開発論【4】	INTD (P2-2)
グローバル・ガバナンス論【4】	
計量経済学【4】	INTE (P3-1)
Japan & World Economy【4】	
戦略・マーケティング【4】	INTB (P3-2)
Global Business and Leadership【4】	
統語と音韻の境界領域【4】	LING (P5-1)
比較統語論【4】	
外国語学習から学ぶ複言語文化【4】	
文学から学ぶ言語文化【4】	INTC (P5-2)
多文化共生から学ぶ宗教文化【4】	
映画から学ぶメディア文化【4】	
英語の文構造【4】	ELNG (P6-1)
英語の歴史【4】	
日英対照の英語学【4】	
イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)【4】	
英語圏の世界文学・文化研究【4】	ELIT (P6-2)
American Literary and Cultural Studies【4】	

別表②(対象: Double Major、1 Major+1 Minor)

Double Major、1 Major+1 Minorを修了するためには、以下科目から、8単位以上修得する必要があります。
(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)

科目名【単位数】	主専修
現代人間学概論【4】	PHAN (P1-1)
比較思想概論【4】	
多元的アジア世界の形成【4】	GHIS (P1-2)
Basics of Global History【4】	
国際政治史【4】	INTP (P2-1)
International Politics【4】	
持続可能な開発論【4】	INTD (P2-2)
International Development StudiesII【4】	
金融論【4】	INTE (P3-1)
貿易論【4】	
組織・人材マネジメント【4】	INTB (P3-2)
ビジネスと会計・ファイナンス【4】	
理論言語学【4】	LING (P5-1)
Workshop in Linguistic Research【4】	
Glocal Studies in Japan【4】	
社会言語学から学ぶ言語文化【4】	INTC (P5-2)
芸術から学ぶ宗教文化【4】	
ポピュラー文化から学ぶメディア文化【4】	
英語科教育法II【4】	ELNG (P6-1)
Topics in English Linguistics【4】	
英語の意味と語用【4】	
アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】	
イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)【4】	ELIT (P6-2)
Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture【4】	

別表③(対象: Double Major)

Double Majorを修了するためには、以下科目から4単位修得する必要があります。
(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)

科目名【単位数】	主専修
哲学・人間学演習I(現代哲学)【4】	PHAN (P1-1)
哲学・人間学演習I(比較思想)【4】	
グローバル・ヒストリー演習I(西洋)【4】	GHIS (P1-2)
グローバル・ヒストリー演習I(アジア)【4】	
グローバル・ヒストリー演習I(日本と世界)【4】	
国際政治学演習I(日本政治外交史)【4】	INTP (P2-1)
国際政治学演習I(国際政治史)【4】	
国際政治学演習I(国際政治学)【4】	
国際開発学演習I(持続可能な開発論)【4】	INTD (P2-2)
国際開発学演習I(社会開発論)【4】	
国際開発学演習I(グローバル・ガバナンス論)【4】	
国際経済学演習I(マクロ経済学)【4】	INTE (P3-1)
国際経済学演習I(ミクロ経済学)【4】	
国際経済学演習I(計量経済学)【4】	
国際ビジネス学演習I(組織・人材マネジメント)【4】	INTB (P3-2)
国際ビジネス学演習I(会計・ファイナンス)【4】	
国際ビジネス学演習I(戦略・マーケティング)【4】	
言語学演習I(理論言語学)【4】	LING (P5-1)
言語学演習I(比較統語論)【4】	
言語学演習I(統語と音韻の境界領域)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(外国語学習論)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(比較文学論)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(社会言語学)【4】	INTC (P5-2)
異文化コミュニケーション演習I(西洋精神文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(多文化共生論)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(比較文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習I(表象文化論)【4】	
英語学・英語教育演習I(英語科教育学)【4】	ELNG (P6-1)
英語学・英語教育演習I(英語の文構造)【4】	
英語学・英語教育演習I(英語の歴史)【4】	
英語学・英語教育演習I(英語の意味と語用)【4】	
英語圏文学・文化演習I(文学・文化理論)【4】	
英語圏文学・文化演習I(物語論)【4】	
英語圏文学・文化演習I(歴史コンテキストと文学)【4】	ELIT (P6-2)
英語圏文学・文化演習I(英米文学研究論)【4】	
英語圏文学・文化演習I(植民地主義と文学)【4】	
英語圏文学・文化演習I(North American Literature in Context)【4】	

別表④(対象: Double Major)

Double Majorを修了するためには、以下科目から4単位修得する必要があります。
(修得した単位は「J」選択単位に集計されます。)

科目名【単位数】	主専修
哲学・人間学演習II(現代哲学)【4】	PHAN (P1-1)
哲学・人間学演習II(比較思想)【4】	
グローバル・ヒストリー演習II(西洋)【4】	GHIS (P1-2)
グローバル・ヒストリー演習II(アジア)【4】	
グローバル・ヒストリー演習II(日本と世界)【4】	
国際政治学演習II(日本政治外交史)【4】	INTP (P2-1)
国際政治学演習II(国際政治史)【4】	
国際政治学演習II(国際政治学)【4】	
国際開発学演習II(持続可能な開発論)【4】	INTD (P2-2)
国際開発学演習II(社会開発論)【4】	
国際開発学演習II(グローバル・ガバナンス論)【4】	
国際経済学演習II(マクロ経済学)【4】	INTE (P3-1)
国際経済学演習II(ミクロ経済学)【4】	
国際経済学演習II(計量経済学)【4】	
国際ビジネス学演習II(組織・人材マネジメント)【4】	INTB (P3-2)
国際ビジネス学演習II(会計・ファイナンス)【4】	
国際ビジネス学演習II(戦略・マーケティング)【4】	
言語学演習II(理論言語学)【4】	LING (P5-1)
言語学演習II(比較統語論)【4】	
言語学演習II(統語と音韻の境界領域)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(外国語学習論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(比較文学論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(社会言語学)【4】	INTC (P5-2)
異文化コミュニケーション演習II(西洋精神文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(多文化共生論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(比較文化論)【4】	
異文化コミュニケーション演習II(表象文化論)【4】	
英語学・英語教育演習II(英語科教育学)【4】	ELNG (P6-1)
英語学・英語教育演習II(英語の文構造)【4】	
英語学・英語教育演習II(英語の歴史)【4】	
英語学・英語教育演習II(英語の意味と語用)【4】	
英語圏文学・文化演習II(文学・文化理論)【4】	
英語圏文学・文化演習II(物語論)【4】	
英語圏文学・文化演習II(歴史コンテキストと文学)【4】	ELIT (P6-2)
英語圏文学・文化演習II(英米文学研究論)【4】	
英語圏文学・文化演習II(植民地主義と文学)【4】	
英語圏文学・文化演習II(North American Literature in Context)【4】	

学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード	学科	専攻	専攻コード	専修	専修略	専修コード		
国際学科	国際人間学	P1	哲学・人間学	PHAN	P1-1	国際学科	国際経済学	P3	国際経済学	INTE	P3-1	言語文化学科	複言語・複文化学	P5	言語学	LING	P5-1		
			グローバル・ヒストリー	GHIS	P1-2					国際ビジネス学	INTB		P3-2				異文化コミュニケーション	INTC	P5-2
			国際政治学	INTP	P2-1					Global Liberal Studies	GLOB		P4-1				英語学・英語教育	ELNG	P6-1
			国際開発学	INTD	P2-2												英語圏文学・文化	ELIT	P6-2

9 学部固有科目の履修について

問合せ先 教務センター

【A】世界の言語プログラム(英語)

1年次春学期に60分授業を1日3コマ×週3日(月・水・金)開講します。2年次は春・秋学期に60分授業を1日1コマ×週3日(月・水・金)開講します。

配当	区分	科目名
1年春	必修	English for Practical Communication
		English for Discussion and Presentation
		English for Academic Purposes
2年春	必修	Integrated Academic Skills I
2年秋	必修	Integrated Academic Skills II

①能力別の少人数クラスで開講します。1年生配当科目は入学後に受検するGTEC、2年生配当科目は1年次秋学期のOverseas University Studies帰国後に受検するGTECによるクラス分けを行います。

※教務センターで履修登録を行いますので、履修申請時にCHUKYO ALBOの履修画面で登録されたクラスを確認してください。

②1年生配当科目をすべて修得した者に限り、2年生配当科目を履修することが可能です。未修得の場合は、1年生配当科目の再履修を優先してください。

③1年生配当科目を2科目以上修得した者に限り、世界の言語プログラム(第二外国語)の基礎科目(IA～IIB)を履修することが可能です。未修得の場合は、1年生配当科目の再履修を優先してください。

④Integrated Academic Skills IIはIntegrated Academic Skills Iが未修得であっても履修可能です。

<Overseas University Studies(1年秋)>

1年次秋学期に12週間(3セッション)の留学プログラムへの参加を必須とした必修科目です。卒業に必要なだけでなく、単位修得ができないと1年次留年となり、2年次に進級することができません。また、この科目の履修にあたっては、1年次春学期から関連授業に取り組む必要があります。詳細は、51ページを確認してください。

【B】世界の言語プログラム(第二外国語)

・基礎科目(IA～IIB)

2年次春・秋学期に60分授業を1日2コマ×週3日(月・水・金)で開講します。基礎科目は全て修得する必要があります。

・応用科目(ⅢA～VB)

3年次春・秋学期には60分授業を1日×週3日(月・水・金)で開講します。応用科目がある言語は、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語です。韓国語・イタリア語はありません。修得した単位は【J】の選択科目に算入されます。

配当	区分	科目名
2年春	必修	【基礎科目】
		フランス語IA・IIA
		ドイツ語IA・IIA
		スペイン語IA・IIA
		中国語IA・IIA
		ロシア語IA・IIA
		イタリア語IA・IIA
韓国語IA・IIA		
2年秋	必修	【基礎科目】
		フランス語IB・IIB
		ドイツ語IB・IIB
		スペイン語IB・IIB
		中国語IB・IIB
		ロシア語IB・IIB
		イタリア語IB・IIB
韓国語IB・IIB		

配当	区分	科目名
3年春	選択	【応用科目】
		フランス語ⅢA・ⅣA・ⅤA
		ドイツ語ⅢA・ⅣA・ⅤA
		スペイン語ⅢA・ⅣA・ⅤA
		中国語ⅢA・ⅣA・ⅤA
ロシア語ⅢA・ⅣA・ⅤA		
3年秋	選択	【応用科目】
		フランス語ⅢB・ⅣB・ⅤB
		ドイツ語ⅢB・ⅣB・ⅤB
		スペイン語ⅢB・ⅣB・ⅤB
		中国語ⅢB・ⅣB・ⅤB
ロシア語ⅢB・ⅣB・ⅤB		

①基礎科目(IA～IIB)の履修について

1年次秋学期に第二外国語希望調査を行います。フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ロシア語、イタリア語、韓国語の7言語から選択します。各言語には定員が設定されており、各クラスには授業定員があるため、言語及びクラス分けは、希望調査に基づき、1年次春学期のGPA及び1年次秋学期のOverseas University Studies帰国後に受検するGTECスコアにより行います。希望調査では、第1希望から第7希望まで選択してください。ただし、イタリア語と韓国語は応用科目がありません。応用科目は基礎科目と同一言語のみ履修可能ですので、3年次に応用科目を履修する学生はイタリア語と韓国語以外の言語から第二外国語を選択してください。

※教務センターで履修登録を行いますので、履修申請時にCHUKYO ALBOの履修画面で登録された言語及びクラスを確認してください。

※決定した言語の変更はできません(再履修を含む)。

※春学期に「IA・IIA」を修得できなかった場合、秋学期に「IB・IIB」を履修することはできません。

②応用科目(ⅢA～VB)の履修について

第二外国語の基礎科目(IA～IIB)を全て修得した場合は、同一言語の応用科目(ⅢA～VB)を履修できます。申込方法や申込期間等はCHUKYO ALBOで配信します。基礎及び応用科目の全てを修得すると、卒業時にPlurilingual Program修了証が発行されます。詳細は55ページを確認してください。

※半期ごとにⅢ・Ⅳ・Ⅴセットで履修してください。(春学期：ⅢA・ⅣA・ⅤA、秋学期：ⅢB・ⅣB・ⅤB)

※春学期に「ⅢA・ⅣA・ⅤA」を修得できなかった場合、秋学期に「ⅢB・ⅣB・ⅤB」を履修することはできません。

③第三外国語及び第四外国語の履修について

第二外国語の基礎科目(IA～IIB)を全て修得した場合は、第三外国語として別の言語の基礎科目を履修することができます。申込方法や申込期間等はCHUKYO ALBOで配信します。

※各言語には定員が設定されており、各クラスには授業定員があるため、希望通りに履修できない場合があります。

※教務センターで履修登録を行いますので、CHUKYO ALBOの履修画面で確認してください。

【C】学部基礎科目

1年次春学期に入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)、2年次春学期にキャリア・デザインを開講します。各自履修登録をしてください。

卒業要件

- ・入門ゼミ(アカデミック・スキルズ) (2単位必修)
- ・キャリア・デザイン (2単位必修)

<授業概要>

- (1)入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)
大学での学びへの導入という目標のもと、「読む」「聴く」「書く」「話す」の基礎的な訓練を行う授業です。少人数で行います。複数クラス開講します。
- (2)キャリア・デザイン
職業の多様な実態と可能性に触れ、進路選択において必要となる基本の知識を学びます。講義形式で開講します。

【D・E】専攻基礎科目

1年次春学期の開講科目です。各科目2単位となります。各自履修登録をしてください。

卒業要件

- 【D】所属する専攻から2科目 (4単位必修)
- 【E】所属する専攻以外から2科目 (4単位選択必修)

①Honors Program修了に係る科目です。要件等については54～55ページを確認してください。

【F・G】専修基礎科目

2年次開講科目です。各科目2単位です。各自履修登録をしてください。所属する専修の科目を、春・秋1科目ずつ、所属専修以外の専修から春又は秋学期に1科目履修・修得してください。

卒業要件

- 【F】所属する専修から2科目 (4単位必修)
- 【G】所属する専修以外から1科目 (2単位選択必修)

①Honors Program修了に係る科目です。要件等については54～55ページを確認してください。

【H】専修科目

2年次開講科目です。各自履修登録をしてください。各科目4単位で、授業は週に2回あります。所属する専修の科目を、春・秋2科目ずつ修得してください。

卒業要件

- 【H】所属する専修から4科目 (16単位必修)
- ※異文化コミュニケーション専修/英語学・英語教育専修/英語圏文学・文化専修所属の場合は16単位選択必修

①Honors Program修了に係る科目です。要件及び履修科目等については54～55ページ及び48ページの別表①・②を確認してください。

【I】専修科目 / 演習I・II(ゼミ)

3年次には、所属専修のゼミに所属します。春・秋通して同じ教員(テーマ)のゼミを履修します。

卒業要件

- 【I】所属する専修から2科目 (8単位選択必修)

- ①2年次秋学期(第4セメスター)に「所属ゼミ希望」調査の提出が必要で詳細はCHUKYO ALBOで配信します。
※ゼミへの所属は必須ですが、各ゼミには定員が設けられているため、担当教員による選抜を行います。
※教務センターで登録を行いますので、CHUKYO ALBOの履修画面で確認をしてください。決定後の所属ゼミ変更は認められません(再履修を含む)。
- ②所属するゼミの教員(テーマ)において、4年次に【K】卒業研究として、卒業論文を作成し、提出することになります。
- ③Honors Program修了に係る科目です。要件及び履修科目等については48ページの別表①・②及び54～55ページを確認してください。

【J】選択科目

すべての専修に選択科目を設置しています。選択科目は週2回の講義形式(4単位)と集中講義の講義形式(2単位)が開講されます。学科を超えての履修が可能です。多くの科目は専門的な知識を備えていることを前提としています。

この区分には【B】【E】【G】【H】の卒業要件の単位数を超過して修得した単位が算入されます。

卒業要件

【J】26単位

- ①科目によっては、履修条件があります。シラバスで各科目の履修条件を確認し、必ず初回授業に出席してください。自身が履修可能かわからない場合には、授業担当教員に相談のうえ、履修登録をしてください。
GLS専攻の4科目(Global Media and Culture, Twenty-First Century Cities, International Academic Relations, Global Peace and Security)の履修にあたっては、高い英語運用能力が必要です。履修を希望する場合はあらかじめ授業担当教員に相談のうえ、教務センターに申し出てください。
- ②Double Majorの修了に係る科目です。要件及び履修科目等については54～55ページを確認してください。
- ③日本語教師養成課程関連科目の「日本語教育実習」は「日本語学」、「日本語教授法」を修得した後に履修することを強く推奨します。

【K】卒業研究

卒業研究は、通年の必修科目であり、4年次秋学期(第8セメスター)において卒業論文の提出が必須です。【I】で履修した所属ゼミの教員から卒業研究の指導を受けます。教務センターで登録を行いますので、CHUKYO ALBOの履修画面で確認をしてください。

卒業要件

【K】通年6単位 (必修)

- ①卒業論文の作成方法や提出時期については、指導教員から指示があります。
- ②再履修について
担当教員の変更はできません。同じ担当教員の卒業研究を履修してください。

Overseas University Studies (留学)について

1年次秋学期に12週間(3セッション)の留学プログラムへの参加を必須とした必修科目です。卒業に必要なだけでなく、単位修得ができないと1年次留年となり、2年次に進級することができません。この科目の単位認定には、留学中の各セッションの合否結果だけでなく、1年次春学期及び留学出発前に実施される留学事前準備A、B、Cの合否(取り組み状況)が反映されます。留学事前準備A、B、Cはそれぞれ90分×15回授業で、詳細は別途案内します。また、帰国後の1月には留学帰国報告会に参加する必要があります。

【留意事項】

- ①本科目の単位修得ができない限り、1年次留年となり2年次に進級することはできません。
- ②入学年度の秋学期に本科目の単位修得ができなかった場合は、次年度の春学期が始まる前の3月中に教務センター学部担当者へ次年度の履修について申し出てください。
- ③1年次秋学期の留学前(6月下旬)と留学後(1月下旬)にGTECの受検を必須とします。GTECのスコアは、留学成果としての英語運用能力の伸長度を測るだけでなく、その後のクラス分けにも使用します。
- ④天災事変その他やむを得ない事由により、学部が渡航プログラムの中止を判断した場合には、学部の指定する代替プログラムへ変更となります。また、予告なしにプログラム内容が変更となる場合があります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

国内インターンシップ

- ①キャリア支援課が実施する各種ガイダンスに参加することが必要です。ガイダンスに参加して、インターンシップへの参加方法や必要な提出物など、単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ②必要条件を満たすと2単位が認定されます。(成績表では「N」と表記されます。)
- ③履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

海外インターンシップ

- ①グローバル教育センターの海外短期研修のうち、「海外ビジネス研修」「海外インターンシップ」のいずれかを修了し、必要な要件を満たした場合に2単位が認定されます。
 - ②単位認定の時期は、研修期間に該当する学期で認定されます。成績表では「N」と表記されます。
 - ③単位認定は1回のみです。2～4年生が対象ですが、4年次秋学期(第8セメスター)においては認定されません。
 - ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。
- 募集時期や申込方法等についてはグローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

海外セミナー

- ①グローバル教育センターの海外短期研修のうち、「海外大学体験(英語圏以外)」、「海外語学研修(英語圏以外)」、「SAF分野別研修」のいずれかを修了し、必要な要件を満たした場合に2単位が認定されます。
 - ②単位認定の時期は、研修期間に該当する学期で認定されます。成績表では「N」と表記されます。
 - ③単位認定は1回のみです。2～4年生が対象ですが、4年次秋学期(第8セメスター)においては認定されません。
 - ④履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。
- 募集時期や申込方法等についてはグローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

海外留学科目

グローバル教育センターの交換留学、認定留学及びディズニー・インターンシップに参加した学生が留学先大学で修得した科目は、本人の申請に基づき原則として国際学部のカリキュラムにある科目に読み替えて認定します。成績表では「N」と表記されます。

読み替えができない科目のうち、国際学部が認めた科目は学部固有科目「海外留学科目」として単位が認定されます。「海外留学科目」として認定できる単位の総数は12単位までで、実態に応じ、1単位ごとの分割認定も認められます。履修登録は不要で、履修登録制限単位には含めません。

単位認定申請の手続き等については、留学決定後、別途案内します。

■各留学プログラムの申請時期や申請方法等についてはグローバル教育センターのポータルサイト「GLOBAL NAVI」にて確認してください。

《注意》

国際学部のカリキュラムの特性上、交換留学、認定留学又はディズニー・インターンシッププログラムに4年次秋学期(第8セメスター)以外で参加する場合、修業年限内の卒業はできなくなります。ただし、交換留学、認定留学、ディズニー・インターンシッププログラムへは4年次秋学期(第8セメスター)に1セメスター参加の場合のみ修業年限内の卒業を目指すことが可能です。この場合には4年次に提出が必須の卒業論文を早期に完成させる必要があります。参

加を検討する段階で、修業年限内の卒業可能性について教務センターと確認した上で、ゼミ担当教員に連絡してください。

《教職課程履修者への注意》

教職課程履修者は特例的に4年次秋学期(第8セメスター)ではなく、3年次秋学期(第6セメスター)の1セメスター参加の場合のみ、修業年限内の卒業を目指すことが可能です。参加を検討する段階で希望するゼミ担当教員、教育実習担当教員、教務センター(教職支援係)に相談してください。

人数制限の科目

科目によって人数制限を設けています。人数制限を設ける科目は「時間割表」の「注意事項」で案内をしていますので確認してください。なお、コンピュータ演習室で授業を実施する科目は、教室定員数で履修人数を制限します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

Honors Programについて

Honors Programは、卒業要件の充足を前提に、1つの学問分野の学修だけを深化させるのではなく、他の分野の学問についても同時に探究し、総合的な知識を体系的に身につけていくことを目的とする学修プログラムです。Honors Programの要件を満たすように科目を履修・修得し、4年次の2月に修了の申告をした学生には、「Double Major修了証」、「1Major+1Minor修了証」を発行します。

<Honors Programの種類と修了要件>

Double Major	自専修(ファーストメジャー)だけでなく、もう1つメジャーとする他専攻の専修(セカンドメジャー)を選択し、必要科目の履修をすすめるとともに、3年次にはファーストメジャー、4年次にはセカンドメジャーの2つの演習(ゼミ)を履修する。卒業論文はファーストメジャーの専修のみを作成・提出する。
1Major+1Minor	自専修(ファーストメジャー)だけでなく、もう1つメジャーとする他専攻の専修(セカンドメジャー)を選択し、必要科目の履修をすすめる。ゼミへの所属、卒業論文の作成・提出はファーストメジャーのみで行う。

Plurilingual Programについて

Purilingual Programは、英語の学修に加え、第二外国語を発展的に学ぶ学修プログラムです。世界の言語プログラム(第二外国語)の基礎科目(8単位)に加え、発展的な学びとして応用科目(12単位)を履修し、合計20単位を修得することでプログラム修了となります。

本プログラムを修了し、4年次の2月に申告をした学生には、「Plurilingual Program修了証」を発行します。複言語・複文化専攻の学生は、同プログラムの修了を目指します(教職課程履修者除く)。

Honors Program及びPlurilingual Programの履修条件について

Honors Program : Double Major、1Major+1Minorの履修要件

●第4セメスター終了時のトータルGPAが3.0以上の者

※セカンドメジャー履修の受入には定員があるため、定員を超えて多数の希望があった場合には、GPAによる選抜を行います。

※詳細はCHUKYO ALBOで配信します。

Honors Program : Double Majorの履修条件(セカンドメジャーのゼミ)

●ゼミ担当教員による成績及び人物評価

※セカンドメジャーのゼミの受入れ定員の上限は3名です。定員を超えて多数の希望があった場合には、担当教員による選抜を行います。

※詳細はCHUKYO ALBOで配信します。

Plurilingual Programの履修条件

●第二外国語基礎科目(8単位)を全て修得した者で同言語の応用科目の修得を希望する者。

※定員設定による選抜は行いません。

Double Majorにおけるセカンドメジャーの専修選択について

Double Majorにおけるセカンドメジャーの専修選択については、所属する学科と異なる学科の専修から選ぶことを推奨しています。自専修のゼミ(演習I・II)は3年次開講ですが、卒業論文の指導や中間発表等で4年次においても参加をしなければならない場合があります。セカンドメジャーを所属学科内の専修とした場合、ゼミの開講時間が重複するため、ファーストメジャーのゼミに4年次において参加することができなくなります。所属と異なる学科の専修からセカンドメジャーを選択した場合には、そのような時間割重複が発生しないため、ゼミ(演習I・II)を無理なく履修することができます。

※同学科内の専修を選択した場合、4年次にはセカンドメジャーのゼミに優先して参加することになります。その際は、各自でファーストメジャーのゼミ教員に相談のうえ、指導を受けてください。

※セカンドメジャーとして、GLS専修を選択することはできません。

Honors Program及びPlurilingual Program修了のための充足要件について

まずは、学部固有科目の中で必要となる各区分の卒業要件を確認してください。その上で、Program履修者として、どのような科目を学ぶべきかについて、以下の充足要件を参考に、1年次から4年次までの学習計画(履修計画)を立てた上で科目選択を進めてください。Honors Program及びPlurilingual Programの申込みは、第4セメスターに行います。履修科目の選択を誤ると、Programの修了はできません。

なお、Honors Programで選択できる2つ目の専修には、それぞれ受入れの定員が設けられています。希望者多数の場合には、第4セメスター終了時のGPAにより選抜します。Plurilingual Programには定員はありません。

科目区分		学部固有科目の卒業要件 各科目区分の必要単位数	Honors Program修了のための充足要件※1 左記の「卒業要件」が満たされていることが前提です。				Plurilingual Program 修了のための充足要件
		Major (Single Major) 1つの分野を究める	Double Major 2つの分野をおさめる		1 Major+1 Minor 1つの分野を究め、 2つ目の分野を体系的に学ぶ		Plurilingual Program 複言語に熟達する
科目区分			1st Major (自専修)	2nd Major (2つ目の専修)	Major (自専修)	Minor (2つ目の専修)	Major (自専修)
A	世界の言語(英語)	22単位					
B	世界の言語(第二外国語)	8単位					20単位※2※4
C	学部基礎	4単位					
D	専攻基礎	自専攻	4単位		4単位		
E		他専攻	4単位		2単位		2単位
F	専修基礎	自専修	4単位	4単位	4単位		
G		他専修	2単位		2単位		2単位
H	専修科目	自専修	16単位	16単位	16単位		
	専修科目	他専修	0単位		16単位※2		16単位※2
I	専修科目 (ゼミ)	自専修	8単位	8単位	8単位		
		他専修	0単位		8単位※2		
J	選択科目	26単位	※3	8単位	※3		※3
K	卒業研究	自専修	6単位	6単位	6単位		
		104単位		36単位		20単位	

※1: 表中の各区分の単位数は、Honors Program修了のための充足要件です。

卒業するためには、全ての区分について、【Major(Single Major)】の単位数を充たす必要があります。

※2: 2nd MajorあるいはMinorとして修得した科目区分<H><I>の単位は、<J>選択科目の単位として卒業所要単位に算入します。

※3: Honors Program及びPlurilingual Program修了のための充足要件ではありませんが、より発展的な学びを実現するため、特に自専修選択科目の積極的な履修を推奨します。

※4: 一つの言語の基礎、応用で20単位修得する必要があります。

<教職課程履修者のHonors Programについて>

教職課程履修者については、教職課程修了のために卒業所要単位以外に単位の修得が必要となります。

Honors Programと両立するのは容易ではありません。

それでも希望する場合は4年間の履修計画を立てた上で、指導教員及び教務センター担当者に相談してください。

スケジュール

国際学部の学生は以下のスケジュールで希望書や申出書を提出することになります。特に、Honors Program / Plurilingual Programを希望する場合には、提出書類や申請が多くなります。書類提出・申請にあたっては、必ず期限を守ってください。

※提出物の内容や時期等の詳細については、随時CHUKYO ALBOで配信します。

学年	セメスター	対象者	内容
1	1	全員	●第2セメスターの留学科目「Overseas University Studies」の各種書類を提出
	2	全員	<留学帰国後、2種類の希望を提出> ●所属専攻内の「専修」希望を提出 ※各専修には定員が設けられており、定員を超えた場合は第1セメスターのGPAにより決定します。 ●第二外国語の希望を提出 ※各言語には定員が設けられており、定員を超えた場合は第1セメスターのGPA及び1年次秋学期Overseas University Studies帰国後に受検するGTECスコアにより決定します。 ※3年次に応用科目を履修する学生はイタリア語と韓国語以外の言語から第二外国語を選択してください。
2	3		
	4	全員 Honors Program希望者	●所属ゼミ希望を提出 ※各ゼミには定員が設けられており、担当教員による選抜を行います。 ●Honors Programの履修希望を提出 ※第4セメスター終了時のトータルGPA3.0以上の者を対象とします。 ※セカンドメジャーの専修選択には定員が設けられており、定員を超えた場合はGPAにより決定します。
3	5		
	6	Double Major希望者	●セカンドメジャーの専修のゼミ希望を提出 ※各ゼミには定員(3名)が設けられており、定員を超えた場合は担当教員により選抜を行います。
4	7		
	8	Honors Program修了者	●Honors Program / Plurilingual Program修了証発行願を申出 「Double Major修了証」、「1Major+1Minor修了証」、「Plurilingual Program修了証」を卒業時に発行します。

アカデミック・アドバイザー制度

担当教員が学修活動を中心に支援する「アカデミック・アドバイザー制度」を設けています。この制度は、GPA値・修得単位数の学修目標を示すとともに、成績が一定基準に達していない場合には、面談を実施する機能を有しています。単位修得だけでなく、GPA(学修の質)の向上にも取り組むよう心がけてください。アドバイス基準は下記のとおりです。

【アドバイス(指導)対象基準】

学年	セメスター	総修得単位数	GPA	指導担当
1	1	16未満	各セメスター 1.0未満	担任制 担当教員
	2	26未満		
2	3	42未満		
	4	58未満		
3	5	74未満		ゼミ担当教員
	6	100未満		
4	7	アドバイス(指導)対象外		
	8			

※第1～4セメスターまでの指導は担任制による担当教員が指導を行います。第5～6セメスターは、ゼミ(演習)担当教員による指導となります。第7～第8セメスターは、アドバイス対象外ですがゼミ(演習)担当教員による指導がある場合があります。

【アドバイス(指導)の流れ】

- ①教務センターより対象学生にCHUKYO ALBO等で連絡
- ②対象学生は、担当教員にアポイントをとり、面談する日時を決定
- ③担当教員による面談

アカデミック・アドバイザー制度に関する質問は、教務センター窓口へ申し出てください。

オフィス・アワーについて

学部の教員がみなさんの学修についての相談に応えるためオフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話しをすることはもちろんできますが、研究室等においてきめ細かい対応や指導を受けることもできます。相談がある場合は各教員の研究室を訪ねてください。

13 全学開放科目について

問合せ先 教務センター

全学開放科目

本学では、自分の所属学部以外の学部が開講している学部固有科目を履修・修得することができます。当該科目の履修は、履修登録制限単位に含みます。修得した科目の単位は、下記の表に従い卒業所要単位に含みます。

対象科目

全学開放科目時間割表で確認してください。

履修方法

全学開放科目の履修希望者は以下の手順で履修の申込みを行ってください。

- ①CHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」を参照し、履修希望科目を決定してください。
- ②申込方法の詳細については、CHUKYO ALBOで確認し、申込みを行ってください。
※CHUKYO ALBOでの履修登録及び履修修正はできません。
- ③申込期間はCHUKYO ALBOで確認してください。

単位認定

卒業所要単位としては下表のとおり認定されます。

学部	単位数	認定区分
国際	8単位	フロート単位
文		全学共通選択単位
心理		
現代社会		
法		
総合政策		
経済		
経営		
スポーツ科		
工		

※各単位数を超えて修得した単位は自由単位となります。

注意事項

- ①履修登録制限単位に含みます。
- ②履修を希望する科目の開講学部を確認してください。
- ③教室変更・試験日程等の連絡事項は、CHUKYO ALBO又は公式ホームページを確認してください。
- ④開講キャンパス(名古屋・豊田)が異なる学部の科目も履修できますが、移動時間(約1時間)を考慮して履修計画を立ててください。
- ⑤休講・補講等は、CHUKYO ALBOで確認してください。
- ⑥履修可能学年は科目によって異なります。詳細はCHUKYO ALBOで配信される「全学開放科目時間割表」で確認してください。

14 単位互換に関する包括協定の案内

問合せ先 教務センター

愛知県単位互換制度

愛知県内すべての4年制大学が加盟する愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」は、加盟大学に所属する学生が他の大学で開講される様々な科目を履修することで、所属大学の単位として認められる制度です。

出願条件

■出願可能学年

本学の出願可能学年は1～3年生です。4年生は履修申込み(出願)ができません。また、本学での単位修得状況がよくない学生は本学での履修を優先し、申込みは控えてください。

各科目に設定されている出願条件については(対象学年等)、「講義概要」を参照してください。

■年間履修制限単位数

年間履修制限単位数は4単位です。この単位は本学の履修登録制限単位に含みません。

出願手続き

■出願票記入

3月中旬頃、愛知学長懇話会ホームページに「各大学の開放科目」「講義概要」「科目開設大学概要」が公開されます。これらの情報を参照した上で、所定の出願票に必要事項を記入してください(1科目につき1枚)。

出願票は、愛知学長懇話会ホームページからダウンロードするか、本学教務センター窓口で受け取ってください。

■出願票提出期間・提出先

出願票の提出期間は、年に1回4月上旬のみです(提出期間の詳細はCHUKYO ALBO「お知らせ」で通知)。秋学期開講科目も4月上旬に出願票を提出する必要がありますので注意してください。

提出先は本学教務センター窓口です。

■履修の可否

科目開設大学で履修の可否が審議された後、所属大学に結果が通知されます。科目によっては出願票に記入された「志望動機」に基づいて履修者の選考が行われる場合がありますので、「志望動機」は明確かつ具体的に記入してください。

出願者本人への履修可否通知は、4月下旬に、本学教務センターから行います。

■受講料

受講料は無料です。ただし、科目によっては、実験・実習等に必要実費について必要となる場合があります。

履修手続き

■履修手続き

履修許可の通知を受けた学生は、科目開設大学の指示に従って所定の履修手続きを行うことになります。また、履修登録日程の関係上、科目開設大学において履修者決定までの間、その授業の仮受講が認められていますので、出願票のコピー(本人控)を携帯し、仮の受講票とすることができます。

■賠償責任保険加入

履修許可の通知を受けた学生は、学生教育研究災害傷害保険付帯の賠償責任保険に加入していただきます(340円)。加入に関する詳細は本学教務センターより別途指示します。

身分について

履修手続きを完了した学生は、科目開設大学で「単位互換履修生」又は「特別聴講学生」となります。科目開設大学によっては身分証明書が発行されます。単位互換履修生(特別聴講学生)は、科目開設大学の施設(図書館等)を利用することができますが、科目開設大学のルールに従って行動してください。

単位互換履修生(特別聴講学生)となった学生への連絡

単位互換履修生(特別聴講学生)となっている大学からの連絡事項があった場合は、CHUKYO ALBOの「お知らせ」で連絡します。

単位認定

単位互換履修生(特別聴講学生)は、履修許可を受けた科目を履修し、当該科目の試験に合格すれば本学の卒業所要単位として単位認定を受けることができます(下表参照)。

ただし、他大学での履修科目と本学での履修科目が類似した内容である場合は、その程度により、試験に合格していても単位認定できないことがあります。

成績は当該学期終了後、本学教務センターからCHUKYO ALBOにて通知します。なお、試験に合格した場合の成績評価は、認定「N」とします。

学部	認定上限 単位数	認定区分
文	4単位	全学共通選択単位
国際		フロート単位
心理		全学共通選択単位
現代社会		
法		
総合政策		
経済		
経営		
工		学部固有選択単位
スポーツ科		全学共通選択単位

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

大学院進学奨励学生制度は、本学大学院の研究科・専攻に進学を希望する学業成績優秀な学部4年次生に対して本学大学院教育課程の授業科目を履修する機会を提供するとともに、大学院教育との連携を図ることを目的とした制度です。

この制度を利用して学部4年次に修得した大学院科目の単位は、その科目を設置する研究科・専攻に入学すれば、教育課程(カリキュラム)の改正がない限り、修了所要単位として認定されます(ただし、研究科・専攻が教育上有益と認めた場合に限りです)。

なお、この制度を利用するには、学部1～3年次の単位修得状況やGPA等の要件を満たすことが必要となります。詳しくは、教務センター(大学院係)までお問い合わせください。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15**
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

資格課程について

中京大学では、学士として卒業するための教育課程(以下では、学部教育課程といいます)のほかに、資格を取得するための資格課程を設置しています。この資格課程は、文部科学省や厚生労働省などの資格を与える公的機関から設置認可を受けた学部・学科に所属する学生に対して履修を認めています。しかし、司書課程や学芸員課程のように開設学部以外の学生が履修することのできる資格課程もありますので、下表を参照して取得可能な資格を確認してください。

資格課程は、学部教育課程とは別に設置されているので、各資格課程用に開講されている科目を修得しても、卒業所要単位としては認められず、自由科目として扱われます。その代わりに、学部教育課程に設定されている履修登録制限単位に制限されることもありません。ただし、資格課程の必修科目や選択科目として全学共通科目や学部固有科目があげられている場合には、履修登録制限単位に含みます。

以下の資格を取得するには、各資格課程に定める科目を全て修得して、資格課程を修了することが必要です。

各学部で取得することのできる資格は、次のとおりです。

資格の種類(資格課程)	開設学部	履修できる学部
教員免許 (教職課程)	全学部※	全学部※ (ただし、取得できる 免許教科が学部・学 科により異なります)
司書教諭 (司書教諭課程)	文	工以外
司書 (司書課程)	文	工以外
学芸員 (学芸員課程)	文・現代社会	工以外
社会教育主事〈任用資格〉 (社会教育主事課程)	現代社会	国際・工以外

※国際学部国際学科、工学部機械システム工学科、情報工学科、メディア工学科を除く。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

教員免許状取得について

教員免許状を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほかに、免許教科に応じて各学科の教職課程で開講されている科目の単位修得が必要となります。さらに、中学校教諭1種免許状を取得するには、介護等体験に参加する必要があります。

教職課程の履修開始は2年生からです。ただし、教員免許状取得に必要な科目のうち、一部科目については1年生より開講されているものもありますので、教職課程に入る前にあらかじめ修得しておくなど、計画的に履修するようにしてください。

詳細については、学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希望者あるいは履修者は必ず出席してください。なお、各ガイダンス等で課されるレポート提出や申し込み手続等を期日までに行わなかった場合、教職課程の受付及び教職課程の継続はできないので注意してください。また教育実習等の学外実習や科目履修、各種申し込みについては付帯条件が課せられていることもあります(各ガイダンスで説明します)。

教職課程を履修するには、学費とは別に教職課程履修登録費・教職実習履修費を納入する必要があります。また、教育実習にかかわる保険料や介護等体験に参加する場合の諸費用等が必要です。

教職課程履修申し込み

1. 教職課程履修の申し込み手続きの受付は、1年生3月下旬に行います。なお、申し込みができるのは、事前に実施された「1年生教職課程ガイダンス」の出席者のみです。
2. 教職課程履修費は28,000円(教職課程履修登録費5,000円+教職実習履修費23,000円)です。以下の要領に従って納入してください。

なお、納入した各履修費の返還はできません。

項目	金額	納入時期
教職課程履修登録費(注1)	5,000円	1年生の3月下旬
教職実習履修費(注1・2・3)	23,000円	2年生の3月下旬

- 注1. 金額は2023年度入学生のものであり、改定する場合があります。
- 注2. 介護等体験へ参加するには、介護等体験費8,500円と賠償責任保険加入料210円(スポーツ科学部生除く)が別途必要です。
- 注3. 教育実習の履修には、賠償責任保険加入料210円(工学部及びスポーツ科学部生除く)が別途必要です。
3. 中学校教諭1種免許状取得希望者は別途介護等体験の申し込みが必要です。

《履修上の注意》

以下の場合、必ず教務センター(教職支援係)へ連絡してください。

1. 教職課程を辞退(教員免許状取得を断念)する場合。
2. 諸事情により、介護等体験(3年生)や教育実習(4年生)を該当年次に行わない場合。
3. 取得希望の免許状の種類・免許教科を変更する場合。
4. 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
5. 休学又は留学をする場合。(科目履修だけでなく学外実習(教育実習や介護等体験など)に影響します。計画段階で早めに相談してください。)
6. その他、教務センター(教職支援係)に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡を受けた場合など。

教員免許状の交付

教員免許状の取得に必要な単位を修得し、所定期日に免許状の申請を行った方は、卒業時に教員免許状を受け取ることが出来ます。

1. 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,600円(交付申請料3,400円及び大学が発行する証明書手数料200円)が必要です。
2. 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して申請手続きを行いますので、教員免許状取得見込の4年生は9月中旬の「教員免許状一括申請ガイダンス」に出席してください。

教職課程科目の履修登録

教職課程科目は、本学において「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分していますが、それぞれに必要な単位をすべて修得してください。

1. 「教職共通科目」「教科に関する科目」の中には1年生から開講される科目がありますので、計画的に履修を始めてください。
2. 「教科に関する科目」「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得してください。
3. 「教職に関する科目」(学部固有科目としても開講している科目を除く)の単位は、履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
4. 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」の中には、複数学科合同開講や履修者数制限を行う科目、隔年開講する科目等があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行ってください。

介護等体験

1. 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設(5日間)」と「特別支援学校(2日間)」で合計7日間の介護等体験が義務づけられています。体験先や体験日程の決定については、CHUKYO ALBOで案内します。
2. 介護等体験のスケジュールについては、次頁の「教職課程行事予定表」を参照してください。
3. 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受講しなければ、介護等体験に参加することができません。
4. 介護等体験参加者は「賠償責任保険」への加入が義務づけられています(スポーツ科学部生除く)。
5. 介護等体験を終了すると、「証明書」(事前指導で配付)に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印が受けられます。この「証明書」は免許状申請手続きの際に必要ですので「体験記録」を添えて教務センター(教職支援係)へ提出してください。

マナー研修

「教育実習I」又は「教育実習II」の履修要件として教務センター(教職支援係)が実施するマナー研修を受講済みであることが必要です。日程等の詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

教職課程行事予定表

●説明会・手続・履修 ◎教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

対象学年	実施時期	履修行事	注意事項
1年	12月～1月	●1年生教職課程ガイダンス	*教務センター(教職支援係)より履修方法と諸手続について説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。
	3月下旬	●教職課程の履修可能者発表(特定の学部) ●課程履修の申込み手続	*CHUKYO ALBOで発表します。 *教職課程履修登録費5,000円を納入してください。 *未手続者は「教職に関する科目」の履修登録ができません。
2年	10月～11月	●2年生教職課程ガイダンス	*教職課程履修継続手続について説明します。 *このガイダンスで介護等体験の概要を説明します。 *このガイダンスに出席しないと、3年生からの教職課程の継続を認めません。
	3月下旬	■介護等体験事前指導(中学校免許取得希望者)(1日講習) ●課程履修の継続手続	*2年生教職課程履修者ガイダンスに出席し、中学校免許取得を希望している方を対象とします。 *日程はCHUKYO ALBOで発表します。 *教職実習履修費23,000円を納入してください。 *未手続者は「教職に関する科目」の履修登録ができません。
3年		●新3年生教職課程ガイダンス	*教育実習の依頼校の選定と受け入れ依頼の方法を説明します。
	4月中旬	■介護等体験費納入 ■介護等体験の賠償責任保険加入手続(スポーツ科学部除く)	*介護等体験事前指導に出席し、事前指導レポートを提出して体験参加が認められた方は、指定期間に体験費8,500円を納入してください。 *賠償責任保険については、別途ガイダンスでお伝えする方法で手続を済ませてください。
	4月下旬～5月下旬	◎教育実習受け入れの依頼 ◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習希望登録	*教育実習希望学校へは、原則各自で申込みをします。 *新3年生教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼しないようにしてください。 *愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、新3年生教職課程ガイダンスで希望登録を実施します。
	6月中旬～6月下旬	■介護等体験先決定(社会福祉施設 5日間) ■介護等体験の資料配布	*教務センター(教職支援係)窓口で発表・配布します。
	7月上旬～中旬	■介護等体験先決定(特別支援学校 2日間) ■介護等体験の資料配布	
	7月上旬以降(指定日)	■介護等体験オリエンテーション	*社会福祉施設(5日間)、特別支援学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確認し、必ず出席してください。
	7月中旬～介護等体験開始日	■介護等体験による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *体験の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。
	名古屋:6月下旬 豊田:9月下旬	◎教育実習の自己紹介書提出	*未確定項目がある場合でも、期日までに一旦提出してください。
	8月～12月	■介護等体験の実施	*身なりや言動を正して体験を実施してください。
		■証明書と体験記録の提出	*計7日間の体験終了後、証明書と体験記録を教務センター(教職支援係)へ提出してください。
	12月	◎愛知県公立小中、名古屋市立学校の教育実習手続	*愛知県公立小中、名古屋市立学校での教育実習登録者に対して必要書類の手続を行います。
	2月下旬～3月下旬	◎マナー研修の実施	*必ず受講してください。日程等の詳細についてはCHUKYO ALBOで発表します。
	3月下旬	◎教育実習履修可能者判定 ●新4年生教職課程ガイダンス	*教育実習履修要件の確認をします。 *教育実習の実施に関する諸注意と必要書類の説明をします。
4月初旬	◎愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定	*決定次第、対象者には、個別に必要な手続の連絡をします。	
4月上旬以降	◎教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認	*実習校から届く回答を基に、各自で実習校に連絡をして日程を再確認してください。	
4年	4月中旬～教育実習開始日	◎教育実習による授業欠席届の提出開始 ◎教育実習の賠償責任保険加入手続(工学部及びスポーツ科学部除く)	*欠席届は教務センター(教職支援係)窓口で受け取ってください。 *実習の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。 *別途ガイダンスでお伝えする方法で手続を済ませてください。
	4月中旬～11月下旬	◎教育実習事前指導 ◎教育実習巡回指導教員との打合せ ◎教育実習事後指導	*実習中に担当教員(巡回指導教員)が実習校を訪問します。 *担当教員に実習中のスケジュール(研究授業日等)を伝え、訪問日を調整してください。
	5月～11月	◎教育実習の実施	*身なりや言動を正して実習を実施してください。
	9月中旬	☆教員免許状一括申請可能者判定	*3月卒業見込みで免許状申請に必要な単位を修得見込みか確認します。(一括申請とは、免許状の申請を大学でとりまとめて行うことです。)
	9月下旬	☆教員免許状一括申請1次手続	*申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付してください。 *教育委員会へ免許状申請予定者として登録をします。
	11月下旬	☆教員免許状一括申請2次手続	*教育委員会から登録者情報が出力されます。その内容を確認し必要事項を記入してください。
	卒業式当日	◎教育実習記録と指導案の返却 教員免許状の交付	*免許状等は卒業証書とともに渡します。

注1. 教職課程行事の詳細は各ガイダンス又はCHUKYO ALBOで連絡します。

注2. 実施時期の変更や上記以外の手続やガイダンスが発生する場合があります。その場合は、予めCHUKYO ALBO等で連絡します。

注3. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事(参加は任意)を実施しています。詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

取得できる免許状の種類と教科

学部	学科	免許状の種類	免許教科
国際学部	言語文化学科	中学校教諭1種免許状	外国語(英語)
		高等学校教諭1種免許状	外国語(英語)

教職共通科目

免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目					
	授業科目	単位数		履修可能学年	履修科目 チェック	
		必修	選択必修			
日本国憲法	日本国憲法	2		1~4年		
体育	健康科学A		2	1科目2単位 選択必修	1~4年	
	健康科学B		2		1~4年	
	個人スポーツ・卓球I		1	2科目 2単位 選択必修	1~4年	
	個人スポーツ・卓球II		1		1~4年	
	個人スポーツ・硬式テニスI		1		1~4年	
	個人スポーツ・硬式テニスII		1		1~4年	
	個人スポーツ・バドミントンI		1		1~4年	
	個人スポーツ・バドミントンII		1		1~4年	
	個人スポーツ・ゴルフI		1		1~4年	
	個人スポーツ・ゴルフII		1		1~4年	
	個人スポーツ・フライングディスクI		1		1~4年	
	個人スポーツ・フライングディスクII		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バレーボールI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バレーボールII		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バスケットボールI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・バスケットボールII		1		1~4年	
	ティームスポーツ・ソフトボールI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・ソフトボールII		1		1~4年	
	ティームスポーツ・サッカーI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・サッカーII		1		1~4年	
	ティームスポーツ・カローリングI		1		1~4年	
	ティームスポーツ・カローリングII		1		1~4年	
	フィットネス・トレーニングI		1		1~4年	
	フィットネス・トレーニングII		1		1~4年	
	フィットネス・フィットネスI		1		1~4年	
	フィットネス・フィットネスII		1		1~4年	
	フィットネス・エアロビクスI		1		1~4年	
	フィットネス・エアロビクスII		1		1~4年	
	シーズンスポーツA・ゴルフ		1		1~4年	
	シーズンスポーツB・スケート		1		1~4年	
	障害者スポーツA		1		1~4年	
	障害者スポーツB		1		1~4年	
外国語コミュニケーション	English for Practical Communication	2			1~4年	
数理、データ活用及び人工知能 に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ処理論A		2		1科目2単位	1~4年
	コンピュータ処理論B		2	選択必修	1~4年	

教科に関する科目(中1種英語)(高1種英語)

施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	左記に対応する開設授業科目 授業科目	単位数		履修可能学年	主開講専修 専攻・専修
		必修	選択		
英語学	ことばの仕組み	2	4単位中2単 位選択必修	1~4年	P5-1
	英語学概論	2		1~4年	P6-1
	理論言語学入門	2		2~4年	P5-1
	統語と音韻の境界領域	4		2(3)~4年	P5-1 ※
	比較統語論	4		2(3)~4年	P5-1 ※
	Introduction to Linguistics	2		2~4年	P5-1
	Workshop in Linguistic Research	4		2(3)~4年	P5-1 ※
	理論言語学	4		2(3)~4年	P5-1 ※
	音声学と音韻論	4		3~4年	P5-1
	言語獲得	4		3~4年	P5-1
	言語学特別研究	4		3~4年	P5-1
	英語の歴史	4		2(3)~4年	P6-1 ※
	English Language	2	72単位 中8単位 選択必修	2~4年	P6-1
	英語の文構造	4		2(3)~4年	P6-1 ※
	日英対照の英語学	4		2(3)~4年	P6-1 ※
	英語と文法化	2		2~4年	P6-1
	Topics in English Linguistics	4		2(3)~4年	P6-1 ※
	英語の意味と語用	4		2(3)~4年	P6-1 ※
	教育文法論	4		3~4年	P6-1
実用英語運用法	4		3~4年	P6-1	
Changes in English	4		3~4年	P6-1	
認知言語学と英語教育	4		3~4年	P6-1	
英語文学	英語圏文学概論	2		1~4年	P6-2
	文学から学ぶ言語文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	American Literary and Cultural Studies	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	英語圏の世界文学・文化研究	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	Understanding Film and Popular Culture	2	44単位 中4単位 選択必修	2~4年	P6-2
	イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture	4		2(3)~4年	P6-2 ※
	Understanding Fiction, Drama and Poetry	2		2~4年	P6-2
	Literature and Media for Children and Young Adults	4		3~4年	P6-2
映画論	4		3~4年	P6-2	
職業としての文学教育	4		3~4年	P6-2	
英語 コミュニケーション	English for Practical Communication	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)
	English for Discussion and Presentation	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)
	English for Academic Purposes	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)
	Integrated Academic Skills I	2		2~4年	世界の言語プログラム(英語)
	Integrated Academic Skills II	2		2~4年	世界の言語プログラム(英語)
異文化理解	異文化理解概論	2		1~4年	P5-2
	外国語学習から学ぶ複言語複文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	多文化共生から学ぶ宗教文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	映画から学ぶメディア文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	Introduction to Theory of Culture	2		2~4年	P5-2
	Glocal Studies in Japan	4	44単位 中4単位 選択必修	2(3)~4年	P5-2 ※
	社会言語学から学ぶ言語文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	芸術から学ぶ宗教文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	ポピュラー文化から学ぶメディア文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※
	コミュニケーション論概論	2		2~4年	P5-2
	ヨーロッパ文化研究	4		3~4年	P5-2
	Workshop in Intercultural Communication Research	4		3~4年	P5-2
文化科学研究	4		3~4年	P5-2	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を 合わせた内容に係る科目	英語科単元構成論	4		3~4年	P6-1

●単位数 教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数含む) 36単位

【教科に関する科目の注意事項】

- ・※印科目について、※印科目の主開講専修が自専修以外の場合は履修登録画面に表示されない場合があります。また、科目によっては、履修条件がありますので各科目の履修条件をシラバスで確認してください。履修登録は教務センターにて個別に受け付けます。当該科目の履修可能学年について、自専修の場合は2年～、他専修の場合は3年～となります。
- ・自専修科目以外にも単位数を満たすよう履修及び修得する必要があります(卒業要件に含まれます)。
- ・自専修科目を修得した上で、不足分を他専修科目から履修及び修得することを推奨します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

教職に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数			履修可能学年	履修科目チェック
		中1種 (英語)	高1種 (英語)			
		必修	必修	選択 必修		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	2		2~4年	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2		2~4年	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論	2	2		2~4年	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	2	2		2~4年	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2		2~4年	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	1		3~4年	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法I※1	4			3~4年	
	英語科教育法II※1	4	4		2~4年	
道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践※2	2			3~4年	
特別活動の指導法	特別活動の方法	1	1		3~4年	
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	1		3~4年	
教育の方法及び技術	教育方法論	1	1		3~4年	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術の活用	1	1		3~4年	
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の方法	2	2		4年	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談(カウンセリングを含む)	2	2		3~4年	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)※3	2	2		4年	
教育実習	教育実習I※4	5		5	4年	
	教育実習II※4			3	4年	

※1 中1種英語免許取得希望者は「英語科教育法I」と「英語科教育法II」の2科目必修。

※1 高1種英語免許取得希望者は「英語科教育法II」の1科目必修。

※1 英語学・英語教育専修の学生は2年次に「英語科教育法II」を、3年次に「英語科教育法I」を履修してください。その他の専修の学生は3年次に「英語科教育法I」と「英語科教育法II」を両方履修してください。

※1 「英語科教育法I」は、すべての専修で学部固有科目の【J】選択科目の単位として認められます。「英語科教育法II」は、英語学・英語教育専修では学部固有科目の【H】自専修科目の単位として、それ以外の専修では【J】選択科目の単位として認められます。なお、「英語科教育法I」「英語科教育法II」ともに履修登録制限単位に含まれます。

※2 中1種免許取得希望者は必修。

※3 「教職実践演習(中・高)」を履修するにあたり、所定の期間内に本学指定の「教職課程履修カルテ」を教務センター(教職支援係)に提出することが要件となります。

※4 中1種免許又は中・高両免許取得希望者は「教育実習I」を履修してください。

※4 高1種免許のみ取得希望者は「教育実習II」を履修してください。

教育実習

教育実習を履修するためには、学部ごとに定められた下記履修要件を満たす必要があります。

教育実習の履修要件

免許状の種類		3年生終了時の卒業所要単位の修得単位数	教科教育法及び教職に関する科目の修得科目と修得科目数	マナー研修の受講
中学校教諭1種	外国語(英語)	90単位以上	英語科教育法I・IIを含む6科目以上を修得	教務センター(教職支援係)が実施するマナー研修を受講済みであること。
高等学校教諭1種	外国語(英語)	90単位以上	英語科教育法IIを含む5科目以上を修得	

注1. 「教育実習」は中学校教諭・高等学校教諭の免許の種類によって実習期間が異なります。

中・高両方の免許状取得希望者は、必ず「教育実習I(中学校教諭)5単位」を履修してください。

注2. 実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度(原則、3年生)に学生本人が行います。

学生本人が依頼できない学校や、大学から申請を必要とする学校などについては、新3年生教職課程ガイダンスで説明します。

注3. 教育実習中に本人の過失による重大なトラブルが発生した場合は、教育実習期間中であっても実習を中止する場合があります。

通信課程による教員免許取得について

通信課程について

提携大学の通信教育科目等履修制度を活用し、本学在学中に以下の教員免許状を取得するプログラムを履修することができます。このプログラムには、学習意欲に富み、教員としての資質向上を目指し、且つ教職に就く強い意志を持ちあわせた学生を推薦します。なお、履修においては条件や別途費用が必要となります。詳細はガイダンスで説明しますので該当のガイダンスに必ず出席してください。また、本プログラム履修者は原則としてプログラムの途中辞退は認めません。

取得できる免許状と履修期間

- ・小学校教諭2種免許状(履修期間：3・4年次の2年間)
 - ・特別支援学校教諭1種免許状(履修期間：2・3・4年次の3年間)
- 取得できる学部学科は以下のとおりです。

学部学科	文		国際	心理	法	経済	経営	総政	現社	工	スポ	
	日文／言葉	歴史									競技／マナー	教育／健康
小免	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○
特支免	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

○：履修可 ×：履修不可

プログラム履修条件等

各プログラムの履修条件等は以下のとおりです。なお、同時履修はできません(どちらかのみ履修となります)。下記以外にも、履修希望理由書の提出や面談による履修決定、またプログラム開始後の履修状況により履修取り消し等の可能性もあります。

I. 小学校教諭2種免許状

《文学部歴史文化学科、心理・法・現代社会学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)
- ・履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び2年次春学期終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位56単位以上)
- ・履修定員若干名

《スポーツ科学部スポーツ教育学科》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び1年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・2年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位74単位以上)かつ教科教育法及び教職に関する科目(「体育科教育法IA」及び「保健科教育法IA」の2科目を含む)を5科目以上修得
- ・履修定員30名

《スポーツ科学部スポーツ健康科学科》

- ・本学の教職課程履修者(中学校及び高校教諭1種)及び1年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・2年次終了時の成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位74単位以上)かつ教科教育法及び教職に関する科目(「体育科教育法I」又は「保健科教育法I」の1科目を含む)を4科目以上修得
- ・履修定員20名

II. 特別支援学校教諭1種免許状

《心理・経済・経営・総合政策学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)
- ・履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)及び1年次終了時までの成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位32単位以上)
- ・履修定員若干名

《法学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)及び1年次終了時までの成績が規定基準以上(トータルGPA2.0以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・履修定員若干名

《スポーツ科学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種及び高校教諭1種)及び1年次終

了時までの成績が規定基準以上(トータルGPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)

- ・履修定員22名

履修スケジュール

I. 小学校教諭2種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教務センター(教職支援係)に提出してください。
- ②学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。(スポーツ科学部：1年次2月下旬～3月予定、その他学部：2年次秋学期)
- ③2年次1月中旬に入学手続きを行い、3年次から通信教育をスタートさせます。
- ④履修科目の中にはスクーリングによる履修(協定大学への通学)が予定されています。
- ⑤3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、4年次も継続して通信教育を履修します。
- ⑥4年次秋学期(9～10月頃)に小学校で教育実習を行います(実習校への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に小学校教諭2種免許状の個人申請を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・スポーツ教育学科の本プログラム履修生は、上記小学校での教育実習の他に、3年次に本学教職課程の「教育実習I」(原則中学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は2年次で実施)を履修します。
- ・スポーツ教育学科以外の本プログラム履修生は、上記小学校教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習I」(中学校又は高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修します。
- ・介護等体験(7日間)は3年生で実施します。スポーツ教育学科生は教育実習と重ならないように教務センター(教職支援係)が介護等体験の日程調整をします。

II. 特別支援学校教諭1種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教務センター(教職支援係)に提出してください。
- ②1年次1月～2月下旬頃に学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。
- ③1年次2月下旬に入学手続きを行い、2年次から通信教育をスタートさせます。
- ④2年次及び3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、次年度も継続して通信教育を履修します。
- ⑤履修科目の中にはスクーリングによる履修(協定大学への通学)が予定されています。
- ⑥4年次秋学期(9～10月頃)に特別支援学校で教育実習を行います(実習校への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に特別支援学校教諭1種免許状の個人申請を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・本プログラム履修生は、上記特別支援学校での教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習I」(中学校又は高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修します。

学費等納付金について

入学時及び継続時に協定大学へ学費等を納付します。金額は以下のとおりです。また、入学手続きや各種レポート等提出における郵送料、スクーリング履修時の交通費・宿泊費等が別途必要です。

I. 小学校教諭2種免許状

総額：320,000円(1年目入学費・スクーリング費等：183,000円、2年目継続手続き費・教育実習指導費等：137,000円)

II. 特別支援学校教諭1種免許状

総額：439,000円(1年目入学費等：111,000円、2年目継続手続き費・スクーリング費等：193,000円、3年目継続手続き費・教育実習指導費等：135,000円)

※I、IIともに2023年度諸費一覧であり、次年度以降一部改正する場合があります。また履修状況により変動する場合があります。

その他(提携大学について)

- ・小学校教諭2種免許状：玉川大学通信教育課程
- ・特別支援学校教諭1種免許状：明星大学通信教育部

日本語教師養成課程について

日本語を母語としない人、主に外国人に日本語を教える「日本語教師」は、国際化の進展に伴い年々ニーズが高まっています。優秀な日本語指導者を求める国内外の声に応えるため、中京大学では国際学部と文学部が協同し、「日本語教師養成課程」を設置しています。4年間で必要な区分の単位を修得することによって、卒業時に「日本語教師養成課程修了証明書」を発行します。

課程履修者の定員について

国際学部の各学年の定員は10名です。履修希望者が10名を超えた場合には、第2セメスター終了時のGPAで選抜します。

日本語教師養成課程への登録について

日本語教師養成課程を修了するためには、「日本語教師養成課程」への登録が必要です。

- (1)日本語教師養成課程の科目は、2年生春学期から履修を開始します。
- (2)課程登録のためには、1年生秋学期の3月に実施する「日本語教師養成課程ガイダンス」への参加が必須です。ガイダンス開催日程については、CHUKYO ALBOでお知らせします。ガイダンス終了後、3月中に所定の手続きを行う必要があります。詳細はガイダンス時にお知らせします。

課程を修了するためには

日本語教師養成課程を修了しようとする学生は、「日本語教師養成課程」の対象科目を履修し、区分ごとに定められた単位を修得する必要があります。

(参考) 2023年度 日本語教師養成課程カリキュラム

【日本語教師養成課程カリキュラム区分】

社会・文化・地域	言語と社会	言語と心理	言語と教育	言語一般
4単位	4単位	2単位	6単位	12単位

区分	所要単位	科目名	単位	履修可能学年	要件	開講主体	
社会・文化・地域	4	Introduction to Theory of Culture	2	2~4年	2科目必修(4単位)	国際学部	
		社会学A	2	1~4年		全学共通	
言語と社会	4	社会言語学から学ぶ言語文化	4	2(3)~4年	1科目必修(4単位)	国際学部	
言語と心理	2	言語学A	2	1~4年	1科目選択必修(2単位)	全学共通	
		Introduction to Linguistics	2	2~4年		国際学部	
言語と教育	6	日本語教授法	2	※2~3年	3科目必修(6単位)	国際学部	
		日本語教育実習	2	※3~4年		国際学部	
		言語表現学特論Ⅵ	2	※3~4年		文学部	
言語一般	12	日本語学	2	※2~3年	2科目必修(4単位)	国際学部	
		言語表現学特論Ⅴ	2	3~4年		文学部	
		日本語を学ぶ	2	2~4年	1科目必修(2単位)	全学共通	
		現代日本語論Ⅰ	2	2~4年		3科目選択必修(6単位)	文学部
		現代日本語論Ⅱ	2	2~4年			文学部
		情報技術とことば	2	2~4年			文学部
		コミュニケーション論Ⅰ	2	2~4年			文学部
		コミュニケーション論Ⅱ	2	2~4年			文学部
話芸の世界	2	2~4年	文学部				

注1 「日本語教育実習」については、「日本語学」「日本語教授法」「言語表現学特論Ⅴ」を修得した後に履修することが望まれます。

注2 上記カリキュラムは2023年度のものであり、改定される場合があります。

日本語教育実習について

日本語教師養成課程の必修科目である「日本語教育実習」は、国内・海外の2種類があります。シラバスを確認し、担当教員に相談のうえ、どちらか一方を3年次もしくは4年次に履修してください。

【国内実習】

秋学期開講期間中、本学及び学外のNPO法人が実施する日本語クラスで実習を行います。

【海外実習】

オセアニア(ニュージーランド又はオーストラリア)で現地の中高一貫生に英語で日本語を教える実習を行います。費用や詳細な内容は別途案内します。

科目の履修方法と注意事項について

1. 日本語教師養成課程の履修単位のうち、全学共通科目及び国際学部の学部固有科目として開講している科目は履修登録制限単位・卒業所要単位に含まれます。
2. 日本語教師養成課程科目の履修登録は、CHUKYO ALBOの履修申請画面にて登録を行ってください。ただし、一部の科目は別途教務センターへの申込みが必要です。詳細はガイダンス等で案内します。
3. 開講主体別の単位集計については、以下の通りです。
 - ①全学共通→通常の全学共通科目の修得単位として、卒業要件に算入されます。
 - ②国際学部→所属専攻・専修以外の科目については、選択科目の単位として卒業要件に算入されます。
 - ③文学部→卒業要件には算入されず、自由単位となります。

修了証明書の発行

在学中に日本語教師養成課程における所定の単位を修得した方には、本学より卒業式当日に日本語教師養成課程修了証明書を発行します。

司書教諭課程について

司書教諭とは、教員免許状(普通)を持っていて、その小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に設置されている学校図書館において、各種のメディアを収集し、整理保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、学校図書館を活用した教育活動の企画・実施を行うために必要とされる資格です。

教員免許状の取得が条件です。教員となりその学校図書館(図書室)を管理・運営する資格を得ることのできる課程です。

資格を取得するには

司書教諭の資格を得ようとする方は、卒業に必要な単位のほかに、教職課程及び下表で示す司書教諭課程の単位を修得する必要があります。

司書教諭課程科目一覧

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	本学の開講科目	単位	履修可能学年	要件	修得科目チェック
学校経営と学校図書館(2単位)	※学校経営と学校図書館	2	3~4年	①全6科目必修(12単位) ②教職課程履修	
学校図書館メディアの構成(2単位) 【注1】	図書館情報資源概論	2	3~4年		
	情報資源組織論	2	3~4年		
学習指導と学校図書館(2単位)	※学習指導と学校図書館	2	3~4年		
読書と豊かな人間性(2単位)	※読書と豊かな人間性	2	3~4年		
情報メディアの活用(2単位)	※情報メディアの活用	2	3~4年		
規定科目の修得単位数 10単位	本学の科目修得単位数	12単位			

※で印した4科目は、名古屋キャンパスのみで隔年開講している科目です。

詳細(開講の有無などは、別途作成の「司書教諭課程開講科目時間割表」で確認してください。

【注1】省令科目は「学校図書館メディアの構成」(2単位)ですが、本学では司書課程科目「図書館情報資源概論」(2単位)と「情報資源組織論」(2単位)の2科目4単位を読み替えとします。したがって、合計6科目12単位の修得が必要です。

また、「図書館情報資源概論」は文学部の学部固有科目です。文学部生は履修登録制限単位に含まれます。

履修条件

- ①教職課程を履修し、教員免許状を取得する予定であること。
- ②大学に2年以上在学し、62単位以上修得していること。

司書教諭課程への登録について

司書教諭の資格を得るためには『司書教諭課程』への登録が必要です。3年生の時に手続きをします。その際、所定書類の提出と司書教諭課程履修費(12,000円。ただし、司書課程履修者は8,000円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

科目の履修方法・注意事項について

1. 司書教諭課程は、文学部で開講されています。従って文学部以外の方は所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約される可能性があります。
2. 司書教諭課程科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。また、履修登録は受講科目に基づき毎年必要です。
3. 開講方法に関しては、隔年開講など、年度によって変更されることがあります。

《履修上の注意》

他資格(司書・芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなることがあります。

修了証書の交付

文部科学省より交付されます。

在学中に、教職課程及び司書教諭課程における所要の単位を修得し、卒業後各自で別途申請を行うことによって修了証書の交付を受けることができます(文部科学省からの交付時期は卒業翌年3月)。

司書課程について

司書とは、図書館情報学の知識と技術を身に付け、図書館固有のサービスに従事する図書館の専門的職員のことです。特に公共図書館の専門的職員となるための資格を得ることのできる課程が司書課程です。

資格を取得するには

司書の資格を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位のほかに下表で示す単位を修得する必要があります。

司書課程科目一覧

区分	図書館法(第5条)に規定する図書館に関する科目	単位	履修可能学年	要件	修得科目チェック
基礎科目	生涯学習概論【注1】	2	1~4年	全11科目 必修 (22単位)	
	図書館概論	2	1~4年		
	図書館情報技術論	2	2~4年		
	図書館制度・経営論	2	2~4年		
図書館サービスに関する科目	※図書館サービス概論	2	2~4年		
	※情報サービス論	2	2~4年		
	※児童サービス論	2	2~4年		
	情報サービス演習	2	3~4年		
図書館情報資源に関する科目	※図書館情報資源概論	2	2~4年		
	情報資源組織論	2	2~4年		
	情報資源組織演習	2	3~4年		
選択科目	※図書館基礎特論	1	3~4年	2科目 選択必修 (2単位)	
	※図書館情報資源特論	1	3~4年		
	※図書・図書館史	1	3~4年		
	図書館サービス特論	1	*		
	図書館施設論	1	*		
	図書館総合演習	1	*		
法定及び本学の修得単位数		24単位			

- ※で印した7科目は、名古屋・豊田キャンパスで隔年開講予定の科目です。詳細(開講の有無など)は、別途作成の「司書課程開講科目時間割表」で確認してください。
- 不開講科目については、履修可能学年欄を「*」で表記しています。

【注1】Cコースでは、現代社会学部の学部固有科目「生涯学習論」(1年次以上配当)を履修してください。
現代社会学部の学生は履修登録制限単位に含まれます。

司書課程への登録について

司書の資格を得るためには『司書課程』への登録が必要です。以下のとおり手続きをしてください。

1. 司書課程は、1年生春学期に申し込みをしてください。申込期間・方法については、新入生ガイダンスで詳細を案内します(2年生春学期より司書資格課程履修を希望する場合は、教務センターへ要相談)。
2. 司書課程への登録には、所定書類の提出と、司書課程履修費(20,000円)を一括納入する必要があります。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

科目の履修方法と注意事項について

1. 司書課程は、文学部で開講されています。従って文学部以外の方は所属学部・学科の時間割との関係で受講が制約される可能性があります。
2. 司書課程は学部により、以下のA・B・Cの3コースに分けられています。事情により所属コースでの履修ができない場合は、4年生に限り他コースでの履修が認められる場合がありますので、教務センター司書担当に相談してください。

Aコース	文・国際
Bコース	心理・法・総合政策・経済・経営
Cコース	現代社会・スポーツ科

3. 司書課程科目の履修単位数は、在籍学部の履修制限単位数・卒業所要単位数には含まれませんが、学部固有科目として開講している科目は当該学部生のみ履修制限単位数・卒業所要単位数に含まれます。
4. 司書課程時間割表は春学期履修登録期間の前にCHUKYO ALBOにて配信します(新入生には履修申し込み手続き時に配布します)。科目によっては隔年開講になりますので、計画的に履修してください。
5. 司書科目の履修登録は、一般の科目と同様に行います。履修登録は当該年度の開講科目に基づき毎年必要になります。

《履修上の注意》

他資格(教職・司書教諭・学芸員など)を同時に取得希望する学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を受講できない場合、資格取得ができなくなることがあります。

資格証明書の発行

在学中に司書課程における所要の単位数を修得した方には、本学より卒業式当日に司書資格取得証明書を発行します(所要の単位数を修得していても、卒業しないと資格が取得できません)。また、「資格取得見込証明書」等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

学芸員とは

学芸員は、博物館において資料の収集・保管・展示及び調査研究、その他これと関係する事業についての専門的事項を担当します。

なお、博物館とは、美術館、考古学・歴史関係資料館、郷土館、記念館、民芸館、民俗資料館、科学博物館、動・植物園、水族館、天文館など、広い分野における公立・私立施設をいいます。

学芸員資格を取得するには

資格取得の条件は、「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」(博物館法第5条第1項1号)となっています。本学では、文学部・現代社会学部に設置された学芸員課程科目を履修することにより、学芸員の資格を取得することができます。課程修了者には学芸員資格証明書卒業時に交付します。

学芸員課程の履修申し込み

学芸員の資格を得るためには学芸員課程への登録が必要です。以下のとおり申し込み手続きをしてください。

1. 学芸員課程への登録は1年生の秋学期開講時に行います。履修申込方法についての詳細は、7月頃に実施される学芸員課程ガイダンスで説明します。ガイダンスの開催はCHUKYO ALBOで連絡します。
2. 学芸員課程への登録は、所定書類の提出と学芸員課程履修費の納入(20,000円)が必要です。なお、納入後の課程履修費の返還はできません。

学芸員課程科目の履修方法・注意

学芸員課程への登録終了後から、学芸員課程科目の履修ができます。

1. 学芸員課程資格科目一覧表の科目(学則に定める本学開講の学芸員となるための授業科目)を履修し、要件を満たさなければなりません。
2. 学芸員課程科目は、文学部・現代社会学部で開講しています。従って他学部生が履修する場合は、所属学部・学科の時間割との関係で受講可能な学期を次年度以降とせざるを得ない場合があります。
3. 「博物館実習」は、「博物館概論」の単位を修得していないと履修できません。
4. 「博物館実習」を履修するには、館園実習のために博物館に納める費用が必要です。
[豊田キャンパス履修生]
野外民族博物館リトルワールドにて館園実習を行います。指定期間(履修年次の5月の予定)に、教務センター窓口で納入手続きをしてください。詳細はCHUKYO ALBOで連絡します。
※リトルワールド以外での館園実習を希望する場合は、事前に担当教員に相談してください。
[名古屋キャンパス履修生]
学内で納入することはありません。費用の有無や金額は受け入れ先博物館によって異なります。
5. 「博物館実習」を履修する学生は、本学指定の保険に加入が必要です。学生支援課窓口で加入手続きをしてください。ただし、すでに他の科目等で本学指定保険に加入している場合は必要ありません。なおスポーツ科学部生は加入する必要はありません。
6. 学芸員課程の各科目では、授業の一部として愛知県及び近隣の博物館で研修・見学が実施されることがあります。交通費その他の費用は学生の負担となります。

《履修上の注意》

他資格(教職・司書・社会福祉士・社会教育主事など)を並行して取得しようとする学生は、時間割の都合で資格に必要な科目を希望どおりには受講できない場合、また資格取得が難しくなることがあります。

現代社会学部社会学専攻、コミュニティ学専攻、社会福祉学専攻の学生で履修を希望する場合は、事前に教務センターに相談してください。

学芸員資格証明書の発行

学芸員課程の登録者で、所定科目の単位を履修・修得し要件を満たした学生には、卒業時に「学芸員資格証明書」を発行します。また、「資格取得見込証明書」等が必要な場合は、証明書発行窓口で相談してください。

学芸員課程資格科目一覧表

博物館法施行規則に定める科目	本学開講科目	単位	時期	履修可能学年	要件	科目を設置している学部	修得科目チェック	
必修	生涯学習概論	生涯学習論I	2	秋学期	1～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部	
		生涯学習概論	2	春・秋学期	1～4年		文学部	
	博物館概論	博物館概論	2	秋学期	1～4年	必修	現代社会学部	
			2	春学期	2～4年		文学部	
	博物館経営論	博物館経営論	2	春学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館資料論	博物館資料論	2	秋学期	2～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部	
		歴史資料と博物館	2				文学部	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	春学期	3～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館展示論	博物館展示論	2	秋学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
	博物館教育論	博物館教育論	2	春学期	2～4年	必修	文学部・現代社会学部	
博物館情報・ メディア論	博物館情報・メディア論	2	秋学期	3～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部		
	地域と歴史文化情報	2				文学部		
博物館実習	博物館実習	3	通年	3～4年	必修	現代社会学部		
				4年		文学部		
選択 その他	文化人類学入門	2	春学期	1～4年	いずれか1科目 選択必修	現代社会学部		
	郷土の民俗特論	2		2～4年		文学部		

学芸員課程科目を履修する場合は、名古屋キャンパスの学生は文学部で、豊田キャンパスの学生は現代社会学部で受講してください。在学するキャンパスでの科目履修に支障をきたす場合は教務センターに申し出てください。

1. 必修科目は博物館法で定められた科目です。必ず履修・修得してください。
2. 選択科目は本学の指定科目です。必ず履修・修得してください。詳細は学芸員課程ガイダンスで説明します。
3. 「博物館実習」は「博物館概論」の単位を修得していないと履修することができません。
4. 全ての科目が卒業要件に含まれるとは限りません。卒業要件に含む科目は各学部の「学部固有科目一覧表」で確認してください。

学芸員資格認定試験について

在学中に学芸員資格を得るのに必要な単位を満たすことができずに卒業した場合、次のいずれかの方法で学芸員資格を取得することが可能です。

- *科目等履修生として不足単位を修得する
- *学芸員資格認定試験を受験する

国際学部 国際学科 教育課程

◎必修科目 ○選択科目 ●自由科目

科目区分	授業科目	単位数	配当semester								摘要
			1年次春	1年次秋	2年次春	2年次秋	3年次春	3年次秋	4年次春	4年次秋	
ゼミ	教養テーマゼミ	4	○	○	○	○					2単位選択必修
	教養探究ゼミ	2								○	
コンピュータ	コンピュータ処理論A	2	○	○	○	○					2単位選択必修
	コンピュータ処理論B	2	○	○	○	○					
スポーツ・健康	個人スポーツ・卓球I	1	○	○	○	○					2単位選択必修
	個人スポーツ・卓球II	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・硬式テニスI	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・硬式テニスII	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・バドミントンI	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・バドミントンII	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・ゴルフI	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・ゴルフII	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・フライングディスクI	1	○	○	○	○					
	個人スポーツ・フライングディスクII	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・バレーボールI	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・バレーボールII	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・バスケットボールI	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・バスケットボールII	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・ソフトボールI	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・ソフトボールII	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・サッカーI	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・サッカーII	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・カローリングI	1	○	○	○	○					
	チームスポーツ・カローリングII	1	○	○	○	○					
	フィットネス・トレーニングI	1	○	○	○	○					
	フィットネス・トレーニングII	1	○	○	○	○					
	フィットネス・フィットネスI	1	○	○	○	○					
	フィットネス・フィットネスII	1	○	○	○	○					
	フィットネス・エアロビクスI	1	○	○	○	○					
	フィットネス・エアロビクスII	1	○	○	○	○					
	シーズンスポーツA・ゴルフ	1	○	○	○	○					
	シーズンスポーツB・スケート	1	○	○	○	○					
障害者スポーツA	1	○	○	○	○						
障害者スポーツB	1	○	○	○	○						
外国語演習	英語コミュニケーションIA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	4単位選択必修
	英語コミュニケーションIIA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語コミュニケーションIB	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語コミュニケーションIIB	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メディア英語A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メディア英語B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語資格対策IA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語資格対策IIA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語資格対策IB	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語資格対策IIB	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語セミナーA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	英語セミナーB	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
自然の探究	数学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	4単位選択必修
	数学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	統計学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	統計学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	物理学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	物理学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	化学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	化学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	生物学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	生物学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
人間の探究	哲学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	4単位選択必修
	哲学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	倫理学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	倫理学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	論理学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	論理学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	心理学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本史 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本史 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東洋史 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東洋史 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	西洋史 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
西洋史 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
文学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
文学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
言語学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
言語学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○		
日本国憲法	2	○	○	○	○	○	○	○	○		

学部	科目	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
社会の探究	法学	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	政治学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	政治学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会経済学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会経済学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育学 A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育学 B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新領域	ジェンダー論A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジェンダー論B		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康科学 A		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康科学 B		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境科学 A		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境科学 B		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報科学 A		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報科学 B		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平和論 A		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平和論 B		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
異文化研究		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職業と社会		2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グローバル・メディア論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
テーマ	教養テーマ講義A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教養テーマ講義B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教養テーマ講義C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教養テーマ講義D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中京大学を知る	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
海外教養科目	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基礎	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)	2	◎																						
	キャリア・デザイン	2												◎											
英語	卒業研究	6																							◎
	English for Practical Communication	2	○																						
	English for Discussion and Presentation	2	○																						
	English for Academic Purposes	2	○																						
	Integrated Academic Skills I	2			○																				
	Integrated Academic Skills II	2				○																			
	Overseas University Studies	12		○																					
	フランス語 IA	2			○																				
	フランス語 IB	2				○																			
	フランス語 IIA	2																							

学部 専攻科目 選択科目 固有科目	国際開発学	Special Topics in International Politics	2					○	○	○	○	
		国際平和開発論	4					○	○			
		地域特性と開発	4						○		○	
		国際環境政策論	4					○		○		
		国際開発学特殊講義	2					○	○	○	○	
		市民社会と開発	4						○		○	
		フィールドと開発	4						○		○	
		International Development Policy	4					○		○		
		Special Topics in International Development Studies	2					○	○	○	○	
		開発経済学	4						○		○	
		産業組織論	4						○		○	
		国際海外投資論	4					○		○		
	国際経済学	国際経済学特殊講義	2					○	○	○	○	
		環境経済学	4					○		○		
		公共経済学	4					○		○		
		Lecture on Economic Policy	4					○		○		
		Special Topics in International Economics	2					○	○	○	○	
		アドバンス 会計・ファイナンス	4						○		○	
		アドバンス 戦略・マーケティング	4						○		○	
		多国籍企業論	4						○		○	
		国際ビジネス学特殊講義	2						○	○	○	
		アドバンス 組織・人材マネジメント	4						○		○	
		ビジネスデータ分析	4							○	○	
		Lecture on Cross-cultural Management	4							○	○	
	G L S	Special Topics in International Business Studies	2						○	○	○	
		Global Media and Culture	4	○		○			○		○	
		International Academic Relations	4		○		○		○		○	
		Twenty-First Century Cities	4	○		○		○		○		
		Global Peace and Security	4		○		○		○		○	
		日本語学	2				○		○		○	
		日本語教授法	2				○		○		○	
		日本語教育実習	2				○		○		○	
関連科目		海外留学科目	12						○	○	○	○
		海外セミナー	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
		国内インターンシップ	2				○	○	○	○	○	
		海外インターンシップ	2				○	○	○	○	○	

分割認定可

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

学 部 固 有 科 目	専 攻 科 目	英語学・英語教育	Changes in English	4														○		○	
		認知言語学と英語教育	4																○		○
		英語の通訳Ⅱ	2																○		○
		英語の翻訳Ⅱ	2																○		○
		Special Topics in English Linguistics	2																○	○	○
		Media Literacy	4																○		○
		Professional English	4																○		○
		職業としての文学教育	4																○		○
		Current Topics	4																○		○
		English Project Workshop	4																○		○
		英語圏文学・文化特殊講義	2																○	○	○
		Literature and Media for Children and Young Adults	4																○		○
		映画論	4																○		○
		市民権の文化史	4																○		○
		都市文化デザイン論	4																○		○
	クリティカル・リーディング	4																○		○	
	Special Topics in English Literature and Culture	2																○	○	○	
	関 連 科 目	海外留学科目	12																○	○	○
		海外セミナー	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		国内インターンシップ	2																○	○	○
海外インターンシップ		2																○	○	○	
教 職 に 関 する 科 目	教育原論	2																●			
	学習・発達論	2																●			
	教育の制度と経営	2																●			
	教職入門	2																●			
	教育課程論	2																●			
	道徳教育の理論と実践	2																●			
	特別活動の方法	1																●			
	総合的な学習の時間の指導法	1																●			
	教育方法論	1																●			
	情報通信技術の活用	1																●			
	特別支援教育	1																●			
	生徒指導・進路指導の方法	2																●			
	教育相談(カウンセリングを含む)	2																●			
	教職実践演習(中・高)	2																●			
	教育実習Ⅰ	5																●			
教育実習Ⅱ	3																●				

分割認定可

中学校のみ

高等学校のみ

(付表) 履修制限単位に関する表

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
セメスター	1	2	3	4	5	6	7	8
1学期間に履修できる 単位数の限度	24	24	24	24	24	24	24	24

時間割を組み立てるフォーマットです。科目名と単位を記入し、各自で時間割を作成してください。

1年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

2年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

3年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

4年生

時限		曜日	月	火	水	木	金
1限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
2限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
3限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
4限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
5限	春		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位
	秋		()単位	()単位	()単位	()単位	()単位

	① 半期科目の単位	② 通年科目の単位 ÷ 2	① + ② 履修合計	履修制限 単位	※履修制限単位に 含まない科目の単位
春	単位	単位	単位	単位	単位
秋	単位	単位	単位	単位	単位

CHUKYO
UNIVERSITY